

ナショナルレセプトデータの
サンプリングデータセットを用いた
特性調査及び処方実態調査報告書

平成 26 年 5 月

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

安全第一部 分析課

用語の定義

ICD-10	死因や疾病の国際的な統計基準として、世界保健機関（WHO）によって公表された分類。死因や疾病の統計等に関する情報の国際的な比較や、医療機関における診療記録の管理等に活用される。1900年に、第1回国際死因分類として国際統計協会により制定され、以降10年毎に見直しがされている。現在の最新版は、1990年の第43回世界保健総会で採択された第10版で、ICD-10として知られる。
MEDIS 標準病名	（財）医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）が提供する「ICD10 対応電子カルテ用標準病名マスタ」の「病名表記」に該当する病名。
コホート	疫学の分野では、ある期間を追跡するために任意に作成された集団をコホートと呼ぶ。

略語・略号

BG	Biguanide ビグアナイド
BUF/ブホルミン	ブホルミン塩酸塩
DPC	Diagnosis Procedure Combination 診断群分類
ICD-10	International Statistical Classification of Diagnosis and Related Health Problem 疾病及び関連保健問題の国際統計分類 第10版
ID	Identification 特定の人を識別するために用いられる符号
MEDIS-DC	Medical Information System Development Center 財団法人 医療情報システム開発センター
MET/メトホルミン	メトホルミン塩酸塩（1日最高投与量が750mgの製剤及び2,250mgの製剤）及びピオグリタゾン塩酸塩・メトホルミン塩酸塩配合剤
MET1	メトホルミン塩酸塩のうち、1日最高投与量750mgの用法・用量を有する製剤
MET2	メトホルミン塩酸塩のうち、1日最高投与量2,250mgの用法・用量を有する製剤
MET3	ピオグリタゾン塩酸塩/メトホルミン塩酸塩配合錠
PMDA	Pharmaceuticals and Medical Devices Agency 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
SU	Sulfonylurea スルホニル尿素
レセプト電算コード	レセプト電算処理システム用コード

目次

1.	本分析の概要	1
2.	背景	5
3.	目的	7
4.	研究実施体制	7
5.	研究期間	7
6.	データソース	7
7.	データベースへのデータ格納	8
8.	データチェック	9
8-1.	方法	9
8-2.	結果	10
8-3.	考察	34
9.	コホート分析	36
9-1.	方法	36
9-2.	結果	38
9-3.	考察	42
10.	対象集団分析	44
10-1.	方法	44
10-2.	結果	51
10-3.	考察	63
11.	サンプリングデータセットの医薬品安全対策への活用可能性	67
12.	サンプリングデータセットに関する要望	69
12-1.	サンプリングデータセットの提供方法について	69
12-2.	レセプトデータの項目・構造について	74
13.	参考文献	76
別添1	コードリスト	77
別添2	使用マスター	153
別添3	コホート分析の参考データ	154
別添4	高齢者における処方実態調査 結果	157

1. 本分析の概要

背景	<p>ビグアナイド系糖尿病治療薬（メトホルミン及びブホルミン）により生じる副作用の一つに乳酸アシドーシスがあり、以前より当該医薬品の添付文書において注意喚起が行われてきた。しかし、近年、製薬企業等からの乳酸アシドーシスの症例報告が徐々に集積され、その症例の殆どが、既に添付文書において禁忌または慎重投与とされていた患者（高齢者、透析患者、手術前後の患者等）であった。その当時、全国的なビグアナイド製剤の処方実態等は不明であったが、添付文書における注意喚起が不十分である可能性を考え、厚生労働省医薬食品局安全対策課から製造販売業者に対し、メトホルミン及びブホルミンの添付文書改訂の指示（平成24年3月19日付薬食安発0319第1号厚生労働省医薬食品局安全対策課長通知）が発出され、再度注意喚起が行われた。</p>
目的	<p>ナショナルレセプトデータのサンプリングデータセットを用いて、安全対策措置が講じられた約半年前における1か月間のメトホルミン及びブホルミンの処方状況や副作用発現の実態に関する情報が得られるかどうかを確認することを目的とした。</p>
調査対象期間	<p>平成23年10月</p>
データソース	<p>サンプリングデータセット （ナショナルレセプトデータの部分抽出データ。平成23年10月診療分で、且つ平成23年11月～平成24年1月に審査された全国の電子レセプトのうち、医科入院レセプト及びDPCレセプトについては10%、医科入院外レセプトについては1%のデータを抽出して作成されたもの。）</p>
コホート定義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院（出来高算定）コホート：平成23年10月に入院診療を受け、発行された医科入院レセプト ・ 入院（包括評価算定）コホート：平成23年10月に入院診療を受け、発行されたDPCレセプト ・ 外来コホート：平成23年10月に外来診療を受け、医科入院外レセプトが発行された人
対象集団	<p>上記3コホートから、BG薬の処方があった集団を分析対象とした。BG薬をMET1、MET2、MET3およびBUFの4種類に分類し、3コホートそれぞれにおいて4種類の各BG薬が処方された計12集団を特定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院（出来高算定）対象集団のMET1群/MET2群/MET3群/BUF群 ・ 入院（包括評価算定）対象集団のMET1群/MET2群/MET3群/BUF群 ・ 外来対象集団のMET1群/MET2群/MET3群/BUF群
集計方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査> 基本分析として、性別、年齢等について集計を実施した。また、処方分析として、1日処方量、糖尿病治療薬の併用数等について集計を実施した。 ● 副次分析-1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析> 乳酸アシドーシス発現リスクが高いため投与禁忌または慎重投与とされる高齢者、透析患者および手術前後の患者を特定し、対象集団に占めるこれら患者への処方割合を算出した。なお、手術前後の患者については、処方日と手術実施日との前後関係が不明であったため、BG薬処方と同月に手術が実施された人への処方割合を算出した。 ● 副次分析-2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析> BG薬処方患者における乳酸アシドーシスの発現割合を算出した。 乳酸アシドーシス発現の定義：以下の3条件を全て満たす。 ①乳酸アシドーシスに関する傷病名コードを持つ ②診療開始日が平成23年10月である ③疑い病名（修飾語コード「8002」）を除く

<p>結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象集団の特定 <p>いずれのコホートにおいても、MET2 の処方が最も多く、入院（出来高算定）コホートで 672 件、入院（包括評価算定）コホートで 935 件、外来コホートで 9,311 人であった。MET3 の処方は極めて少なく、外来コホートで 155 人に認められたのみであった。</p> ● 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査> <p><u>基本分析</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別：いずれの対象集団でも、男性の占める割合が高かった。 ・年齢：いずれの対象集団でも、50 歳以上が 80～90%以上を占めた。 <p><u>処方分析</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 日処方量： <p>添付文書で規定された 1 日最高投与量を超える処方の割合は、MET1 群で 1.3～2.7%、MET2 群では 0%、BUF 群では外来のみで 0.5%であった。MET3 群については、通常の 1 日量を超える処方が約 10%で認められた。MET1、MET2 は同成分で投与量の上限が異なる医薬品であるが、高用量投与が認められている MET2 処方の 80%以上は MET1 で承認されている 1 日最高投与量（750mg）の範囲内であり、MET2 の開始投与量である 500mg の処方が約 40%、維持投与量の下限值である 750mg の処方が約 50%を占めていた。</p> ・糖尿病治療薬の併用数： <p>併用薬なしは各対象集団の 0～30%ほどであり、BG 薬処方患者の多くで多剤併用療法が行われていた。</p> ● 副次分析-1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への処方： <p>入院（包括評価算定）コホートにおける MET1 群を除き、65 歳以上が半数以上を占め、特に入院（出来高算定）コホートにおける MET1 群では、65 歳以上が 75%以上を占めていた。75 歳以上の後期高齢者への処方は、各対象集団の 23～50%で認められた。</p> ・透析患者への処方： <p>入院（包括評価算定）コホートの MET2 群で 1 件認められたのみであった。</p> ・手術患者への処方： <p>入院（包括評価算定）コホートにおける対象集団の処方割合が比較的高く、20%前後であった。入院（出来高算定）コホートにおける対象集団の処方割合は 7～11%、外来コホートにおける対象集団の処方割合は 0～1%と低かった。</p> ● 副次分析-2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析> <ul style="list-style-type: none"> ・乳酸アシドーシスの発現割合： <p>乳酸アシドーシスの発現患者は、入院（包括評価算定）コホートの MET1 群で 1 件（0.7%）、外来コホートの MET1 群で 2 人（0.04%）認められたのみであった。</p>
<p>考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査> <p><u>処方分析</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 日処方量： <p>MET1、MET2、BUF は、規定量の範囲内で処方が行われているようであった。ピオグリタゾンとの配合剤である MET3 については、添付文書に記載された通常量を超える処方が約 10%で認められたが、MET1 の 1 日最高投与量を超える処方は約 5%、MET2 の 1 日最高投与量を超える処方はなかったため、乳酸アシドーシス等の重篤な副作用リスクを増大させるようなメトホルミンの過量投与は少なかったと考えられた。また、MET2 は高用量投与が可能なメトホルミン製剤として平成 22 年に販売開始された医薬</p>

	<p>品であるが、開始投与量から維持投与量の下限值までの処方が大部分を占めていたことから、サンプリングデータセットの対象期間当時の平成23年10月においては、まだ高用量処方がそれほど臨床現場に浸透していなかったと考えられた。</p> <p>・糖尿病治療薬の併用数： MET1及びMET2は、SU薬の使用で十分な効果が得られない2型糖尿病の他、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない2型糖尿病に対しても適応を持ち、2型糖尿病薬物治療の第一選択としても承認が得られている。本分析ではサンプリングデータセットを用いたため、第一選択薬として処方されたBG薬を特定することはできなかったが、いずれの対象集団においても、併用薬なしは10~20%であり、多くの場合は何らかの糖尿病治療薬と併用で処方されていたことから、BG薬を含む2剤併用若しくは3剤併用が一般的なようであった。</p> <p>● 副次分析1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析></p> <p>・高齢者への処方： 高齢者は乳酸アシドーシスを起こしやすいため、BG薬は投与禁忌または慎重投与とされているが、DPC対象集団のMET1群以外のいずれのBG薬群においても、処方患者の半数以上が65歳以上であった。また、MET2では、75歳以上の高齢者への処方について、平成24年3月より警告記載が追加されたが、MET2群では20~30%以上を75歳以上が占めていた。他のBG薬群においても、75歳以上が20~50%を占めており、BG薬は高齢者に対して比較的多く処方されていたと考えられた。</p> <p>・透析患者への処方： 透析患者では、高い血中濃度が持続する恐れがあることから、全てのBG薬において投与禁忌とされている。本分析結果では、入院（包括評価算定）コホートのMET2群の1人についてのみ、透析実施が認められたことから、透析患者に対するBG薬処方は極めて少なかったと考えられた。</p> <p>・手術患者への処方： 手術前後は乳酸アシドーシスを起こしやすいため、全てのBG薬において投与禁忌とされている。入院（出来高算定・包括評価算定）コホートの対象集団では、7~20%でBG薬処方と同月の手術実施が認められたことから、入院治療においては、手術前後にBG薬が処方された可能性が考えられた。しかしながら、サンプリングデータセットの対象期間当時のレセプトデータからは処方及び手術実施の日付情報が得られないことから、手術前後（数日以内）に限定した処方を特定することはできなかった。また、たとえ日付情報があったとしても、医薬品の短期的な投与中止等のオーダーリングはレセプトデータには入力されない可能性があることから、レセプトデータを用いて手術前後（数日以内）の禁忌患者への処方を特定することは難しいと考えられた。</p> <p>● 副次分析2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析></p> <p>・乳酸アシドーシスの発現割合： 入院（包括評価算定）コホートのMET1群の1件（0.7%）、及び、外来コホートのMET1群における2人（0.04%）で乳酸アシドーシスの発現が認められた。これら3件について、高齢者が1件、手術施行患者が1件含まれていたが、処方量は、いずれも1日最高投与量の範囲内であった。</p>
結論	<p>BG薬の安全対策措置が講じられる約半年前の平成23年10月時点では、処方の半数以上が投与禁忌または慎重投与とされる高齢者に対するものであった。一方、処方量については、規定量の範囲内で処方されたものがほとんどであり、また、投与禁忌である透析患者に対する処方は、ほとんど認められなかった。同様に投与禁忌である手術前後の患者についてはレセプトデータから特定できず、処方割合を算出できなかった。</p>

	<p>た。乳酸アシドーシスの発現が認められたのは3件であり、乳酸アシドーシスのような稀な副作用の調査においては、サンプリングデータセットの規模では限界があると考えられた。</p>
<p>医薬品安全対策への活用可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 処方実態調査への活用可能性 <p>使用頻度の高い医薬品が対象であれば、サンプリングデータセットを用いた処方実態調査では、実際の患者数を算出することはできないものの、特定の患者背景情報の分布に関する情報が得られると考えられた。一方、サンプリングデータセットから実患者数を正確に算出することはできないため、実患者数の算出には、ナショナルレセプトデータの特別抽出データを用いて検討する必要がある。また、短期的な医薬品の投与中止については必ずしもレセプト上に入力されない可能性があるため、日付情報のあるレセプトデータを用いたとしても、それだけでは特定することは難しいと考えられた。</p> ● 副作用発現頻度調査及びリスク因子の検討への活用可能性 <p>サンプリングデータセットは、ナショナルレセプトデータからの部分抽出データであるため対象患者数が限定的であること、また、個人の特定可能性を考慮し、記載件数の少ない傷病名コードや医薬品コードについては、匿名化処理を行った上で提供されることから、稀な副作用の検出には、サンプリングデータセットでは限界があると考えられた。副作用発現頻度調査及びリスク因子の検討への活用可能性については、よりデータの規模が大きく、利用者が指定した傷病名コードや医薬品コードについては匿名化処理が施されることなく提供される特別抽出データを用いて検討を行う必要がある。</p> ● 安全対策措置の影響調査への活用可能性 <p>サンプリングデータセットは、対象期間が1か月間と限定されていたため、講じられた措置の影響調査の実施は不可能であった。講じられた措置の影響調査への活用可能性については、対象期間が1か月間に限定されない特別抽出データを用いて検討を行う必要がある。</p> ● 迅速性の観点における安全対策業務への実装可能性 <p>医薬品の安全対策業務においては、健康被害を可能な限り最小限に止める必要があるため、迅速な対応が求められるが、医薬品の安全性に関する懸念が生じた場合に、直ちにサンプリングデータセットを用いた分析を行うことは、現状では極めて難しいと考えられた。当面のサンプリングデータセットの活用方法は、安全対策措置を講じた後に、根拠情報の強化に用いるといった利用に限定されると考えられる。</p>

2. 背景

BG 薬における重篤な副作用の一つとして、乳酸アシドーシスがある。本邦では、BG 薬として、メトホルミン及びブホルミンが販売されているが、1970 年代に海外で類薬のフェンホルミン塩酸塩による乳酸アシドーシスの死亡例が多数報告されたことから、BG 薬の添付文書においては、SU 薬が効果不十分な場合あるいは副作用等により使用不適當な場合に限った効能・効果に制限され、また、1 日最高投与量も 750 mg に減量され、更に高齢者への投与が禁忌とされた。

しかし、近年、海外において、メトホルミンは SU 薬やチアゾリジン系薬と同等の HbA1C 改善効果を示すにも関わらず低血糖や体重の増加を起しにくいこと[1-4]、細小血管症のみならず大血管症のリスクが軽減される可能性があること[1]等が示され、International Diabetes Federation が 2005 年に発表した 2 型糖尿病に対する国際ガイドラインでは、食事療法・運動療法によっても血糖コントロールが不十分な場合には、腎機能障害がある場合を除き、メトホルミンを第一選択薬とすることが推奨されている[5]。一方、本邦の「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 改訂第 2 版」[6]には、メトホルミンに関して「2 型糖尿病の病態、体格、摂取カロリー、健康保険で許可されている用量（日本では 750mg/日までと制限されているのに対し、米国では 2,550mg/日まで投与可能）が違う日本では、どの程度の効果があるかどうか不明な点が多い。」と記載されている。

このような背景の下、メトホルミンの効能・効果及び用法・用量の見直しが行われ、それまで SU 薬が効果不十分な場合あるいは副作用等により使用不適當な場合に適応が限られていたのが、平成 21 年 5 月に食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない 2 型糖尿病に対しても適応が認められるようになった。更に、平成 22 年 5 月には、従来までのメトホルミンと同様の成分でありながら、1 日最高投与量を 2,250mg とするメトホルミン製剤が販売開始された。また、従来のメトホルミンが高齢者へ投与禁忌であったのに対し、本製剤では、高齢者へは「慎重投与」に変更され、乳酸アシドーシス等の注意を十分に行った上で高齢者への投与も可能となった。

高用量投与を可能とする新しいメトホルミン製剤が販売開始されたことにより、2 型糖尿病薬物治療におけるメトホルミン処方への期待が高まる一方、近年、製薬企業等からの乳酸アシドーシスの副作用報告が徐々に集積してきた。集積された乳酸アシドーシス症例の患者背景を PMDA にて検討したところ、殆どの症例が、添付文書において乳酸アシドーシスに関する注意を呼び掛けていた、高齢者、透析患者、手術前後の患者等に該当していた。このことから、添付文書における注意喚起が不十分である可能性を考え、厚生労働省医薬食品局安全対策課から製造販売業者に対し、メトホルミン及びブホルミンの添付文書

改訂の指示（平成 24 年 3 月 19 日付薬食安発 0319 第 1 号厚生労働省医薬食品局安全対策課長通知）[7]が発出され、再度注意喚起が行われた。また、日本糖尿病学会に所属する専門医から構成される「ビッグアナイド薬の適正使用に関する委員会」からは、「ビッグアナイド薬の適正使用に関する Recommendation」（平成 24 年 2 月 1 日）[8]が発表された。

この厚生労働省による安全対策措置は、副作用として報告された症例集積検討における処方実態の評価を基に講じられたが、これらの報告症例は、全国のメトホルミン及びブホルミンが処方されている患者のうち、ごく一部の集団の情報に過ぎない。もしナショナルレセプトデータベースの利用が可能であれば、これを利用して全国規模の処方実態調査を実施することができるため、副作用報告の集積検討と並行し、臨床現場の実態をよりの確に把握することが可能になると考えられる。また、その分析結果を安全対策措置の判断材料とすることで、副作用報告が集積するよりも早く、効果的な注意喚起に繋がる可能性もある。

そこで、本研究では、ナショナルレセプトデータのサンプリングデータセットを用いたメトホルミン及びブホルミンの処方実態の分析を行うことで、そこから安全対策措置の判断材料に資する情報が得られるかどうかについて検討した。

3. 目的

ナショナルレセプトデータを分析することで、安全対策措置の判断材料に資するような処方状況や副作用発現の実態に関する情報が得られるかどうかを確認するため、安全対策措置が講じられた約半年前に当たる、平成 23 年 10 月のナショナルレセプトデータのサンプリングデータセットを用いて、当時のメトホルミン及びブホルミンの処方状況を調査した。

本試行調査結果から、ナショナルレセプトデータの分析によって安全対策措置の判断材料に資する情報が得られることが示唆されれば、今後の安全対策業務において副作用報告の症例集積評価と併せてナショナルレセプトデータ分析を行うことで、安全対策業務体制の強化に繋がると考えられる。

4. 研究実施体制

厚生労働省医薬食品局安全対策課からの業務委託を受け、PMDA にてデータベース格納からデータチェック、コホート分析、対象集団分析までの一通りの作業を実施した。

5. 研究期間

平成 24 年 5 月 18 日	サンプリングデータセットの提供に関する申出書提出
平成 24 年 7 月 12 日	サンプリングデータセットの提供承認（厚生労働省発 0712 第 11 号厚生労働大臣通知）
平成 24 年 12 月 17 日	サンプリングデータセット受領、作業開始
平成 25 年 5 月	分析等作業終了
平成 25 年 6 月	公表に関する問い合わせ、公表準備
平成 26 年 5 月	PMDA ホームページにて報告書公表

6. データソース

本分析では、ナショナルレセプトデータの部分抽出データである、サンプリングデータセットを使用した。本データセットは、平成 23 年 10 月診療分で、且つ平成 23 年 11 月～

平成 24 年 1 月に審査された全国の電子レセプトのうち、医科入院レセプト及び DPC レセプトについては 10%、医科入院外レセプトについては 1%のデータを抽出して作成されたものである。また、医科入院外レセプトについては、当該患者に紐付く 10 月及び 11 月診療分の調剤レセプトも併せて提供された。

サンプリングデータセット提供においては、臓器提供に関するデータテーブルを除き、ほぼ全てのデータテーブルが提供されたが、このうち、本分析では下記のデータテーブルを使用した。

レセプトの種類	データテーブル名
医科入院レセプト	レセプト共通レコード 傷病名レコード 診療行為レコード 医薬品レコード
DPC レセプト	レセプト共通レコード 診断群分類レコード 傷病レコード 傷病名レコード 診療行為レコード 医薬品レコード コーディングデータレコード
医科入院外レセプト	レセプト共通レコード 傷病名レコード 診療行為レコード 医薬品レコード
調剤レセプト	レセプト共通レコード 調剤情報レコード 医薬品レコード

なお、サンプリングデータセットは、性別及び年齢層（5 歳刻み）について、母集団と構成比率が同様となるようデータ抽出が行われている。また、個人の識別可能性を考慮し、高額レセプトや、患者氏名、生年月日、都道府県、医療機関等の情報は提供されない。更に、傷病名、診断群分類、医薬品、診療行為については、出現頻度の低いコードを対象に匿名化処理を行った上でデータ提供が行われた。

7. データベースへのデータ格納

本分析にて使用するデータテーブルをデータベース（MySQL 5.5）へ投入した。このとき、各データテーブルとも大きな問題を生じることなく格納できたため、データクリーニング等の作業は特に実施しなかった。ただし、一部の項目については、「電子レセプトの

作成手引き」[9]で規定されたデータ型では格納できず、異なるデータ型で格納したものがあつた。（詳細は8-2-2参照）

8. データチェック

8-1. 方法

8-1-1. データ行数の確認

各データテーブルのデータ行数及びデータ行の重複の有無を確認するため、データテーブル毎に下記の作業を行った。

確認事項	確認方法
データ行数（重複を認める場合）	データ行の重複を認める場合・認めない場合のそれぞれについて、各データテーブルのデータ行数を算出した。
データ行数（重複を認めない場合）	

8-1-2. 項目内容の確認

各データテーブルに含まれる項目の内容を確認するため、項目毎に下記の作業を行った。

確認事項	確認方法
入力値例	入力内容を確認した。
カテゴリ数	各項目のカテゴリ数を算出した。 (未入力、誤入力、匿名化処理レコードを除く。)
欠測数	未入力 (null) のレコード数を算出した。
入力割合	全レコード数に占める、欠測値を除くレコード数の割合を算出した。
外れ値例	「電子レセプトの作成手引き」で規定された入力値から明らかに逸脱したものの有無、内容を確認した。
外れ値割合	全レコード数に占める、外れ値数の割合を算出した。
匿名化割合	匿名化処理が行われた項目を対象に、全レコード数に占める、匿名化レコード ¹ 数の割合を算出した。

¹ 傷病名コード：9999999 (7桁)、診療行為コード：88888888 (9桁)、医薬品コード：999999999 (9桁)、診断群分類番号 (DPC)：010101010101 (14桁)

8-2. 結果

8-2-1. データ行数の確認

提供されたレセプトのうち、本分析で利用した各データテーブルのデータ行数、データサイズは、表1の通りであった。データは、データテーブル毎に1つのcsvファイルとして提供され、合計で21個のcsvファイル、容量約4GBに相当した。

表1. 提供されたレセプトのデータ行数

レセプトの種類	データテーブル名	データ行数	データサイズ(KB)
医科入院レセプト	レセプト共通レコード	130,801	12,389
	傷病名レコード	1,484,571	75,652
	診療行為レコード	4,980,164	414,650
	医薬品レコード	1,961,452	163,910
DPCレセプト	レセプト共通レコード	118,002	9,413
	診断群分類レコード	97,746	5,802
	傷病レコード	616,371	29,879
	傷病名レコード	102,908	5,233
	診療行為レコード	1,617,355	136,494
	医薬品レコード	680,098	56,759
	コーディングデータレコード	13,186,536	788,589
医科入院外レセプト	レセプト共通レコード	1,049,547	97,231
	傷病名レコード	5,354,577	273,710
	診療行為レコード	9,874,762	822,548
	医薬品レコード	1,614,937	136,245
調剤レセプト (医科入院外レセプトと紐付く平成23年10月診療分)	レセプト共通レコード	631,802	61,097
	調剤情報レコード	2,038,546	225,771
	医薬品レコード	2,640,621	125,148
調剤レセプト (医科入院外レセプトと紐付く平成23年11月診療分)	レセプト共通レコード	497,644	48,648
	調剤情報レコード	1,707,363	189,229
	医薬品レコード	2,167,684	102,689

8-2-2. 項目内容の確認

本分析で使用した各データテーブルに含まれる項目の内容は、以下の通りであった。

【医科入院レセプト】

1. レセプト共通レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目 ²³	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	レセプト 番号	レセプト 種別	診療年月	氏名	男女区分	生年月日	給付割合	入院 年月日	病棟区分	一部負担 金等区 分 ⁴	レセプト 特記事項	病床数
必須記載			*	*	*	*	*	*	*						
データ属性 ⁵	英数	英数	英数			数字		数字	数字		英数	英数	英数		英数
入力値例	00000000 03- 00169459 24	1_1000003 594- 4_2000002 490	RE			42310		1, 2	01, 02, ... 18		3160915- 4231031	01, 0107, 02, 07, 07 01	-		-
カテゴリ数	130256	130801	1			1		2	18		9647	5	-		-
欠測数	-	-	-			-		-	-		16	81889	全 レコード		全 レコード
入力割合(%)	100	100	100			100		100	100		99.99	37.4	0		0
外れ値例	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-
外れ値割合(%)	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-
匿名化割合(%)	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-

² 色付きセル：灰色…空欄として提供された項目 青色…加工して提供された項目

³ 赤文字：コホート分析又は対象集団分析で使用した項目

⁴ 一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分

⁵ 下線：「電子レセプトの作成手引き」にて規定されたデータ属性と異なるデータ型でデータベースに格納されたもの

項目 No.	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	カルテ 番号等	割引点数 単価	予備	予備	旧診療科	検索番号	記録条件 仕様年月 情報	請求情報	診療科名 (診療科 1)	人体の 部位等 (診療科 1)	性別等 (診療科 1)	医学的 処置 (診療科 1)	特定疾病 (診療科 1)	診療科名 (診療科 2)	人体の 部位等 (診療科 2)
必須記載															
データ属性			英数	英数	英数	英数	英数		英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例入力値例			-	-	02-64	01423110 11000001 490- 47424010 11100022 514	-		00-99	003-028	002, 005, 006, 007	001, 002, 004, 012, 013, 014	001, 002, 003	01-36	-
カテゴリ数			-	-	14	106691	-		70	13	4	6	3	10	-
欠測数			全 レコード	全レコー ド	130759	24110	全 レコード		70713	103667	130778	130722	130796	130779	全レコー ド
入力割合(%)			0	0	0.0	81.6	0		45.9	20.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0
外れ値例			-	-	46, 64	-	-		00, 29, 32 . 41- 59, 64- 76, 80, 99	-	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)			-	-	0.0	-	-		0.4	-	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)			-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-

項目 No.	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
項目	性別等 (診療科 2)	医学的 処置 (診療科 2)	特定疾病 (診療科 2)	診療科名 (診療科 3)	人体の 部位等 (診療科 3)	性別等 (診療科 3)	医学的 処置 (診療科 3)	特定疾病 (診療科 3)
必須記載								
データ属性	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例入力値例	-	-	-	19, 20, 26	-	-	-	-
カテゴリ数	-	-	-	3	-	-	-	-
欠測数	全 レコード	全 レコード	全 レコード	130798	全 レコード	全 レコード	全 レコード	全 レコード
入力割合(%)	0	0	0	0.0	0	0	0	0
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 傷病名レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	傷病名 コード	診療 開始日	転帰区分	修飾語 コード	傷病名称	主傷病	補足 コメント
必須記載			*	*	*	*				
データ属性	英数	英数	英数	英数	数字	数字	英数		英数	
入力値例			SY	0000999 — 9999712, 9999999	3250411- 4231031	1, 2, 3, 4	1001- 8144		01	
カテゴリ数	1410388	130801	1	8378	12824	4	9349		1	
欠測数	-	-	-	-	-	-	1181556		1319796	
入力割合(%)	100	100	100	100	100	100	20.4		11.1	
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-	-	-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	0.19	-	-	-		-	

3. 診療行為レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	診療行為 コード	数量 データ	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	英数		数字	英数	英数	英数	英数		数字		数字	
入力値例			SI	11-97		11100110 - 19700301 0.888888 888	1-8800	0-214800	1-279	81000001 - 89000000 1		81000001 - 84000009 1		81000001 - 84000006 5	
カテゴリ数	4223457	130390	1	20		2062	547	5643	278	23	空欄	11	空欄	5	空欄
欠測数	-	-	-	-		-	4240920	2355904	2352851	4973031		4979620		4980079	
入力割合(%)	100	100	100	100		100	14.8	52.7	52.8	0.1		0.0		0.0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.09	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (48)
項目	1-31 日 の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて:4973850
入力割合(%)	0.1
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

4. 医薬品レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	医薬品 コード	使用量	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	英数		数字		英数	英数	英数		英数		英数	
入力値例			1Y	01-80		61040600 2- 66811002 ,9999999 99	0.00005- 72000	0-270505	1-501	81000001		81000001		-	
カテゴリ数	1830601	92097	1	20		10311	3198	8200	140	1		1		-	
欠測数	-	-	-	26		-	-	1107528	1105464	1960806		1961409		全レコー ド	
入力割合(%)	100	100	100	99.999		100	100	43.5	43.6	0.0		0.0		0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.35	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (46)
項目	1-31 日の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて:1959483
入力割合(%)	0.1
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

【DPC レセプト】

1. レセプト共通レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	レセプト 番号	レセプト 種別	診療年月	氏名	男女区分	生年月日	給付割合	入院 年月日	病棟区分	一部負担 金等区分	レセプト 特記事項	予備
必須記載			*	*	*	*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数			数字		数字	数字		英数	英数	英数		英数
入力値例	00000000 03- 00021127 18	1_100000 0001- 4_200000 03506	RE			42310		1, 2	01, 02, ...18		3520912- 4231031	01, 02, 07	-		-
カテゴリ数	114364	93708	1			1		2	18		303	3	-		-
欠測数	-	-	-			-		-	-		99071	117576	全 レコード		全 レコード
入力割合(%)	100	100	100			100		100	100		16.0	0.4	0		0
外れ値例	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-
外れ値割合(%)	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-
匿名化割合(%)	-	-	-			-		-	-		-	-	-		-

項目 No.	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	カルテ 番号等	割引点数 単価	予備	予備	旧診療科	レセプト 総括区分	明細 情報数	検索番号	記録条件 仕様年月 情報	請求情報	診療科名	人体の 部位等	性別等	医学的 処置	特定疾病
必須記載	*					*									
データ属性			英数	英数	英数	数字	英数	英数	英数		英数	英数	英数	英数	英数
入力値例			-	-	01-64	0, 1, 2, 3	2, 3, 4, 5	01423110 21000000 005- 47424010 21100004 308	-		01-99	002-032	002, 003, 005, 006	001, 002, 012, 013, 016	002, 003
カテゴリ数			-	-	22	4	4	61530	-		69	16	4	5	2
欠測数			全 レコード	全 レコード	117713	-	106099	38844	全 レコード		308	117059	117970	117772	117934
入力割合(%)			0	0	0.2	100	10.1	67.1	0		99.7	0.8	0.0	0.2	0.1
外れ値例			-	-	44, 46- 49, 64	-	-	-	-		32, 40- 49, 51- 59, 64- 76, 80, 99	-	-	-	-
外れ値割合(%)			-	-	0.1	-	-	-	-		2.2	-	-	-	-
匿名化割合(%)			-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

2. 診断群分類レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診断群 分類番号	今回入院 年月日	今回退院 年月日	DPC 転帰区分	死因
必須記載			*	*	*			
データ属性	英数	英数	英数	英数	数字	英数	英数	
入力値例			BU	010010XX 01X0XX- 180060XX 99XXXX	4230419- 4231031	4231001- 4231031	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9	
カテゴリ数	95174	93708	1	1755	148	13	8	
欠測数	-	-	-	-	-	27137	27134	
入力割合(%)	100	100	100	100	100	72.2	72.2	
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	
匿名化割合(%)	-	-	-	0.12	-	-	-	

3. 傷病レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	傷病名 コード	修飾語 コード	傷病名称	ICD10 コード	傷病名 区分	死因	補足 コメント
必須記載			*	*			*	*		
データ属性	英数	英数	英数	英数	英数		英数	数字	英数	
入力値例			SB	0000999- 9999407, 9999999	1002- 8143		A010- Z991	1-54	1	
カテゴリ数	525314	93708	1	8651	2201		4885	13	1	
欠測数	-	-	-	-	517453		-	-	615825	
入力割合(%)	100	100	100	100	84.0		100	100	0.1	
外れ値例	-	-	-	-	-		5181, 728 4, Z999, Z ZZZ	-	-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-		0.0	-	-	
匿名化割合(%)	-	-	-	0.17	-		-	-	-	

4. 傷病名レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	傷病名 コード	診療 開始日	転帰区分	修飾語 コード	傷病名称	主傷病	補足 コメント
必須記載			*	*	*	*				
データ属性	英数	英数	英数	英数	数字	数字	英数		英数	
入力値例			SY	0000999- 9999407	3210709- 4231031	1, 2, 3, 4	1002- 8140		01	
カテゴリ数	100513	8353	1	5360	4041	4	1301		1	
欠測数	-	-	-	-	-	-	83901		90766	
入力割合(%)	100	100	100	100	100	100	18.5		11.8	
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-	-	-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	0.3	-	-	-		-	

5. 診療行為レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	診療行為 コード	数量 データ	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	数字		数字	英数	英数	英数	英数		英数		英数	
入力値例			SI	1-97		11100110 - 19700301 0.888888 888	1-9400	0-372160	1-236	81000001 - 89000000 1		81000001 , 84000004 2, 84000005 8		84000005 8	
カテゴリ数	1095754	93690	1	23		2126	798	5604	146	7		3		1	
欠測数	-	-	-	-		-	1027016	422399	421505	1616951		1617327		1617350	
入力割合(%)	100	100	100	100		100	36.5	73.9	73.9	0.0		0.0		0.0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.1	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (46)
項目	1-31 日の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて:1617355
入力割合(%)	0
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

6. 医薬品レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	医薬品 コード	使用量	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	数字		数字	英数	英数	英数	英数		英数		英数	
入力値例			1Y	1-80		61040600 2- 68912001 9,999999 999	0.001- 33600	0-113511	1-145	81000001		-		-	
カテゴリ数	568354	63883	1	17		6819	3772	6262	109	1		-		-	
欠測数	-	-	-	-		-	-	429701	429278	680045		全 レコード		全 レコード	
入力割合(%)	100	100	100	100		100	100	36.8	36.9	0.0		0		0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.1	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (46)
項目	1-31 日の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて: 680098
入力割合(%)	0
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

7. コーディングデータレコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	実施 年月日	診療識別	順序番号	行為 明細番号	レセプト 電算コード	使用量	数量 データ	単位 コード	回数	特定器材 名称
必須記載			*	*	*	*	*	*				*	
データ属性	英数	英数	英数	数字	数字	数字	数字	数字	英数	英数	英数	数字	
入力値例	00000000 34- 00021129 32	1_100000 00001- 4_200000 03506	CD	4231001- 4231031	11-80 (20カテ ゴリ)	1-570	1-98	111000110- 799990070, 888888888, 999999999	0-9990	0-990	002-128	1-126	
カテゴリ数	2087590	93061	1	31	19	570	98	10725	11939	839	32	103	
欠測数	-	-	-	-	-	-	-	-	838060 8	12347361	12798597	-	
入力割合 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	63.6	93.6	97.1	100	
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108, 113, 126, 128	-	
外れ値割合 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	
匿名化割合 (%)	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	

【医科入院外レセプト】

1. レセプト共通レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	レセプト 番号	レセプト 種別	診療年月	氏名	男女区分	生年月日	給付割合	入院 年月日	病棟区分	一部負担 金等標準 負担額区 分	レセプト 特記事項	病床数
必須記載			*	*	*	*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数			数字	英数	数字	数字		英数	英数	英数		英数
入力値例	00000000 03- 00169657 50	1_100000 3588- 8_800000 16240	RE			42310	00000000 01000755 575	1, 2	01, 02, ...18		-	-	-		01, 02, 03, 04, 05
カテゴリ数	1013378	1049547	1			1	755247	2	18		-	-	-		5
欠測数	-	-	-			-	-	-	-		全 レコード	全 レコード	全 レコード		767006
入力割合(%)	100	100	100			100	100	100	100		0	0	0		26.9
外れ値例	-	-	-			-	-	-	-		-	-	-		-
外れ値割合(%)	-	-	-			-	-	-	-		-	-	-		-
匿名化割合(%)	-	-	-			-	-	-	-		-	-	-		-

項目 No.	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	カルテ 番号等	割引点数 単価	予備	予備	旧診療科	検索番号	記録条件 仕様年月 情報	請求 情報	診療科名 (診療科 1)	人体の 部位等 (診療科 1)	性別等 (診療科 1)	医学的 処置 (診療科 1)	特定疾病 (診療科 1)	診療科名 (診療科 2)	人体の 部位等 (診療科 2)
必須記載															
データ属性			英数	英数	英数	英数	英数		英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例			-	-	01-41	01423110 11000000 109- 47424010 11000087 715	-		00-99	002-032	002, 003, 005, 006, 007	001-019	001, 002, 003	00-96	004-031
カテゴリ数			-	-	19	613810	-		85	17	5	11	3	68	13
欠測数			全 レコード	全 レコード	1048968	435737	全 レコード		762152	1047921	1049480	1049098	1049273	1017942	1049281
入力割合(%)			0	0	0.1	58.5	0		27.4	0.2	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
外れ値例	-	-	-	-	41	-	-		00, 32, 40- 60, 65- 77, 79- 81, 83, 86- 88, 91, 92, 9 6, 98	-	-	-	-	00, 32, 41 -48, 51- 59, 66- 77, 79, 80 , 96	-
外れ値割合(%)	-	-	-	-	0.0	-	-		0.4	-	-	-	-	0.1	-
匿名化割合(%)	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-

項目 No.	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)
項目	性別等 (診療科 2)	医学的 処置 (診療科 2)	特定疾病 (診療科 2)	診療科名 (診療科 3)	人体の 部位等 (診療科 3)	性別等 (診療科 3)	医学的 処置 (診療科 3)	特定疾病 (診療科 3)
必須記載								
データ属性	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例	002, 003	001-019	002, 003	01-98	004-017	-	001-019	003
カテゴリ数	2	5	2	55	10	-	5	1
欠測数	1049542	1049461	1049513	1043730	1049487	全 レコード	1049525	1049545
入力割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0	0.0	0.0
外れ値例	-	-	-	41- 44, 46, 48 , 51- 54, 56- 59, 67- 70, 73- 77, 98	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-	0.0	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 傷病名レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	傷病名 コード	診療 開始日	転帰区分	修飾語 コード	傷病名称	主傷病	補足 コメント
必須記載			*	*	*	*				
データ属性	英数	英数	英数	英数	数字	数字	英数		英数	
入力値例			SY	0000999 - 9999712, 9999999	3181202- 4231031	1, 2, 3, 4	1001- 8143		01	
カテゴリ数	4558010	1049547	1	9992	12072	4	18691		1	
欠測数	-	-	-	-	-	-	4214537		4448601	
入力割合(%)	100	100	100	100	100	100	21.3		16.9	
外れ値例	-	-	-	-	-	-	-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-	-	-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	0.1	-	-	-		-	

3. 診療行為レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	診療行為 コード	数量 データ	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	英数		数字	英数	英数	英数	英数		英数		英数	
入力値例			SI	01-80		11100110 - 19007671 0,888888 888	1-1440	0-42800	1-130	81000001 - 89000000 1		81000001 - 89000000 1		81000001 - 84000011 5	
カテゴリ数	7345484	1049463	1	19		1837	160	1511	50	39		18		10	
欠測数	-	-	-	5		-	9523869	3039981	3039595	9864480		9874149		9874705	
入力割合(%)	100	100	100	100		100	3.6	69.2	69.2	0.1		0.0		0.0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.0	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (46)
項目	1-31 日の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて:9851846
入力割合(%)	0.2
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

4. 医薬品レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	診療識別	負担区分	医薬品 コード	使用量	点数	回数	コメント コード 1	文字 データ 1	コメント コード 2	文字 データ 2	コメント コード 3	文字 データ 3
必須記載			*		*	*									
データ属性	英数	英数	英数	数字		数字	英数	英数	英数	英数		英数		英数	
入力値例			IY	11-80		61040600 2- 66811002 .9999999 99	0.00005- 33600	0-47318	1-360	81000001 - 89000000 1		81000001 . 84000000 0		81000001 . 84000000 0	
カテゴリ数	1534145	418133	1	19		11513	1518	4047	132	5		2		2	
欠測数	-	-	-	-		-	5188	568213	567457	1613730		1614900		1614933	
入力割合(%)	100	100	100	100		100	99.7	64.8	64.9	0.1		0.0		0.0	
外れ値例	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
外れ値割合(%)	-	-	-	-		-	-	-	-	-		-		-	
匿名化割合(%)	-	-	-	-		0.1	-	-	-	-		-		-	

項目 No.	(16) - (46)
項目	1-31 日の情報
必須記載	
データ属性	英数
入力値例	
カテゴリ数	
欠測数	(16) - (46) 併せて:1610172
入力割合(%)	0.3
外れ値例	-
外れ値割合(%)	-
匿名化割合(%)	-

【調剤レセプト（医科入院外レセプトと紐付く平成 23 年 10 月診療分）】

1. レセプト共通レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	レセプト 番号	レセプト 種別	調剤年月	氏名	男女区分	生年月日	給付 割合	レセプト 特記事項	都道府県 (医療機関名 称・所在地)	点数表 (医療機関名 称・所在地)	医療機関 (医療機関名 称・所在地)	名称 (医療機関名 称・所在地)
必須記載			*	*	*	*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数			数字	英数	数字	数字				英数		
入力値例	00000000 11007381 071	1_100002 5310- 8_800000 34050	RE			42310	00000000 01000755 574	1, 2	1-18				1, 3		
カテゴリ数	602808	631802	1			1	385159	2	18				2		
欠測数	-	-	-			-	-	-	-				33		
入力割合(%)	100	100	100			100	100	100	100				99.99		
外れ値例	-	-	-			-	-	-	-				-		
外れ値割合(%)	-	-	-			-	-	-	-				-		
匿名化割合(%)	-	-	-			-	-	-	-				-		

項目 No.	(16)	(17) - (36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)
項目	所在地 (医療機関 名称・所在 地)	保険医師氏名	麻薬免許 番号	調剤録 番号等	予備	検索番号	記録条件 仕様年月 情報	請求情報
必須記載								
データ属性					英数	英数	英数	
入力値例					-	14231104 10000000 00- 47424010 41000100 00	-	
カテゴリ数					-	379816	-	
欠測数					全 レコード	251986	全 レコード	
入力割合(%)					0	60.1	0	
外れ値例					-	-	-	
外れ値割合(%)					-	-	-	
匿名化割合(%)					-	-	-	

2. 調剤情報レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	医師番号	処方月日	調剤月日	処方せん 受付回	調剤数量	負担区分 (調剤料)	算定区分 (調剤料)	算定先 NO (調剤料)	コード (調剤料)	点数 (調剤料)	分割区分 (分割調剤)	前回まで の数量 (分割調剤)
必須記載			*	*	*	*	*	*	*	*	*				
データ属性	英数	英数	英数		数字	数字	数字	数字		数字	数字	数字	数字	数字	数字
入力値例			CZ		1231025- 4231031	4231001- 4231031	1-31	1-365		1, 2, 3, 4	0-37	4200011 0- 42000151 0	0-400	1, 2, 3, 4	1-46
カテゴリ数	1765081	631770	1		53	31	31	144		4	38	13	44	5	14
欠測数	-	-	-		-	-	-	-		-	-	5681	-	2038406	2038486
入力割合(%)	100	100	100		100	100	100	100		100	100	99.7	100	0.007	0.003
外れ値例	-	-	-		1231025, 1321230, 2031024, 3231004 等 ⁶	-	-	-		-	0	-	-	4, 5	-
外れ値割合(%)	-	-	-		0.0	-	-	-		-	0.0	-	-	0.0	-
匿名化割合(%)	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	-	-

項目 No.	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	点数 (薬剤料)	予備 (薬剤料)	負担区分 1 (加算料)	コード 1 (加算料)	点数 1 (加算料)	負担区分 2 (加算料)	コード 2 (加算料)	点数 2 (加算料)	負担区分 3 (加算料)	コード 3 (加算料)	点数 3 (加算料)	負担区分 4 (加算料)	コード 4 (加算料)	点数 4 (加算料)	負担区分 5 (加算料)
必須記載															
データ属性	英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数	
入力値例	1-881902	-		43000017 0- 43000477 0	0-1120		43000027 0- 43000477 0	2-300		43000027 0- 43000477 0	2-270		4. 3E+08	24	
カテゴリ数	3870	-		37	85		30	69		17	41		1	1	
欠測数	4	全 レコード		1282429	1282429		1924769	1924769		2034550	2034550		2038545	2038545	
入力割合(%)	99.9998	0		37.1	37.1		5.6	5.6		0.2	0.2		5E-05	5E-05	
外れ値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
外れ値割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
匿名化割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	

⁶ 上 3 桁が「423」以外のものを外れ値とみなした

項目 No.	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
項目	コード 5 (加算料)	点数 5 (加算料)	負担区分 6 (加算料)	コード 6 (加算料)	点数 6 (加算料)	負担区分 7 (加算料)	コード 7 (加算料)	点数 7 (加算料)	負担区分 8 (加算料)	コード 8 (加算料)	点数 8 (加 算料)	負担区分 9 (加算料)	コード 9 (加算料)	点数 9 (加算料)	負担区分 10 (加算料)
必須記載															
データ属性	英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数	
入力値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
カテゴリ数	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
欠測数	全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード	
入力割合(%)	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0	
外れ値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
外れ値割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
匿名化割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	

項目 No.	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
項目	コード 10 (加算料)	点数 10 (加算料)	一包化日数	分割調剤種類 (分割調剤)	前回までの 一包化日数 (分割調剤)
必須記載					
データ属性	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例	-	-	1-182	1, 2	1-42
カテゴリ数	-	-	102	2	10
欠測数	全レコード	全レコード	1892763	2038406	2038508
入力割合(%)	0	0	7.2	0.01	0.00
外れ値例	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-	-	-

3. 医薬品レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	負担区分	医薬品 コード	使用量	予備	予備	コード (混合区分)	枝 (混合区分)	配合不適 区分	1回用量
必須記載			*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数		数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例			1Y		61040600 2- 64046201 0,999999 999	0.0001- 40000	-	-	1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	0.01-100
カテゴリ数	2189531	631769	1		8285	1638	-	-	3	3	3	245
欠測数	-	-	-		-	-	全 レコード	全 レコード	2334262	2558622	2636788	2585887
入力割合(%)	100	100	100		100	100	0	0	11.6	3.1	0.1	2.1
外れ値例	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-		3.9	-	-	-	-	-	-	-

【調剤レセプト（医科入院外レセプトと紐付く平成 23 年 11 月診療分）】

1. レセプト共通レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	レセプト 番号	レセプト 種別	調剤年月	氏名	男女区分	生年月日	給付割合	レセプト 特記事項	都道府県 (医療機関名 称・所在地)	点数表 (医療機関名 称・所在地)	医療機関 (医療機関名 称・所在地)	名称 (医療機関名 称・所在地)
必須記載			*	*	*	*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数			数字	英数	数字	数字				英数		
入力値例	00000000 22- 00073686 43	1_100005 2905- 8_800000 34053	RE			42311	00000000 01000755 574	1, 2	1-18				1, 3		
カテゴリ数	479920	497644	1			1	385159	2	18				42		
欠測数	-	-	-			-	-	-	-				-		
入力割合(%)	100	100	100			100	100	100	100				100		
外れ値例	-	-	-			-	-	-	-				-		
外れ値割合(%)	-	-	-			-	-	-	-				-		
匿名化割合(%)	-	-	-			-	-	-	-				-		

項目 No.	(16)	(17) - (36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)
項目	所在地 (医療機関名 称・所在地)	保険医師氏名	麻薬免許 番号	調剤録番 号等	予備	検索番号	記録条件 仕様年月 情報	請求情報
必須記載								
データ属性					英数	英数	英数	
入力値例					-	14231204 10000000 00- 47424020 41000100 00	-	
カテゴリ数					-	326007	-	
欠測数					全 レコード	171638	全 レコード	
入力割合(%)					0	65.5	0	
外れ値例					-	-	-	
外れ値割合(%)					-	-	-	
匿名化割合(%)					-	-	-	

2. 調剤情報レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	医師番号	処方月日	調剤月日	処方せん 受付回	調剤数量	負担区分 (調剤料)	算定区分 (調剤料)	算定先 No (調剤料)	コード (調剤料)	点数 (調剤料)	分割区分 (分割調剤)	前回まで の数量 (分割調剤)
必須記載			*	*	*	*	*	*	*	*	*				
データ属性	英数	英数	英数		数字	数字	数字	数字		数字	数字	英数	英数	英数	英数
入力値例			GZ		1231110- 4231130	4231101- 4231130	1-24	1-370		1, 2, 3, 4	0-32 (31 なし)	42000011 0- 42000151 0	0-400	1, 2, 3, 4	4-120
カテゴリ数	1513926	497602	1		58	30	24	132		4	32	13	44	4	15
欠測数	-	-	-		-	-	-	-		-	-	5034	-	1707232	1707274
入力割合(%)	100	100	100		100	100	100	100		100	100	0.3	100	99.99	99.99
外れ値例	-	-	-		1231110, 3231114, 4221028, 4230610, 4230920 ⁷	-	-	-		-	0	-	-	4	-
外れ値割合(%)	-	-	-		0.0	-	-	-		-	0.0	-	-	0.0	-
匿名化割合(%)	-	-	-		-	-	-	-		-	-	-	-	-	-

項目 No.	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
項目	点数 (薬剤料)	予備 (薬剤料)	負担区分 1 (加算料)	コード 1 (加算料)	点数 1 (加算料)	負担区分 2 (加算料)	コード 2 (加算料)	点数 2 (加 算料)	負担区分 3 (加算料)	コード 3 (加算料)	点数 3 (加 算料)	負担区分 4 (加算料)	コード 4 (加算料)	点数 4 (加 算料)	負担区分 5 (加算料)
必須記載															
データ属性	英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数	
入力値例	1-881902	-		43000037 0- 43000477 0	2-1120		43000027 0- 43000477 0	2-360		43000027 0- 43000477 0	2-270		-	-	
カテゴリ数	3570	-		38	80		28	70		16	38		-	-	
欠測数	3	全レコー ド		1073097	1073097		1610140	1610140		全レコー ド	全レコー ド		全レコー ド	全レコー ド	
入力割合(%)	0.00	0		62.9	62.9		94.3	94.3		0	0		0	0	
外れ値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
外れ値割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
匿名化割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	

⁷ 上 3 桁が「423」以外のものを外れ値とみなした

項目 No.	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
項目	コード 5 (加算料)	点数 5 (加算料)	負担区分 6 (加算料)	コード 6 (加算料)	点数 6 (加算料)	負担区分 7 (加算料)	コード 7 (加算料)	点数 7 (加算料)	負担区分 8 (加算料)	コード 8 (加算料)	点数 8 (加算料)	負担区分 9 (加算料)	コード 9 (加算料)	点数 9 (加算料)	負担区分 10 (加算料)
必須記載															
データ属性	英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数		英数	英数	
入力値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
カテゴリ数	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
欠測数	全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード		全 レコード	全 レコード	
入力割合(%)	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0	
外れ値例	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
外れ値割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	
匿名化割合(%)	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-	

項目 No.	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
項目	コード 10 (加算料)	点数 10 (加算料)	一包化 日数	分割調剤 種類 (分割調剤)	前回までの 一包化日数 (分割調剤)
必須記載					
データ属性	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例	-	-	0-150	1, 2	4-60
カテゴリ数	-	-	93	2	8
欠測数	全 レコード	全 レコード	1566654	1707232	1707309
入力割合(%)	0	0	91.8	99.99	99.997
外れ値例	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-	-	-

3. 医薬品レコード

項目 No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)
項目	通番 1	通番 2	レコード 識別情報	負担区分	医薬品 コード	使用量	予備	予備	コード (混合区分)	枝 (混合区分)	配合不適 区分	1 回用量
必須記載			*	*	*	*						
データ属性	英数	英数	英数		数字	英数	英数	英数	英数	英数	英数	英数
入力値例			1Y		61040600 2- 64046201 0,999999 999	0.0004- 15000			1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	0.0025- 100
カテゴリ数	1859324	497601	1		8283	1475	-	-	3	3	4	224
欠測数	-	-	-		-	-	全 レコード	全 レコード	1934711	2104322	2164575	2126785
入力割合(%)	100	100	100		100	100	0	0	10.7	2.9	0.1	1.9
外れ値例	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
外れ値割合(%)	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-
匿名化割合(%)	-	-	-		3.6	-	-	-	-	-	-	-

8-3. 考察

8-3-1. データ行数の確認

各データテーブルとも、データ行の重複は認められず、本分析で使用したサンプリングデータセットは、データ行の重複なく提供されたことが確認された。なお、サンプリングデータセットでは、1レセプト内での並び順を意味する「通番1」と、全レセプトの中で一意となる番号である「通番2」の2種類の通番が付与されていた[10]が、いずれのテーブルにおいても、「通番1」と「通番2」を組み合わせることで、各行を特定することが可能であった。

8-3-2. 項目内容の確認

●カテゴリ数

レセプト共通レコードテーブルにおいて、DPCレセプトを除き、通番2のカテゴリ数は、本データテーブルの行数と一致していた。これは、本データテーブルのデータは、レセプト1件毎に1行ずつ作成されるためと言える。DPCレセプトでは、通番2のカテゴリ数が93,708件であったのに対し、データ行数は118,002件と、約24,000件について通番2の重複が認められた。この理由として、DPCレセプトは、DPCレセプト、総括レセプト、総括対象DPCレセプト、総括対象医科入院レセプトの4つから構成され、総括レセプトの場合は、総括レセプト、総括対象DPCレセプト、総括対象医科入院レセプトに分かれて、それぞれレセプト共通レコードが作成されるためと考えられた。

●入力割合

必須記載項目は、全てデータが入力されていた。必須記載でない項目については、診療行為レコードテーブルや医薬品レコードテーブルの「診療識別」、医薬品レコードテーブルの「使用量」等を除き、概ね入力割合は低かった。なお、本分析にて使用した項目は、該当する場合のみ入力される傷病名レコードテーブルの「修飾語コード」、「主傷病」等を除き、入力割合が100%のものがほとんどであった。ただし、医科レセプト及びDPCレセプトの医薬品レコードテーブルの「回数」については、入力割合が4~6割と低値であった。これは、合剤処方の場合には合剤単位で回数が入力される[9]ためであり、本項目を分析に使用する際は、空のレコードに該当回数を付与する作業が必要と考えられた。

●外れ値割合

外れ値については、レセプト共通レコードテーブルの診療科に関する項目、傷病レコードテーブルの「ICD10 コード」、調剤情報レコードテーブルの「算定先 No.」等、一部の限られた項目でのみ認められ、各項目の外れ値割合は全レコード数の1%未満（DPC レセプトのレセプト共通レコード「診療科名」のみ2.2%）と少なかった。

●匿名化割合

医科レセプト及びDPCレセプトにおいて、傷病名コード、診断群分類コード、医薬品コードの匿名化割合は0.1～0.4%、診療行為コードの匿名化割合は0.0～0.1%であったが、調剤レセプトでは、医薬品コードの匿名化割合は約4%と高かった。傷病名コード、診断群分類コード、及び医薬品コードについては、サンプリングデータセットに含まれる全レセプトに出現するコードの総数のうち、出現回数の少ないコードから順に総出現回数の0.1%に達するまで、診療行為コードについては、0.01%に達するまでのコードを匿名化した上で提供される。したがって、本試行調査のようにレセプト種別に匿名化割合を見た場合、レセプト間で各コードの匿名化割合に違いが認められたと考えられた。調剤レセプトで医薬品コードの割合が高かった理由は不明であるが、調剤薬局では、後発医薬品が多様化する等、入院時処方や外来診療時の院内処方ではあまり処方されない医薬品が比較的多く使用されている可能性が考えられた。

9. コホート分析

本分析で使用するサンプリングデータセットに含まれる集団の特性や一般化可能性を評価する目的で、全レセプトを対象とした集計を実施した。

9-1. 方法

9-1-1. コホート定義

サンプリングデータセットを用いた集計を行うに当たり、レセプト種別に、入院（出来高算定）コホート、入院（包括評価算定）コホート、外来コホートの3つのコホートを定義した。レセプト種別にコホートを定義した理由は、医科入院レセプト及びDPCレセプトについて患者を識別するためのID等が付与されておらず、レセプト種別間の名寄せができなかったためである。

表 9-1. コホート定義

コホート名	コホートに含まれるレセプト/人	用いたデータ
入院（出来高算定）コホート	平成 23 年 10 月に入院診療を受け、発行された出来高算定のレセプト	医科入院レセプト
入院（包括評価算定）コホート	平成 23 年 10 月に入院診療を受け、発行された包括評価算定のレセプト	DPC レセプト
外来コホート	平成 23 年 10 月に外来診療を受け、医科入院外レセプトが発行された人	医科入院外レセプト

9-1-2. 集計方法

コホート別に、性別、年齢区分、傷病名の集計を行った。また DPC 入院コホートのみ主要診断群分類、入院日数の集計も行った。それぞれの集計方法の詳細および使用したデータソースの項目を表 9-2 に示した。なお、入院（出来高算定）コホートと入院（包括評価算定）コホートについては患者を識別するための ID 等が付与されていなかったため、レセプト単位の分析とした。ただし、入院（包括評価算定）コホートにおける主要診断群分類と入院日数の集計については入院単位の分析とした。一方、外来コホートについては、患者を識別するための ID が付与されていたため、患者単位の分析が可能であった。なお、外来コホートの集計においては、他のコホートと同じようにレセプト単位の分析とすると、当該患者が複数の医療機関を受診している場合、医療機関を識別するための ID が付与されていなかったために調剤レセプトの BG 薬処方に対応する医科入院外レセプトを特定できなかったことから、ここではレセプト単位ではなく、患者単位の分析とした。

表 9-2. コホート集計方法

分析事項	分析方法	使用したデータ項目 ⁸ および分析単位		
		入院 (出来高算定)	入院 (包括評価算定)	外来
性別	男女区分のレセプト数または人数とコホートに占める割合	医科入院レセプト 1-(2) (8) レセプト単位	DPC レセプト 1-(2) (8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(7) (8) 人単位
年齢区分	5歳刻みの年齢区分のレセプト数または人数とコホートに占める割合	医科入院レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	DPC レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(7) (9) 人単位
傷病名	主傷病の ICD-10 大分類単位のレセプト数または人数とコホートに占める割合 ただし、疑い病名（修飾語コード「8002」）を除いた	医科入院レセプト 2-(4) (7) (9) レセプト単位	DPC レセプト 3-(4) (5) (8)、 4-(4) (7) (9) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2) (7)、 2-(2) (4) (7) (9) 人単位
主要診断群分類	主要診断群分類単位の入院件数とコホートの入院件数に占める割合	該当項目なし	DPC レセプト 2-(2) (4) 入院単位	該当項目なし
入院日数	退院年月日と入院年月日の差から入院日数を計算し、日数区分単位の入院件数とコホートの入院件数に占める割合	該当項目なし	DPC レセプト 2-(2) (5) (6) 入院単位	該当項目なし

⁸ 「7. データチェック 結果 (2) 項目内容の確認」のテーブル・項目 No を参照

9-2. 結果

各コホートの性別・年齢の内訳を表 9-3 に示す。入院（出来高算定）及び外来コホートにおいては、女性の占める割合が約 57%とやや高く、一方、入院（包括評価算定）コホートにおいては、男性、女性の占める割合にほとんど違いは認められなかった。年齢については、3 コホート中外来コホートが最も若年者が多い傾向にあり、入院（出来高算定）コホートが最も高齢者の占める割合が高かった。

表 9-3. 性別・年齢区分

性別	入院（出来高算定）		入院（包括評価算定）		外来	
	レセプト数	割合 (%) ¹⁾	レセプト数	割合 (%) ¹⁾	人数	割合 (%) ¹⁾
男性	56,771	43.4	49,374	52.7	325,241	43.1
女性	74,030	56.6	44,334	47.3	430,006	56.9
年齢区分	レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
0-4 歳	2,965	2.3	4,931	5.3	45,595	6.0
5-9 歳	703	0.5	1,486	1.6	32,451	4.3
9-14 歳	617	0.5	972	1.0	23,712	3.1
15-19 歳	852	0.7	959	1.0	17,470	2.3
20-24 歳	1,611	1.2	1,233	1.3	17,507	2.3
25-29 歳	3,121	2.4	1,819	1.9	22,764	3.0
30-34 歳	3,985	3.0	2,442	2.6	27,286	3.6
35-39 歳	3,881	3.0	2,859	3.1	32,984	4.4
40-44 歳	3,231	2.5	2,757	2.9	33,481	4.4
45-49 歳	3,359	2.6	2,834	3.0	32,553	4.3
50-54 歳	4,202	3.2	3,557	3.8	36,272	4.8
55-59 歳	6,087	4.7	5,185	5.5	45,283	6.0
60-64 歳	9,959	7.6	9,239	9.9	70,942	9.4
65-69 歳	9,629	7.4	9,415	10.0	65,339	8.7
70-74 歳	12,639	9.7	11,371	12.1	75,736	10.0
75-79 歳	16,612	12.7	12,379	13.2	75,233	10.0
80-84 歳	18,491	14.1	10,217	10.9	56,339	7.5
85 歳-	28,857	22.1	10,053	10.7	44,300	5.9
合計	130,801	100	93,708	100	755,247	100

1) コホートに占める割合 (%)

ICD-10 大分類別の傷病内訳を表 9-4 に示す。各コホートとも、「循環器系の疾患」の割合が高かった。その他では、入院（出来高算定）コホートは「精神および行動の障害」、入院（包括評価算定）コホートでは「新生物」、外来コホートでは「内分泌, 栄養および代謝疾患」が高い等、コホート間でそれぞれ異なる傾向が認められた。

表 9-4. ICD-10 大分類別の傷病内訳

ICD-10 大分類	ICD-10 大分類名称	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト 数	割合 (%) ¹⁾	レセプト 数	割合 (%) ¹⁾	人数	割合 (%) ¹⁾
A00-B99	感染症および寄生虫症	2,643	2.0	2,312	2.5	19,329	2.6
C00-D48	新生物	9,151	7.0	20,828	22.2	28,539	3.8
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1,162	0.9	815	0.9	3,667	0.5
E00-E90	内分泌, 栄養および代謝疾患	6,637	5.1	2,766	3.0	91,825	12.2
F00-F99	精神および行動の障害	24,134	18.5	301	0.3	32,393	4.3
G00-G99	神経系の疾患	11,037	8.4	2,339	2.5	22,526	3.0
H00-H59	眼および付属器の疾患	1,753	1.3	3,348	3.6	47,471	6.3
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	336	0.3	867	0.9	9,892	1.3
I00-I99	循環器系の疾患	23,030	17.6	13,970	14.9	168,328	22.3
J00-J99	呼吸器系の疾患	8,882	6.8	9,356	10.0	85,056	11.3
K00-K93	消化器系の疾患	8,141	6.2	10,757	11.5	53,545	7.1
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	1,519	1.2	1,066	1.1	35,346	4.7
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	7,349	5.6	4,667	5.0	64,173	8.5
N00-N99	尿路性器系の疾患	5,402	4.1	4,891	5.2	25,975	3.4
O00-O99	妊娠, 分娩および産じょく<褥>	2,016	1.5	2,456	2.6	1,270	0.2
P00-P96	周産期に発生した病態	613	0.5	1,151	1.2	536	0.1
Q00-Q99	先天奇形, 変形および染色体異常	511	0.4	657	0.7	1,892	0.3
R00-R99	症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,777	3.7	628	0.7	12,359	1.6
S00-T98	損傷, 中毒およびその他の外因の影響	9,707	7.4	7,433	7.9	17,176	2.3
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	1,304	1.0	108	0.1	5,813	0.8

1) コホートに占める割合(%)

入院（包括評価算定）コホートにおける主要診断群分類の内訳を表 9-5 に示す。「消化器系疾患，肝臓・胆道・膵臓疾患」が 20%以上と最も多く、次いで「呼吸器系疾患」が 13%と多かった。

表 9-5. 入院（包括評価算定）コホートにおける主要診断群分類内訳

主要診断群	入院件数	割合 (%) ¹⁾
06 消化器系疾患，肝臓・胆道・膵臓疾患	21,794	22.3
04 呼吸器系疾患	12,809	13.1
05 循環器系疾患	9,229	9.4
16 外傷・熱傷・中毒	7,777	8.0
01 神経計系疾患	7,671	7.8
11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	7,603	7.8
12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	5,928	6.1
07 筋骨格系疾患	5,710	5.8
02 眼科系疾患	4,053	4.1
03 耳鼻咽喉科系疾患	3,117	3.2
10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	2,879	2.9
13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	2,637	2.7
14 新生児疾患，先天性奇形	1,729	1.8
08 皮膚・皮下組織の疾患	1,466	1.5
09 乳房の疾患	1,177	1.2
18 その他	1,071	1.1
15 小児疾患	999	1.0
17 精神疾患	97	0.1
合計	97,746	100

1) コホートに占める割合 (%)

入院（包括評価算定）コホートにおける1入院当りの入院日数を表9-6に示す。入院日数の平均±標準偏差は12.91±13.54日、中央値は8日であった（入院継続中であった27,137件を除く）。

表9-6. 入院（包括評価算定）コホートにおける1入院当りの入院日数

入院日数	入院件数	割合 (%) ¹⁾
1-7日	31,888	32.6
8-14日	18,062	18.5
15-30日	14,159	14.5
31-45日	4,105	4.2
46-60日	1,424	1.5
61-90日	805	0.8
91-120日	154	0.2
121日-	12	0.0
入院継続中	27,137	27.8
合計	97,746	100
平均±標準偏差	12.91±13.54	
四分位点	25%点	4
	50%点	8
	75%点	16

1) コホートに占める割合 (%)

9-3. 考察

●性別・年齢

コホートの性別（表 9-3）について、入院（出来高算定）コホートおよび外来コホートは、入院・外来とも女性が 5 割強と多く、これは平成 23 年患者調査結果（別表 2-1）と同様であった。一方、入院（包括評価算定）コホートは、男女の割合に大きな違いは認められなかった。この理由は不明であるが、一つとして、DPC 対象となるのは急性期入院医療であり、高齢者等における長期入院は対象とならないこと、即ち、入院（出来高算定）コホートと比較し、高齢者のデータが少なく、高齢者は男性より女性の割合が高い[11]ことが影響したと考えられた。年齢区分（表 9-3）についても、入院（出来高算定）コホートおよび外来コホートは、入院・外来とも平成 23 年患者調査結果と同様の傾向を示し、入院（出来高算定）コホートでは 65 歳以上が 65%以上、85 歳以上が 20%以上と高齢者の占める割合が高く、外来コホートでは、65 歳以上が約 40%と、高齢者の占める割合は入院（出来高算定コホート）ほど高くなかった。入院（包括評価算定）コホートについては、65 歳以上が約 57%であり、患者調査結果と比較し若年傾向にあった。この理由は、先述の通り、高齢者等の長期入院は DPC 対象とならないことが考えられた。

●傷病名

ICD-10 大分類別の傷病内訳（表 9-4）について、入院（包括評価算定）コホートでは、平成 23 年患者調査結果（別表 2-2）とほぼ同様の傾向を示し、「循環器系の疾患」（18.5%）や「呼吸器系の疾患」（17.6%）の割合が高かった。外来コホートについても、「循環器系の疾患」の割合が高いことは患者調査結果と類似していたが、「内分泌、栄養および代謝疾患」が 12%と高く、一方、「筋骨格系および結合組織の疾患」は 1 割に満たない等、患者調査結果と異なる傾向も一部で認められた。この理由として、本分析ではレセプトデータに記載された主傷病名を対象としたため、主傷病であってもレセプト上では主傷病フラグが付与されていない、1 枚のレセプトに対し複数の主傷病が記載されている等の理由から、患者 1 人につき必ず 1 傷病名を集計対象とする患者調査とは若干異なる結果が得られたと考えられた。入院（包括評価算定）コホートについては、「新生物」が 22%と高く、患者調査結果の約 2 倍であった。DPC レセプトの対象となる主な患者は、比較的規模の大きな医療機関の入院患者であると考えられるため、悪性新生物等の重症度の高い疾患が主傷病名として多く含まれるようであった。また、「精神及び行動の障害」は 0.3%と極めて少なかったが、これは、精神病棟入院は DPC 算定の対象外であり、主傷病に精神疾患を有する人は、DPC 入院の対象外として治療されるためと考えられた。

●主要診断群分類

入院（包括評価算定）コホートの主要診断群分類の内訳（表 9-5）は、消化器系疾患が 20%以上と高く、次いで、呼吸器系疾患が 13%、循環器系疾患が 9%等、平成 23 年度 DPC 導入の影響評価の結果（別表 2-3）とほぼ同様であった。

●入院日数

入院（包括評価算定）コホートの 1 入院当たりの入院日数（表 9-6）については、平均±標準偏差 12.91±13.54 日であり、半数以上が 14 日以内であった。平成 23 年度 DPC 導入の影響評価の調査結果（別表 2-4）では、入院日数の平均±標準偏差は 14.17±17.56 日であり、本分析の方がやや入院日数が短い傾向にあった。ただし、本分析では約 3 万件が入院継続中であり、平均値等の算出ではこれら約 3 万件を除外したことを考慮すると、本分析で得られた結果が DPC 導入の影響評価の調査結果と比較して入院日数が短い傾向にあったという結果は、妥当なものであったと推測された。

以上より、コホート分析の結果は、いずれも患者調査結果や DPC 導入の影響評価の調査結果とほぼ類似していた。サンプリングデータセットは、性別及び年齢階層の構成比率が母集団と異ならないように考慮して抽出されたものであり、一般化可能性は高いと予想されたが、本分析の結果からも、サンプリングデータセットに含まれるコホートは、本邦の患者集団の一般的な特性を反映した標本であることが確認された。

10. 対象集団分析

本分析は、サンプリングデータセットを使用して、BG 薬の乳酸アシドーシスに関する安全対策措置が講じられた約半年前における BG 薬処方状況を調査することを目的とした。

主要分析では、患者背景等の基本分析や処方分析を通して、当時の臨床現場において、BG 薬がどのような患者に対しどのように処方されていたかを調査した。副次分析では、乳酸アシドーシスの発現リスクが高いため投与禁忌または慎重投与とされる、高齢者、透析患者、手術前後の患者への処方割合等を調査した。また、BG 薬処方患者における乳酸アシドーシス発現状況を調査した。

10-1. 方法

10-1-1. 対象集団の定義

第 8 章で定義した 3 つの各コホートから、BG 薬の処方があった集団を分析対象とした。BG 薬については、本邦では現在、メトホルミン及びブホルミンの 2 成分が使用されているが、メトホルミンにおいては 1 日最高投与量が異なる製品（1 日最高投与量 750 mg：MET1、1 日最高投与量 2,250 mg：MET2）、及び、ピオグリタゾンとの合剤として販売されている製品（MET3）がある。従って、本試行調査では BG 薬を MET1、MET2、MET3 およびブホルミン（BUF）の 4 種類に分類し、該当する種類の BG 薬が処方された集団をそれぞれ特定した。なお、2 種類以上の BG 薬が処方されている場合、両方の対象集団に属するものとして扱った。

なお、DPC データについては、医薬品に関するデータについて、包括請求分と出来高請求分がそれぞれコーディングデータレコードと医薬品レコードの 2 つのデータテーブルに分かれて入力されているため、これらに含まれるデータを統合して BG 薬処方患者を特定した。また、コーディングデータレコードには出来高請求分の情報が含まれるため、両データテーブルにおける処方の重複は全て除外した。

また、外来コホートから抽出した対象集団については、医科入院外レセプト（平成 23 年 10 月診療分）及びそれに紐づく調剤レセプト（平成 23 年 10 月及び 11 月診療分）の BG 薬の処方データを用いて定義を行ったが、平成 23 年 10 月に BG 薬が処方された人を分析対象とするため、平成 23 年 10 月の調剤レセプトに記載された 9 月処方分の BG 薬、および、11 月の調剤レセプトに記載された 11 月処方分の BG 薬は対象から除外した。

表 10-1. 対象集団の定義

コホート	対象集団 (BG 薬分類)	対象集団の定義
入院（出来高算定）コホート	MET1 群	該当する BG 薬 ⁹ の処方がある医科入院レセプト
	MET2 群	
	MET3 群	
	BUF 群	
入院（包括評価算定）コホート	MET1 群	該当する BG 薬の処方がある DPC レセプト
	MET2 群	
	MET3 群	
	BUF 群	
外来コホート	MET1 群	該当する BG 薬の処方がある医科入院外レセプトまたは調剤レセプト（BG 薬の処方年月が平成 23 年 10 月のもの）をもつ患者
	MET2 群	
	MET3 群	
	BUF 群	

MET1: メトホルミン塩酸塩（1 日最高投与量 750 mg の用法・用量を有する製剤）

MET2: メトホルミン塩酸塩（1 日最高投与量 2,250 mg の用法・用量を有する製剤）

MET3: ピオグリタゾン塩酸塩/メトホルミン塩酸塩配合錠

BUF: ブホルミン塩酸塩

⁹ 該当するレセプト電算コードは別表 1-1 参照

10-1-2. 集計方法

10-1-2-1. 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査>

各コホートから抽出された対象集団（MET1 群、MET2 群、MET3 群、BUF 群）についての基本分析として、性別、年齢区分、原疾患、および糖尿病合併症について集計を実施した。各集計方法の詳細および使用したデータソースの項目は表 10-2～6 に示した。また、処方分析として、BG 薬の商品名別、1 処方当たりの処方量別、糖尿病治療薬の併用数別、併用されている糖尿病治療薬の成分別内訳について集計を実施した。

また、医科レセプト及び DPC レセプトについて、内用薬の処方日数が記載される項目である「回数」は、医薬品の合剤単位で入力される[9]ため、空欄が全レコードの 30～60%程度で認められた（8-2-2 参照）。そこで、処方日数を算出する際は、これらの空欄に該当する回数の値を挿入した上で分析を行った。

DPC レセプト及び調剤レセプトの医薬品データの取扱いについては、10-1-1 にて記述した通りであり、DPC レセプトについてはコーディングデータレコードと医薬品レコードの 2 つのデータテーブルに含まれる医薬品、調剤レセプトについては 10 月処方分の医薬品をそれぞれ分析対象とした。また、DPC レセプトの診療行為データについても、医薬品データと同様、コーディングデータレコードと診療行為レコードの 2 つのデータテーブルに含まれる診療行為データを分析対象とした。

表 10-2. 対象集団における基本分析の集計方法

分析事項	分析方法	使用したデータ項目 ¹⁰ および分析単位		
		入院 (出来高算定)	入院 (包括評価算定)	外来
性別	男女区分のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 1-(2) (8) レセプト単位	DPC レセプト 1-(2) (8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(7) (8) 人単位
年齢区分	5 歳刻みの年齢区分のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	DPC レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(7) (9) 人単位
原疾患	糖尿病関連病名について、ICD-10 中分類に基づく分類（別表 1-2）単位のレセプト数または人数と	医科入院レセプト 2-(2) (4) (7) レセプト単位	DPC レセプト 3-(2) (4) (5)、 4-(2) (4) (7) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2) (7)、 2-(2) (4) (7) 人単位

¹⁰ 「7. データチェック 結果 (2) 項目内容の確認」のテーブル・項目 No を参照

	各対象集団に占める割合 ただし、疑い病名 (修飾語コード「8002」)を除いた			
糖尿病合併症(有病割合)	糖尿病合併症に関する傷病名(別表1-3)が付与されたレセプト数または人数と各対象集団に占める割合 ただし、疑い病名(修飾語コード「8002」)を除いた	医科入院レセプト 2-(2)(4)(7) レセプト単位	DPCレセプト 3-(2)(4)(5)、 4-(2)(4)(7) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、 2-(2)(4)(7) 人単位
糖尿病合併症(内訳)	糖尿病合併症に関する傷病名について、ICD-10小分類を基に独自に作成した分類(別表1-3)単位のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合 ただし、疑い病名(修飾語コード「8002」)を除いた	医科入院レセプト 2-(2)(4)(7) レセプト単位	DPCレセプト 3-(2)(4)(5)、 4-(2)(4)(7) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、 2-(2)(4)(7) 人単位

表 10-3. 対象集団における処方分析の集計方法

分析事項	分析方法	使用したデータ項目 ¹¹ および分析単位		
		入院 (出来高算定)	入院 (包括評価算定)	外来
BG薬商品名別処方内訳	BG薬商品名別のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 4-(2)(6) レセプト単位	DPCレセプト 6-(2)(6)、 7-(2)(8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、4-(2)(6) 調剤レセプト 1-(2)(7)、3-(2)(5) 人単位
処方量	BG薬1日当たりの処方量別のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合、平均±標準偏差、四分位点 ※処方量の算出方法:1レセプトまたは1人に処方された	医科入院レセプト 4-(2)(6)(7)(9) レセプト単位	DPCレセプト 6-(2)(6)(7)(9)、 7-(2)(8)(9)(12) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、 4-(2)(6)(7)(9) 調剤レセプト 1-(2)(7)、 2-(2)(8)、 3-(2)(5)(6) 人単位

¹¹ 「7. データチェック 結果 (2) 項目内容の確認」のテーブル・項目Noを参照

	BG薬総処方量 (「使用量」に当該BG薬の規格及び「回数」を乗じた値の合計)を総処方日数(「回数」の合計)で除して算出			
糖尿病治療薬の併用数	糖尿病治療薬(別表1-4~1-11)の薬効分類単位 ¹² の種類数別のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 4-(2)(6) レセプト単位	DPCレセプト 6-(2)(6)、 8-(2)(8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、4-(2)(6) 調剤レセプト 1-(2)(7)、3-(2)(5) 人単位
併用されている糖尿病治療薬の内訳	BG薬と併用されていた糖尿病治療薬(別表1-4~1-11)の薬効分類単位別のレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 4-(2)(6) レセプト単位	DPCレセプト 6-(2)(6)、 8-(2)(8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2)(7)、4-(2)(6) 調剤レセプト 1-(2)(7)、3-(2)(5) 人単位

¹² 「治療薬マニュアル2011」(医学書院)を参考に独自に作成

10-1-2-2. 副次分析-1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析>

乳酸アシドーシス発現のリスクが高いため投与禁忌または慎重投与とされる、高齢者、透析患者および手術前後の患者を特定し、対象集団に占めるその処方割合を調査した。なお、手術前後の患者については、処方と手術実施に関する日付単位の情報が入力されておらず、処方日と手術実施日との前後関係が得られなかったため、BG 薬処方と同月に手術が実施された人への処方割合を算出した。

表 10-4. 禁忌または慎重投与患者への処方割合の算出方法

分析事項	分析方法	使用したデータ項目 ¹³ および分析単位		
		入院 (出来高算定)	入院 (包括評価算定)	外来
高齢者への 処方割合	65歳以上及び75歳以上のレセプト数 (医科入院外レセプトについては人数)と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	DPC レセプト 1-(2) (9) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(7) (9) 人単位
透析患者への 処方割合	透析(別表1-12)に関する診療行為コードを持つレセプト数(医科入院外レセプトについては人数)と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 3-(2) (6) レセプト単位	DPC レセプト 5-(2) (6)、 7-(2) (8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2) (7)、 3-(2) (6) 人単位
手術患者への 処方割合	手術(別表1-13)に関する診療行為コードを持つレセプト数(医科入院外レセプトについては人数)と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 3-(2) (6) レセプト単位	DPC レセプト 5-(2) (6)、 7-(2) (8) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2) (7)、 3-(2) (6) 人単位

¹³ 「7. データチェック 結果 (2) 項目内容の確認」のテーブル・項目 No を参照

10-1-2-3. 副次分析-2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析>

乳酸アシドーシス発現を下記の通り定義し、BG 薬処方患者における乳酸アシドーシスの発現割合を算出した。

表 10-5. 乳酸アシドーシス発現の定義

下記の 3 条件を全て満たす
①傷病名レコードテーブル（DPC レセプトは傷病・傷病名統合レコードテーブル）に乳酸アシドーシスに関する傷病名コード（別表 1-14）を持つ
②診療開始日が平成 23 年 10 月である（DPC レセプトの傷病レコードテーブルに該当する傷病名については、本条件は除外）
③疑い病名（修飾語コード「8002」）を除く

表 10-6. 乳酸アシドーシス発現割合の算出方法

分析事項	分析方法	使用したデータ項目 ¹⁴ および分析単位		
		入院 (出来高算定)	入院 (包括評価算定)	外来
乳酸アシドーシスの発現割合	上記の定義を満たすレセプト数または人数と各対象集団に占める割合	医科入院レセプト 2-(2) (4) (5) (7) レセプト単位	DPC レセプト 3-(2) (4) (5)、 4-(2) (4) (5) (7) レセプト単位	医科入院外レセプト 1-(2) (7)、 2-(2) (4) (5) (7) 人単位

¹⁴ 「7. データチェック 結果 (2) 項目内容の確認」のテーブル・項目 No を参照

10-2. 結果

10-2-1. 対象集団の特定

各コホートより特定された対象集団の件数または人数、各コホートに占める割合を図1に示す。いずれのコホートにおいても、MET2の処方が最も多く、入院（出来高算定）コホートで672件（0.5%）、入院（包括評価算定）コホートで935件（1.0%）、外来コホートで9,311人（1.2%）であった。反対に、MET3の処方極めて少なく、外来コホートで155人（0.0%）に認められたのみであった。メトホルミンとは異なる成分のBG薬であるBUFの処方も少なく、各コホートにおける処方割合は0.0~0.1%であった。

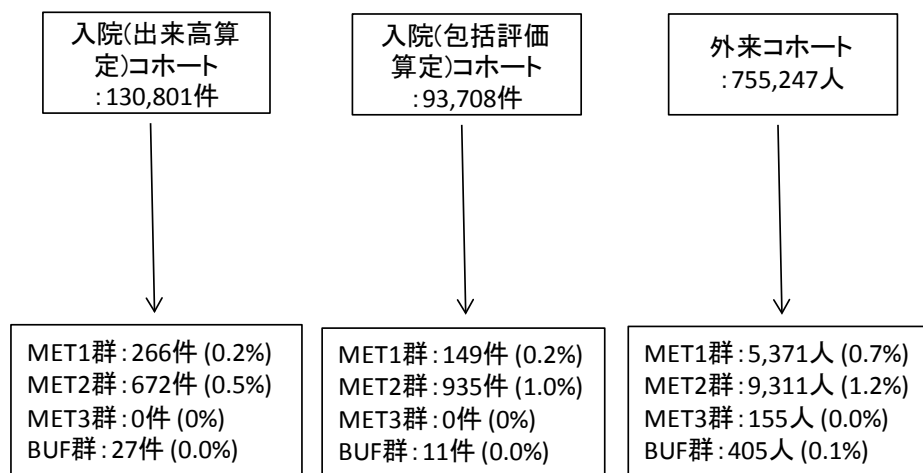


図1. 対象集団の特定

() 内 : 各コホートに占める割合 (%)

10-2-2. 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査>

●基本分析

各対象集団における性別内訳を表 10-7 に示す。いずれの対象集団においても、男性の占める割合が高かった。

表 10-7. 性別

BG 薬分類	男女区分	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%) ¹⁾	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	男性	142	53.4	94	63.1	2,954	55.0
	女性	124	46.6	55	36.9	2,417	45.0
	合計	266	100	149	100	5,371	100
MET2 群	男性	350	52.1	584	62.5	5,118	55.0
	女性	322	47.9	351	37.5	4,193	45.0
	合計	672	100	935	100	9,311	100
MET3 群	男性	—	—	—	—	87	56.1
	女性	—	—	—	—	68	43.9
	合計	—	—	—	—	155	100
BUF 群	男性	15	55.6	8	72.7	220	54.3
	女性	12	44.4	3	27.3	185	45.7
	合計	27	100	11	100	405	100

1) 各対象集団に占める割合 (%)

各対象集団における年齢区分の内訳を表 10-8 に示す。いずれの対象集団においても 80～90%以上が 50 歳以上であった。

表 10-8. 年齢区分

BG 薬分類	年齢区分	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	0-19 歳	1	0.4	0	0	0	0
	20-49 歳	17	6.4	24	16.1	436	8.1
	50-64 歳	47	17.7	44	29.5	1,830	34.1
	65-74 歳	85	32.0	35	23.5	1,768	32.9
	75 歳以上	116	43.6	46	30.9	1,337	24.9
	合計	266	100	149	100	5,371	100
MET2 群	0-19 歳	1	0.1	2	0.2	5	0.1
	20-49 歳	71	10.6	131	14.0	982	10.5
	50-64 歳	177	26.3	267	28.6	3,214	34.5
	65-74 歳	183	27.2	270	28.9	2,946	31.6
	75 歳以上	240	35.7	265	28.3	2,164	23.2
	合計	672	100	935	100	9,311	100
MET3 群	0-19 歳	—	—	—	—	0	0
	20-49 歳	—	—	—	—	15	9.7
	50-64 歳	—	—	—	—	47	30.3
	65-74 歳	—	—	—	—	62	40.0
	75 歳以上	—	—	—	—	31	20.0
	合計	—	—	—	—	155	100
BUF 群	0-19 歳	0	0	0	0	0	0
	20-49 歳	3	11.1	0	0	26	6.4
	50-64 歳	6	22.2	3	27.3	121	29.9
	65-74 歳	9	33.3	2	18.2	141	34.8
	75 歳以上	9	33.3	6	54.5	117	28.9
	合計	27	100	11	100	405	100

各対象集団における原疾患の内訳を表 10-9 に示す。入院（出来高算定）対象集団、外来対象集団においては「詳細不明の糖尿病」が大多数を占め、一方、入院（包括評価算定）対象集団では「2 型糖尿病」が多かった。

表 10-9. 原疾患

BG 薬分類	糖尿病関連病名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	詳細不明の糖尿病	213	80.1	25	16.8	4,352	81.0
	2 型糖尿病	61	22.9	120	80.5	1,478	27.5
	1 型糖尿病	0	0	1	0.7	20	0.4
	血糖値上昇	3	1.1	1	0.7	14	0.3
	その他の明示された糖尿病	2	0.8	1	0.7	5	0.1
	糖尿（尿検査の異常所見）	1	0.4	0	0	2	0.0
MET2 群	詳細不明の糖尿病	528	78.6	163	17.4	7,496	80.5
	2 型糖尿病	212	31.5	761	81.4	3,021	32.4
	1 型糖尿病	4	0.6	13	1.4	50	0.5
	血糖値上昇	7	1.0	5	0.5	25	0.3
	その他の明示された糖尿病	2	0.3	9	1.0	7	0.1
	糖尿（尿検査の異常所見）	0	0	2	0.2	5	0.1
	妊娠中の糖尿病	0	0	0	0	2	0.0
MET3 群	詳細不明の糖尿病	—	—	—	—	114	73.5
	2 型糖尿病	—	—	—	—	54	34.8
	1 型糖尿病	—	—	—	—	1	0.6
BUF 群	詳細不明の糖尿病	26	96.3	2	18.2	375	92.6
	2 型糖尿病	3	11.1	9	81.8	82	20.2
	1 型糖尿病	0	0	0	0	1	0.2

各対象集団における糖尿病合併症の有病割合を表 10-10 に示す。MET1 群と比較し、MET2 群の方が糖尿病合併症の有病割合が高く、特に入院（包括評価算定コホート）では、MET2 群の 40%弱で何らかの糖尿病合併症病名の記載が認められた。BUF 群については、入院（出来高算定）コホートの有病割合が 15%前後であったのに対し、入院（包括評価算定）コホート及び外来コホートでは 30%以上であった。

表 10-10. 糖尿病合併症の有病割合

BG 薬分類	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
	レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	45	16.9	44	29.5	1,423	26.5
MET2 群	173	25.7	343	36.7	2,729	29.3
MET3 群	—	—	—	—	34	21.9
BUF 群	4	14.8	4	36.4	132	32.6

各対象集団における糖尿病合併症の内訳を表 10-11 に示す。合併症の中では眼合併症が最も多く、複数の対象集団で眼合併症が 10%以上で認められた。

表 10-11. 糖尿病合併症の内訳

BG 薬分類	糖尿病合併症関連病名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	眼合併症	18	6.8	10	6.7	640	11.9
	腎合併症	17	6.4	9	6.0	622	11.6
	神経合併症	16	6.0	8	5.4	399	7.4
	その他の明示された合併症	1	0.4	13	8.7	25	0.5
	末梢循環合併症	0	0	3	2.0	19	0.4
	多発合併症	0	0	9	6.0	13	0.2
	ケトアシドーシス	1	0.4	2	1.3	6	0.1
	昏睡	1	0.4	0	0	1	0.0
MET2 群	眼合併症	77	11.5	82	8.8	1,274	13.7
	腎合併症	66	9.8	65	7.0	1,170	12.6
	神経合併症	62	9.2	76	8.1	740	7.9
	その他の明示された合併症	11	1.6	86	9.2	101	1.1
	多発合併症	7	1.0	94	10.1	89	1.0
	末梢循環合併症	7	1.0	18	1.9	51	0.5
	ケトアシドーシス	5	0.7	9	1.0	10	0.1
	昏睡	2	0.3	1	0.1	1	0.0
MET3 群	腎合併症	—	—	—	—	16	10.3
	眼合併症	—	—	—	—	13	8.4
	神経合併症	—	—	—	—	9	5.8
	末梢循環合併症	—	—	—	—	1	0.6
BUF 群	眼合併症	3	11.1	1	9.1	58	14.3
	腎合併症	0	0	0	0.0	53	13.1

神経合併症	1	3.7	1	9.1	52	12.8
末梢循環合併症	0	0	2	18.2	6	1.5
その他の明示された合併症	0	0	1	9.1	2	0.5
多発合併症	0	0	0	0.0	2	0.5

●処方分析

各対象集団におけるBG薬の商品名別処方内訳を表10-12に示す。MET1群では、複数ある商品のうち、メデット錠の処方割合が50~65%と最も高かった。

表 10-12. BG薬商品名別処方内訳

BG薬分類	商品名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合(%)	レセプト数	割合(%)	人数	割合(%)
MET1群	メデット錠250mg	133	50.0	97	65.1	2,702	50.3
	グリコラン錠250mg	64	24.1	33	22.1	1,119	20.8
	ネルビス錠250mg	27	10.2	12	8.1	761	14.2
	メルビン錠250mg	33	12.4	4	2.7	498	9.3
	メトホルミン塩酸塩錠250mg「トーワ」	4	1.5	3	2.0	170	3.2
	メトリオン錠250	5	1.9	0	0	131	2.4
	メトホルミン塩酸塩錠250mg「JG」	0	0.0	0	0	16	0.3
MET2群	メトグルコ錠250mg	672	100	935	100	9,311	100
MET3群	メタクト配合錠LD	—	—	—	—	102	65.8
	メタクト配合錠HD	—	—	—	—	53	34.2
BUF群	ジベトス錠50mg	27	100	11	100	368	90.9
	ジベトンS錠(腸溶錠)	0	0	0	0	37	9.1

各対象集団における1日当たりのBG薬の処方量の内訳を表10-13に示す。添付文書で規定された1日最高投与量を超える処方箋はMET1群で1.3%~2.7%、MET2群では0%、BUF群では外来のみで0.5%であった。MET3については、添付文書に1日最高投与量は記載されていないが、通常の1日量（メトホルミンとして500mg）を超える処方箋は、MET3群の約10%で認められた。ただし、MET2で既定された上限量を超えるものは認められなかった。また、MET1、MET2は同成分で投与量の上限が異なる医薬品であるが、より高用量での投与が認められているMET2の処方箋の80%以上はMET1で承認されている1日最高投与量（750mg）の範囲内であり、MET2の開始投与量である500mgの処方箋が約40%、維持投与量の下限值である750mgの処方箋が約50%を占めていた。

表 10-13. 1日当たりのBG薬の処方量

BG薬分類	処方量	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		処方数	割合 (%)	処方数	割合 (%)	処方数	割合 (%)
MET1 群	<250mg	0	0	0	0	8	0.1
	250mg	32	12.0	15	10.1	439	8.2
	250mg<, <500mg	6	2.3	6	4.0	15	0.3
	500mg	117	44.0	56	37.6	2,534	47.2
	500mg<, <750mg	5	1.9	6	4.0	8	0.1
	750mg	100	37.6	62	41.6	2,298	42.8
	750mg< ¹⁾	6	2.3	4	2.7	69	1.3
	合計	266	100	149	100	5,371	100
	平均±標準偏差	580.9±195.2		602.3±196.2		593.5±169.1	
	四分位点	25%点	500	500	500	500	
	50%点	500	500	500	500		
	75%点	750	750	750	750		
MET2 群	<250mg	1	0.1	1	0.1	11	0.1
	250mg	41	6.1	54	5.8	576	6.2
	250mg<, <500mg	17	2.5	32	3.4	20	0.2
	500mg	255	37.9	351	37.5	3,750	40.3
	500mg<, <750mg	26	3.9	46	4.9	16	0.2
	750mg	233	34.7	304	32.5	3,127	33.6
	750mg<, <1,500mg	64	9.5	104	11.1	1,064	11.4
	1,500mg	32	4.8	35	3.7	687	7.4
	1,500mg<, <2,250mg	2	0.3	2	0.2	17	0.2
	2,250mg	1	0.1	6	0.6	43	0.5
合計	672	100	935	100	9,311	100	
平均±標準偏差	692.4±329.6		680.3±292.5		710.5±319.8		
四分位点	25%点	500	500	500	500		
	50%点	731.1	704.5	750	750		
	75%点	750	750	750	750		

MET3 群	250mg	—	—	—	—	1	0.6
	500mg	—	—	—	—	139	89.7
	500mg<, <750mg	—	—	—	—	1	0.6
	750mg	—	—	—	—	6	3.9
	750mg<, <1, 500mg	—	—	—	—	7	4.5
	1, 500mg	—	—	—	—	0	0
	1, 500mg<, <2, 250mg	—	—	—	—	1	0.6
	合計	—	—	—	—	155	100.0
平均±標準偏差		—	—	—	—	546.9±188.8	
25%点		—	—	—	—	500	
四分位点	50%点	—	—	—	—	500	
75%点		—	—	—	—	500	
BUF 群	25mg	1	3.7	0	0	1	0.2
	50mg	7	25.9	2	18.2	48	11.9
	100mg	10	37.0	7	63.6	206	50.9
	100mg<, <150mg	1	3.7	0	0.0	1	0.2
	150mg	8	29.6	2	18.2	147	36.3
	150mg<	0	0	0	0	2	0.5
	合計	27	100	11	100	405	100
	平均±標準偏差		100.0±44.3		100.0±41.3		112.6±33.6
25%点		50		100		100	
四分位点	50%点	100		100		100	
75%点		150		100		150	

1) 赤文字：添付文書に記載された1日最高投与量を超えたもの

各対象集団における BG 薬以外の糖尿病治療薬の併用薬数を表 10-14 に示す。併用薬なしは各対象集団の 0~30%ほどであり、BG 薬処方患者の多くで多剤併用療法が行われているようであった。

表 10-14. 糖尿病治療薬の併用数

BG 薬分類	併用薬数	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	0	46	17.3	32	21.5	857	16.0
	1	86	32.3	33	22.1	1,815	33.8
	2	91	34.2	43	28.9	1,971	36.7
	3	25	9.4	26	17.4	625	11.6
	4	13	4.9	10	6.7	101	1.9
	5 ≤	5	1.9	5	3.4	2	0.0
	合計		266	100	149	100	5,371
MET2 群	0	98	14.6	106	11.3	1,492	16.0
	1	214	31.8	258	27.6	3,210	34.5
	2	198	29.5	304	32.5	3,368	36.2
	3	111	16.5	174	18.6	1,071	11.5
	4	33	4.9	69	7.4	165	1.8
	5 ≤	18	2.5	24	2.6	5	0.1
	合計		672	100	935	100	9,311
MET3 群	0	—	—	—	—	28	18.1
	1	—	—	—	—	53	34.2
	2	—	—	—	—	59	38.1
	3	—	—	—	—	14	9.0
	4	—	—	—	—	0	0.0
	5	—	—	—	—	1	0.6
	合計		—	—	—	—	155
BUF 群	0	8	29.6	0	0	51	12.6
	1	3	11.1	3	27.3	138	34.1
	2	7	25.9	3	27.3	159	39.3
	3	4	14.8	3	27.3	49	12.1
	4	4	14.8	1	9.1	8	2.0
	5	1	3.7	1	9.1	0	0
	合計		27	100	11	100	405

各対象集団における BG 薬と併用されているその他の糖尿病治療薬の内訳を表 10-15 に示す。いずれの対象集団においても、スルホニル尿素薬又は DPP-IV 阻害薬、 α -グルコシダーゼ阻害薬との併用が多く、BG 薬処方患者の 20~50% でこれら医薬品との併用が認められた。

表 10-15. BG 薬と併用されているその他の糖尿病治療薬の内訳

BG 薬分類	糖尿病治療薬分類名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	スルホニル尿素薬	112	42.1	57	38.3	2,905	54.1
	DPP-IV 阻害薬	98	36.8	53	35.6	1,715	31.9
	α グルコシダーゼ阻害薬	65	24.4	30	20.1	1,510	28.1
	チアゾリジン誘導体	38	14.3	13	8.7	857	16.0
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	29	10.9	24	16.1	269	5.0
	速効型インスリン分泌促進薬	10	3.8	8	5.4	270	5.0
	混合型インスリン	16	6.0	15	10.1	243	4.5
	超速効型インスリン	15	5.6	23	15.4	175	3.3
	速効型インスリン	31	11.7	33	22.1	23	0.4
	中間型インスリン	2	0.8	6	4.0	37	0.7
	GLP-1 受容体作動薬	4	1.5	2	1.3	18	0.3
	配合剤	0	0	0	0	24	0.4
	MET2 群	スルホニル尿素薬	267	39.7	376	40.2	4,836
DPP-IV 阻害薬		226	33.6	351	37.5	3,052	32.8
α グルコシダーゼ阻害薬		179	26.6	216	23.1	2,397	25.7
チアゾリジン誘導体		84	12.5	99	10.6	1,398	15.0
持効型溶解インスリンアナログ製剤		102	15.2	167	17.9	628	6.7
混合型インスリン		46	6.8	55	5.9	510	5.5
超速効型インスリン		83	12.4	191	20.4	426	4.6
速効型インスリン分泌促進薬		37	5.5	42	4.5	370	4.0
速効型インスリン		111	16.5	225	24.1	32	0.3
GLP-1 受容体作動薬		18	2.7	33	3.5	97	1.0
中間型インスリン		13	1.9	42	4.5	56	0.6
配合剤		0	0	0	0	42	0.5
MET3 群		DPP-IV 阻害薬	—	—	—	—	88
	スルホニル尿素薬	—	—	—	—	74	47.7
	α グルコシダーゼ阻害薬	—	—	—	—	31	20.0
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	—	—	—	—	8	5.2
	超速効型インスリン	—	—	—	—	5	3.2
	速効型インスリン分泌促進薬	—	—	—	—	4	2.6
	中間型インスリン	—	—	—	—	2	1.3
	配合剤	—	—	—	—	2	1.3
	チアゾリジン誘導体	—	—	—	—	2	1.3

混合型インスリン		—	—	—	—	2	1.3
BUF 群	スルホニル尿素薬	12	44.4	8	72.7	254	62.7
	DPP-IV阻害薬	9	33.3	6	54.5	109	26.9
	α グルコシダーゼ阻害薬	10	37.0	1	9.1	106	26.2
	チアゾリジン誘導体	6	22.2	2	18.2	68	16.8
	混合型インスリン	0	0	1	9.1	28	6.9
	速効型インスリン分泌促進薬	1	3.7	1	9.1	23	5.7
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	1	3.7	0	0.0	22	5.4
	超速効型インスリン	2	7.4	1	9.1	14	3.5
	速効型インスリン	6	22.2	7	63.6	4	1
	中間型インスリン	2	7.4	0	0	4	1
	GLP-1 受容体作動薬	1	3.7	0	0	3	0.7

10-2-3. 副次分析-1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析>

BG薬の添付文書にて投与禁忌または慎重投与とされている高齢者、透析患者の処方割合を表10-16~17に示す。同様に投与禁忌とされる手術前後の患者については、日付単位の情報得られず処方日と手術実施日との前後関係が不明であったため、BG薬処方と同月に手術が実施された人への処方割合を表10-18に示す。高齢者への処方割合については、入院（包括評価算定）コホートにおけるMET1群を除き、いずれの対象集団とも65歳以上が半数以上を占め、特に入院（出来高算定）コホートにおけるMET1群では、65歳以上が75%以上を占めていた。75歳以上の後期高齢者への処方も少なくはなく、各対象集団の23~50%で認められた。一方、透析患者への処方は、入院（包括評価算定）コホートのMET2群で1件認められたのみであった。手術患者への処方については、入院（包括評価算定）コホートにおける対象集団の処方割合が比較的高く、20%前後であった。入院（出来高算定）コホートにおける対象集団の処方割合は7~11%であり、外来コホートにおける対象集団の処方割合は、0~1%と低かった。

表10-16. 高齢者への処方割合

BG薬分類	高齢者	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合(%)	レセプト数	割合(%)	人数	割合(%)
MET1群	65歳以上	201	75.6	81	54.4	3,105	57.8
	75歳以上	116	43.6	46	30.9	1,337	24.9
MET2群	65歳以上	423	62.9	535	57.2	5,113	54.9
	75歳以上	240	35.7	265	28.3	2,166	23.3
MET3群	65歳以上	—	—	—	—	93	60.0
	75歳以上	—	—	—	—	31	20.0

BUF 群	65 歳以上	18	66.7	8	72.7	258	63.7
	75 歳以上	9	33.3	6	54.5	117	28.9

表 10-17. 透析患者への処方割合

BG 薬分類	透析の有無	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	有	0	0	0	0	0	0
MET2 群	有	0	0	1	0.1	0	0
MET3 群	有	—	—	—	—	0	0
BUF 群	有	0	0	0	0	0	0

表 10-18. 手術患者への処方割合

BG 薬分類	手術の有無	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	有	30	11.3	28	18.8	59	1.1
MET2 群	有	47	7.0	192	20.5	112	1.2
MET3 群	有	—	—	—	—	0	0
BUF 群	有	3	11.1	2	18.2	1	0.2

10-2-4. 副次分析-2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析>

各対象集団における乳酸アシドーシスの発現割合を表 10-19 に示す。乳酸アシドーシスの発現患者は極めて少なく、入院（包括評価算定）コホートの MET1 群で 1 件（0.7%）、外来コホートの MET1 群で 2 人（0.04%）認められたのみであった。

表 10-19. 乳酸アシドーシスの発現割合

BG 薬分類	乳酸アシドーシスの有無	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	乳酸アシドーシスの発現有り	0	0	1	0.7	2	0.04
MET2 群	乳酸アシドーシスの発現有り	0	0	0	0	0	0
MET3 群	乳酸アシドーシスの発現有り	—	—	—	—	0	0
BUF 群	乳酸アシドーシスの発現有り	0	0	0	0	0	0

10-3. 考察

10-3-1. 対象集団の特定

いずれのコホートにおいても、平成 22 年 5 月に販売開始された比較的新しいメトホルミン製剤で、1 日に最高 2,250mg まで投与可能である MET2 の処方が最も多かった。本邦では、MET2 発売以前は、乳酸アシドーシスのリスクを考慮して、メトホルミンについて低用量までしか処方が認められていなかったが、MET2 の販売開始に伴い、メトホルミンの投与量選択の上限が大幅に引き上げられた。このような背景を踏まえ、より高用量まで投与可能な MET2 の処方が多かったと考えられる。一方、MET2 販売開始とほぼ同時期の平成 22 年 7 月に販売開始となったメトホルミンとピオグリタゾンの配合剤である MET3 については、処方が極めて少なく、対象期間当時においては、配合剤処方はまだそれほど一般的ではないようであった。

10-3-2. 主要分析 <メトホルミン及びブホルミンの処方実態調査>

●基本分析

性別（表 10-7）については、対象集団間においてそれぞれの男女比に若干の違いは認められたが、いずれの対象集団においても女性より男性に多く処方される傾向が認められた。この理由として、BG 薬はインスリン抵抗性改善作用を有し、SU 薬と比較して体重増加の副作用が起こりにくく、また、大血管障害抑制効果を持つ[6]ことから、肥満状態にある 2 型糖尿病患者の第一選択薬とされており、また、女性よりも男性の方が肥満状態にある人の割合が高い[12]ため、このような処方選択が影響した可能性が考えられた。

年齢区分（表 10-7）は、いずれの対象集団においても、50 歳以上が大半を占めていた。本分析で対象とした BG 薬は 2 型糖尿病治療薬であるが、2 型糖尿病は生活習慣が要因で発症すると考えられていることから、対象者に若年者が少なかったことは妥当と考えられる。平成 14 年度糖尿病実態調査[13]においては 50 歳以上が約 65%を占めていたが、この調査は薬物治療を受けていない早期糖尿病患者が含まれるのに対し、本分析では BG 薬処方患者のみを対象としたため、対象患者の年齢がより高齢傾向にあったと考えられる。また、各対象集団とも高齢者への処方が多く認められた。高齢者への投与に関する考察については<副次分析 1>にて後述する。

原疾患の内訳（表 10-8）については、入院（出来高算定）および外来の対象集団においては ICD-10 コードの「詳細不明の糖尿病」に該当する傷病名の付与が 80~90%と多く、この大部分は MEDIS 標準病名「糖尿病」であった。一方、入院（包括評価算定）の対象集団では、ICD-10 コードの「2 型糖尿病」に該当する傷病名の付与が 80%以上を占めていた。BG 薬は 2 型糖尿病の治療薬であり、レセプトの種類によって対象者の糖尿病型の傾向が異

なるとは考えにくい。従って、医科レセプトではより広義の傷病名が付与される傾向にあり、一方、DPC レセプトではより詳細な傷病名が付与されることが多いと推測された。

糖尿病合併症の有病割合（表 10-9）については、MET1 群と比較し、MET2 群の方が有病割合が高かった。糖尿病合併症を持つようなより重症度の高い患者に対し、1 日投与量の上限が高値に設定されているメトホルミンが処方されている可能性が考えられ、特に DPC 対象入院において、その傾向は顕著であった。

糖尿病合併症の内訳（表 10-10）については、大部分の対象集団において、眼合併症が 10%以上で認められ、その他では、腎合併症や神経合併症が複数の集団において 10%前後で認められた。平成 14 年度糖尿病実態調査[13]では、糖尿病合併症の有病割合として、網膜症が 8.7%、腎症が 9.8%、神経障害が 10.5%とあるため、本分析結果でもほぼこれと同様の傾向が認められたと言える。

●処方分析

BG 薬の商品名別処方内訳（表 10-11）について、MET1 は昭和 36 年より販売開始となった使用実績の長い医薬品であり、現在では先発医薬品であるグリコラン錠の他、複数の後発医薬品が販売されている。本分析では、いずれの対象集団においても、グリコラン錠の処方割合は 20%ほどであり、MET1 処方患者の 80%では後発医薬品が選択されていた。なお、MET2、MET3 はいずれも平成 22 年より販売開始された比較的新しい医薬品であるため、表 10-11 に示した先発医薬品のみが販売されている。BUF は昭和 44 年より販売開始されており、現在では後発医薬品のみが販売されている。

1 日当たりの BG 薬処方量（表 10-12）について、単剤である MET1、MET2、BUF に関しては、添付文書に記載された 1 日最高投与量を超えるものは少なく、規定量の範囲内で処方が行われているようであった。ピオグリタゾンとの配合剤である MET3 については、添付文書に 1 日最高投与量は記載されていないが、「通常 1 日 1 回 1 錠（メトホルミンとして 500mg）」を投与する旨規定されており、これを超える処方 MET3 群の約 10%で認められた。ただし、このうち MET1 の 1 日最高投与量である 750mg を超える処方は約 5%、MET2 の 1 日最高投与量である 2,250mg を超える処方はなかったため、乳酸アシドーシス等の重篤な副作用リスクを増大させるようなメトホルミンの過量投与は少なかったと考えられた。また、MET2 について、開始投与量から維持投与量の下限值までの処方が大部分を占めていたことから、MET2 は高用量投与が可能なメトホルミン製剤として平成 22 年に販売開始された医薬品であるが、サンプリングデータセットの対象期間当時の平成 23 年 10 月においては、まだ高用量処方がそれほど臨床現場に浸透していなかったと考えられた。

BG 薬以外の糖尿病治療薬の併用薬数（表 10-13）については、いずれの対象集団においても、併用薬なし、即ち、BG 薬単剤で処方されたのは 10~20%であった。MET1 及び MET2 は、SU 薬の使用で十分な効果が得られない 2 型糖尿病の他、食事療法・運動療法のみで十

分な効果が得られない2型糖尿病に対しても適応を持ち、2型糖尿病薬物治療の第一選択としても承認が得られている。本分析ではサンプリングデータセットを用いたため、第一選択薬として処方されたBG薬を特定することはできなかったが、いずれの対象集団においても、多くの場合は何らかの糖尿病治療薬と併用で処方されていたことから、BG薬を含む2剤併用若しくは3剤併用が一般的なようであった。

BG薬と併用されていた糖尿病治療薬の内訳（表10-14）については、いずれの対象集団においても、30～50%以上でSU薬との併用が認められた。インスリンとの併用は、外来コホートの対象集団と比較して、入院（出来高診療・包括評価算定）コホートの対象集団においてより多く認められた。これは、入院（包括評価算定）コホートにおいて消化器系疾患が付与されている入院件数が最も多かったことから（表9-4）、消化器系疾患により入院中は経口糖尿病治療薬を服用できず、一時的に超速効型インスリンあるいは速効型インスリンに切り替えた患者が多かったためと推測された。

10-3-3. 副次分析1 <禁忌または慎重投与患者への処方割合の分析>

高齢者への処方について、高齢者は乳酸アシドーシスを起こしやすいため、BG薬は投与禁忌または慎重投与とされているが、本分析結果では、DPC対象集団のMET1群以外のいずれのBG薬群においても、処方患者の半数以上が65歳以上であった（表10-15）。また、MET2では、平成24年3月に添付文書の警告欄において、「特に75歳以上の高齢者では、本剤投与の適否を慎重に判断すること。」との記載が追加されたが、平成23年10月時点では、MET2群の20～30%以上が75歳以上であった。他のBG薬群においても、75歳以上への処方が20～50%を占めており、BG薬は高齢者に対して多く処方されていたと考えられた。

透析患者への処方について、透析患者では、高い血中濃度が持続する恐れがあることから、全てのBG薬において投与禁忌とされている。本分析結果では、対象者のうち、入院（包括評価算定）コホートのMET2群の1人についてのみ、透析実施が認められた（表10-16）。本分析ではサンプリングデータセットを使用したため、透析の該当者数が少なく透析に関する診療行為コードが匿名化された可能性や、サンプリングデータセット作成時点で該当者が漏れた可能性が考えられるため、必ずしも透析患者への処方が全く無かったとは言いきれないが、本結果より、透析患者に対するBG薬処方は極めて少なかったと考えられた。

手術前後の患者への処方について、手術前後は乳酸アシドーシスを起こしやすいため、全てのBG薬において投与禁忌とされている。外来診療で実施可能な手術は限られるため、外来コホートの対象集団では、手術実施はほとんど認められなかったが、入院（出来高算定・包括評価算定）コホートの対象集団では、7～20%でBG薬処方と同月の手術実施が認められた（表10-17）ことから、入院治療においては、手術前後にBG薬が処方された

可能性が考えられた。しかしながら、サンプリングデータセットの対象期間当時のレセプトデータからは処方及び手術実施の日付情報が得られなかったため、厳密に手術前後の患者を特定することはできなかった。また、医薬品の短期的な投与中止等のオーダーリングは、レセプトデータには入力されない可能性が考えられることから、たとえ日付情報が入手できたとしても、レセプトデータのみを用いて禁忌患者への処方割合を算出することは困難であると考えられた。

10-3-4. 副次分析 2 <乳酸アシドーシスの発現割合の分析>

BG 薬投与による乳酸アシドーシスは、重篤かつ稀な副作用として知られるが、本分析では、乳酸アシドーシス発現が認められたのは、入院（包括評価算定）コホートの MET1 群の 1 件（0.7%）、及び、外来コホートの MET1 群における 2 人（0.04%）であった（表 10-18）。なお、これら 3 件については、高齢者が 1 件、手術施行患者が 1 件含まれていたが、処方量は、いずれも 1 日最高投与量の範囲内であった。

以上より、BG 薬の安全対策措置が講じられる約半年前の平成 23 年 10 月時点では、処方の半数以上が投与禁忌または慎重投与とされる高齢者に対するものであった。一方、処方量については、規定量の範囲内で処方されたものがほとんどであり、また、投与禁忌である透析患者に対する処方、ほとんど認められなかった。同様に投与禁忌である手術前後の患者については、レセプトデータから特定できず処方割合を算出できなかった。乳酸アシドーシスの発現が認められたのは 3 件であり、乳酸アシドーシスのような稀な副作用の調査においては、サンプリングデータセットの規模では限界があると考えられたため、本分析では、リスク因子の探索等のより踏み込んだ調査は実施しなかった。

11. サンプルングデータセットの医薬品安全対策への活用可能性

➤ 処方実態調査への活用可能性

本分析の対象薬は、生活習慣病の一つである2型糖尿病の治療薬で、かつ、数多く販売されている医薬品であったため、サンプルングデータセット中に対象となるレセプトがある程度多く存在した。そのため、その医薬品を処方された患者の性別、年齢分布等の基本的な患者情報について分析可能であったと考えられた。副次分析として実施した禁忌患者への処方割合については、透析患者のようにレセプトデータから特定可能なものについては分析可能であったが、手術前後（数日以内）の患者については、サンプルングデータセットから特定することはできず、レセプトデータを用いて分析するには限界があった。また、サンプルングデータセットは患者IDが付与されておらずレセプト間の紐付けができない仕様となっていたため、レセプトの種類別の分析しかできず、実患者数を算出できないという限界が認められた（詳細は12章参照）。

従って、使用頻度の高い医薬品が対象であれば、サンプルングデータセットを用いた処方実態調査では、実際の患者数を算出することはできないものの、特定の患者背景情報の分布に関する情報が得られると考えられた。なお、実患者数の算出には、特定条件下での全件抽出が可能な、ナショナルレセプトデータの特別抽出データを用いて検討する必要がある。また、手術前後の患者への処方割合等、短期的な医薬品の投与中止については、必ずしもレセプト上に入力されない可能性があるため、日付情報のあるレセプトデータを用いたとしても、それだけでは特定することは難しいと考えられた。

➤ 副作用発現頻度調査及びリスク因子の検討への活用可能性

本分析では、副次分析として、乳酸アシドーシスの発現割合の算出を試みたが、サンプルングデータセットは、ナショナルレセプトデータからの部分抽出データであるため対象患者数が限定的であること、また、個人の特定可能性を考慮し、記載件数の少ない傷病名コードや医薬品コードについては、匿名化処理を行った上で提供されることから、本分析により得られたケース数は3人と極めて少なく、発現割合の推定精度は低いと考えられた。また、平成24年3月に行われたBG薬の添付文書改訂は、「乳酸アシドーシス発現患者のほとんどは、本来BG薬投与禁忌や慎重投与とされている人であった」という副作用報告の症例集積検討（ケースシリーズ）の結果に基づき講じられたものであったが、本分析では、サンプルングデータセットから十分な数のケースが抽出されなかったため、当時の症例集積結果を裏付けるような情報を得ることはできなかった。

従って、乳酸アシドーシスのような稀な副作用の検出には、サンプリングデータセットでは限界があると考えられた。また、レセプトに記載された乳酸アシドーシス関連病名の妥当性は検証されていないため、ケース定義についても別途検討が必要と考えられた。副作用発現頻度調査及びリスク因子の検討への活用可能性については、よりデータの規模が大きく、利用者が指定した傷病名コードや医薬品コードについて匿名化処理が施されることなく提供される特別抽出データを用いて検討を行う必要がある。

➤ 安全対策措置の影響調査への活用可能性

サンプリングデータセットは、対象期間が平成 23 年 10 月診療分の 1 か月間と限定されていたため、本分析では処方実態の情報までしか得られず、講じられた措置の影響調査の実施は不可能であった。

「薬害再発防止のための医薬品行政等の見直しについて（最終提言）」（平成 22 年 4 月 28 日）[14]において、医薬品の安全対策の強化に関して「電子レセプト等のデータベースを活用し、（中略）安全対策措置の効果の評価のための情報基盤の整備を進める」と述べられているとおり、レセプトデータを用いて処方実態を把握するだけでなく、講じた安全対策措置の臨床現場への浸透度や、副作用発現頻度の抑制状況を評価することも、医薬品の安全対策において重要な検討事項と言える。講じられた措置の影響調査への活用可能性については、対象期間が 1 か月間に限定されない特別抽出データを用いて検討を行う必要がある。

➤ 迅速性の観点における安全対策業務への実装可能性

本分析を行うに当たり、サンプリングデータセットの提供申請からデータ提供までに半年以上を要した。また、提供されたデータ内容に関する情報が得られていなかったため、分析開始前に、本分析に使用する一通りのレコードテーブルについてデータチェックを行う必要があったこと、更に、分析作業終了後も、分析結果の公表に際し、一部公表方法について事務局の確認及び了承を必要としたこと、公表内容について事務局による審査を受ける必要があったこと等から、分析終了から公表までにも 11 か月の期間を要した。

医薬品の安全対策業務においては、健康被害を可能な限り最小限に止める必要があるため、迅速な対応が求められる。しかし、医薬品の安全性に関する懸念が生じた場合に、直ちにサンプリングデータセットを用いた分析を行うことは、現状では極めて難しいと考えられた。当面のサンプリングデータセットの活用方法は、本分析のように、安全対策措置を講じた後に、根拠情報の強化に用いるといった利用に限定されると考えられる。

12. サンプルングデータセットに関する要望

本分析を実施する過程で限界や不便性が認められた事項に基づき、サンプルングデータセットの提供方法、及び、レセプトデータの仕様に関する要望を以下に示す。

12-1. サンプルングデータセットの提供方法について

以下は、サンプルングデータセットの提供方法における規則や制限等から、分析を行う上で限界が認められた事柄について、データの二次利用をより有用かつ円滑に進められるよう、提供方法の改善を要望するものである。

➤ 患者 ID の必要性

【要望】

医科入院レセプト及びDPCレセプトについても、名寄せが可能となるよう患者を識別するためのIDを全データに付与していただきたい。

【理由】

医科入院レセプト及びDPCレセプトについて、レセプト間での名寄せ、及び、患者単位での集計が不可能であるため。外来・入院、及び受診医療機関を問わず、患者単位に情報が集約されているというレセプトデータの最大の利点が失われているため。

レセプト間での名寄せができなかったために生じた本分析上の限界を、以下に示す。

1) 正確な処方実態の把握ができなかった

BG薬処方患者を分析対象とした処方実態調査においては、BG薬処方に関して複数のレセプトが発行された患者（入院及び外来の双方でBG薬処方があった人や、異なる医療機関からBG薬処方があった入院患者等）については、同一患者を重複して集計することとなり、実患者数を求めることができなかった。

2) 乳酸アシドーシス発現割合を過小評価した可能性があった

外来診療でBG薬が処方され、入院期間中に持参したBG薬を服用して乳酸アシドーシスが発現した患者がいた場合、この患者は外来コホートとして集計され、「BG薬処方あり、且つイベント発現なし」と見なされる。入院コホートにおいては、入院レセプトからのBG薬処方がないために対象集団から除外される。このような患者が多くいた場合、乳酸アシドーシス発現割合を過小評価することに繋がると考えられた。

➤ 医療機関 ID の必要性

【要望】

医科入院外レセプト及び調剤レセプトについて、医療機関 ID を匿名化した上でご提供いただきたい。

【理由】

調剤レセプトに記載された医薬品に対応する医科入院外レセプトを特定できないため。

調剤レセプトに記載された医薬品に対応する医科入院外レセプトを特定できなかったために生じた本分析上の限界を、以下に示す。

1) レセプトの種類毎に異なる集計単位を用いざるを得なかった

医科入院外レセプトを3枚、BG 薬処方の記載がある調剤レセプトを1枚持つ人では、レセプト単位で集計すると、実際のBG 薬処方1件であるにも関わらず、外来コホートとして「3件」とカウントされてしまうという問題が生じた。従って、2つの入院コホート（出来高算定及び包括評価算定）ではレセプト単位でしか集計できなかったのに対し、外来コホートでは患者単位の集計とせざるを得ず、コホート間で集計単位を揃えることが出来なかった。

2) 外来診療時の処方に伴う臨床検査実施状況を調べることは出来なかった

外来診療時の処方に伴う臨床検査実施頻度を調べる目的の分析には、処方した医療機関で検査が実施されているかどうかを確認する必要があるため、調剤レセプトに記載された医薬品とそれに対応する医科入院外レセプトとの対応付けがなければ分析することは不可能であった。

➤ 匿名化処理対象コードの提示の必要性

【要望】

医薬品コード、傷病名コードについて、匿名化処理が行われたコードの内訳を提示していただきたい。¹⁵

【理由】

医薬品や傷病名等で該当件数が0件のコードが認められた場合に、これらが元々データセット内に該当がなかったのか、それとも、匿名化処理により見かけ上0件となったのかを考察することができないため。

¹⁵ 本件については、平成25年12月以降に提供されたデータセットでは対応済みとなっている。

匿名化処理が行われたコードの内訳がなかったために生じた本分析上の限界を、以下に示す。

1) 稀な曝露についての考察ができなかった

本分析ではMET3の処方患者数が極めて少なく、入院（出来高算定及び包括評価算定）コホートでは該当者が認められなかった。これについて、匿名化処理により見かけ上0件となったが実際には数件の処方があったのか、入院患者への処方が全くなかったのかを把握することができなかった。

2) 稀なイベントについての考察ができなかった

乳酸アシドーシスの発現割合の分析において、イベント定義に傷病名コードを使用したのが、一部の乳酸アシドーシス関連病名（「薬物性アシドーシス」等）は、データセット内に1件も認められなかった。乳酸アシドーシスのような稀な副作用は、発現患者数が0件か数件存在したかの違いがリスク比の算出等に大きく影響する。匿名化処理が実施されたコードの内訳が分かれば、それによる影響を考察することが可能であるが、本分析では匿名化処理によりケースの特定に漏れがあった可能性について判断できなかった。

➤ データセット内の各テーブルレコード数に関する情報提供の必要性

【要望】

データ提供時に、提供されるレセプト数、各データテーブルのレコード数といった最低限の情報も併せて提供いただきたい。¹⁶

【理由】

提供された記録媒体について、提供元の意図するデータが誤りなく記録されたものであるかを確認するのに必要であるため。

提供されたレセプト数、各データテーブルのレコード数等の情報がなかったために生じた問題を、以下に示す。

1) データチェック時に確認ができなかった

本分析を開始するに当たり、提供されたデータセット内のレセプト数を集計したところ、有識者会議で配布された資料の件数と齟齬があるものが認められたが、実際に提供されたレセプト数が不明であったため、提供された記録媒体について、提供元の意図するデータが誤りなく記録されたものであるかを確認することができなかった。

¹⁶ 本件のうち提供されるレセプト数については、平成25年12月以降に提供されたデータセットでは対応済みとなっている。

➤ コードマスターの提供の必要性

【要望】

データ提供の際、データ作成時に使用されたマスターも併せて提供していただきたい。

【理由】

社会保険診療報酬支払基金のホームページ[15]において、レセプト電算処理システムに係る基本マスターが公表されているが、全件入手可能なものは最新版のみであり、サンプリングデータセットに含まれる期間に使用されていたマスターを入手できない場合があるため。

データ作成時に使用されたマスターが入手できなかったために生じた限界を、以下に示す。

1) 医薬品および診療行為に関して正しく集計できていない可能性があった

本分析では、平成 23 年 10 月診療分のレセプトデータを使用したが、データ提供の申請が平成 24 年 5 月、分析開始が同年 12 月と、提供されたデータの期間と実際に分析を行った時期に 1 年以上のずれがあったため、一部のマスター（医薬品、診療行為等）については、データ作成時に使用されていたバージョンと同一のマスターを入手することができなかった。このため、平成 23 年 10 月以降にマスターから削除又は変更されたコードがあった場合は、正しく集計対象とするコードを特定できなかった可能性が考えられた。

➤ データ期間延長の必要性

【要望】

サンプリングデータセットについて、1 か月間だけではなく、6 か月間若しくは 1 年間等、より長期間に及ぶものもご提供いただきたい。

【理由】

現行のサンプリングデータセットのデータ期間は 1 か月間と限定されており、研究内容は断面的なものに限られてしまうため。サンプリングデータセットが提供されるようになった背景として探索的研究を可能とすることが理由に挙げられているが、現行のデータ期間では長期観察を必要とする探索的研究は実現不可能であるため。

サンプリングデータセットのデータ期間が 1 か月間であったために生じた限界を、以下に示す。

1) 本来目的としていた分析ができなかった

本分析では、安全対策措置が講じられた約半年前に当たる、平成 23 年 10 月時点での BG 薬の処方実態に関する情報しか得られず、当該措置が臨床現場へもたらした影響等の長期的な評価は行うことができなかった。

12-2. レセプトデータの項目・構造について

本分析を実施する過程で、現行のレセプトデータの仕様のままでは対応困難であった事柄について、データの二次利用をより有用かつ円滑に進めるという観点から、レセプトのデータ項目または構造の仕様変更を要望するものである。

➤ 医科入院レセプトの退院日に関する情報の必要性

【要望】

医科入院レセプトについて、退院日に関する項目を設置し、入院日数が把握できるようにしていただきたい。

【理由】

入院患者を対象とした研究においては、入院期間の把握が必要となる場合があるため。

医科入院レセプトに退院日に関する項目がなかったために生じた限界を、以下に示す。

1) 入院（出来高算定）コホートの入院期間を算出できなかった

入院コホートの患者特性を調査する目的で入院日数の算出を試みたが、DPC レセプトで構成される入院（包括評価算定）コホートでは「今回入院年月日」及び「今回退院年月日」の項目に記載された日付情報を用いて入院日数を算出することができたのに対し、医科入院レセプトで構成される入院（出来高算定）コホートでは「入院年月日」の項目を持つが退院日に関する情報を持たないため、入院日数を算出することができなかった。

➤ 調剤レセプトのテーブル間の対応の必要性

【要望】

調剤レセプトについて、各レコードテーブルに処方 ID を付与する、または、医科レセプト及び DPC レセプトと同様に、医薬品コードとそれに付随する情報を一つのレコードテーブルにまとめていただきたい。

【理由】

現行の調剤レセプトは、医科レセプトや DPC レセプトの仕様と異なり、「医薬品コード」の項目は医薬品レコードテーブル、「処方月日」や「調剤数量」の項目は調剤情報レコードテーブルというように、1 回の処方に関する情報が複数のレコードテーブルに分散されており、それらの情報を容易に連結するため。

現行の調剤レセプトの仕様のために生じた問題を、以下に示す。

1) 調剤レセプトを用いた処方情報の分析には他のレセプトに比べてデータ加工作業が多く必要であった

調剤レセプトを用いて BG 薬に関する処方情報（「処方月日」や「調剤数量」）を集計するためには、DPC レセプトや医科レセプトの医薬品レコードテーブルと同様の形式のテーブルを作る必要があった。そのためには、まず、医薬品レコードテーブルと調剤情報レコードテーブルを縦に統合し、「通番 1」の並び順から、各医薬品とそれに対応する処方月日や調剤数量等に固有の ID を付け、その ID を用いて 1ID が 1 行になるようテーブルを加工する必要があった。

➤ DPC レセプトの医薬品データの重複除去の必要性

【要望】

DPC レセプトの医薬品データ、診療行為データ、特定器材データについて、出来高請求分、包括評価請求分を区別してテーブルに集約する等して、データ重複がないようにしていただきたい。

【理由】

DPC レセプトでは、出来高請求分は、医薬品、診療行為、特定器材の各レコードテーブルとコーディングデータレコードテーブルの両者に入力されるため。

現行の DPC レセプトの仕様のために生じた限界を、以下に示す。

1) 正確にデータ重複を除去できなかった可能性があった

本分析では、両テーブルで共通する医薬品データは全て同一の処方を指すとみなし、これらの一方を除外した。従って、除外対象となった医薬品の中には、実際には重複でなかったものも含まれていた可能性が考えられ、DPC レセプトの医薬品数を過小評価したと考えられた。

13. 参考文献

1. Effect of intensive blood-glucose control with metformin on complications in overweight patients with type 2 diabetes (UKPDS 34). UK Prospective Diabetes Study (UKPDS) Group. Lancet. 1998 Sep 12;352(9131):854-65.
2. DeFronzo RA, Goodman AM. Efficacy of metformin in patients with non-insulin-dependent diabetes mellitus. The Multicenter Metformin Study Group. The New England journal of medicine. 1995 Aug 31;333(9):541-9.
3. Golay A. Metformin and body weight. International journal of obesity. 2008 Jan;32(1):61-72.
4. Kahn SE, Haffner SM, Heise MA, Herman WH, Holman RR, Jones NP, et al. Glycemic durability of rosiglitazone, metformin, or glyburide monotherapy. The New England journal of medicine. 2006 Dec 7;355(23):2427-43.
5. Federation ID. Global Guideline for Type 2 Diabetes; 2005.
6. 日本糖尿病学会. 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010. 東京: 株式会社 南江堂; 2011.
7. 平成 24 年 3 月 19 日付薬食安発 0319 第 1 号厚生労働省医薬食品局安全対策課長通知.
8. ビグアナイド薬の適正使用に関する委員会. ビグアナイド薬の適正使用に関する Recommendation. 2012.
9. 電子レセプト作成の手引き.
10. 厚生労働省. 第 1 回サンプリングデータのレコードフォーマット.
11. 平成 23 年人口動態調査.
12. 厚生労働省. 平成 23 年国民健康・栄養調査結果の概要. 2012.
13. 厚生労働省. 平成 14 年度糖尿病実態調査報告. 2004.
14. 厚生労働省. 薬害肝炎事件の検証及び再発防止のための医薬品行政のあり方検討委員会. 薬害再発防止のための医薬品行政等の見直しについて (最終提言). 2010.
15. 社会保険診療報酬支払基金. 電子点数表及び基本マスター.
16. 厚生労働省. 平成 23 年患者調査.
17. 厚生労働省. 平成 23 年度 DPC 導入の影響調査結果.

別添 1 コードリスト

別表 1-1. BG 薬

BG 薬分類	レセプト電算コード	一般名	商品名
MET1	610444147	塩酸メトホルミン	メデット錠 250mg
	610463145	塩酸メトホルミン	ネルビス錠 250mg
	620002859	塩酸メトホルミン	メトリオン錠 250
	620004480	塩酸メトホルミン	グリコラン錠 250mg
	620009133	塩酸メトホルミン	メルビン錠 250mg
	620005570	塩酸メトホルミン	メトホルミン塩酸塩錠 250mg 「トーフ」
	622070801	塩酸メトホルミン	メトホルミン塩酸塩錠 250mg 「JG」
MET2	621974701	塩酸メトホルミン	メトグルコ錠 250mg
MET3	621986301	ピオグリタゾン塩酸塩・ メトホルミン塩酸塩	メタクト配合錠 LD
	621986401	ピオグリタゾン塩酸塩・ メトホルミン塩酸塩	メタクト配合錠 HD
BUF	620004502	塩酸ブホルミン	ジベトス錠 50mg
	620005979	塩酸ブホルミン	ジベトンS腸溶錠 50mg

別表 1-2. 糖尿病関連病名

糖尿病分類	ICD-10 コード	レセプト電算コード	MEDIS 標準病名
1 型	E10	2500014	1 型糖尿病
	E10	2500027	不安定型糖尿病
	E10	8844022	緩徐進行 1 型糖尿病
	E100	8830030	1 型糖尿病性昏睡
	E100	8841679	1 型糖尿病・昏睡合併あり
	E100	8844026	緩徐進行 1 型糖尿病・昏睡合併あり
	E100	8845065	1 型糖尿病性低血糖性昏睡
	E101	8830028	1 型糖尿病性ケトアシドーシス
	E101	8841680	1 型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E101	8844025	緩徐進行 1 型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E101	8844045	劇症 1 型糖尿病
	E101	8845044	1 型糖尿病性アシドーシス
	E101	8845045	1 型糖尿病性アセトン血症
	E102	8830031	1 型糖尿病性腎症
	E102	8841681	1 型糖尿病・腎合併症あり
	E102	8843983	1 型糖尿病性腎症第 1 期
	E102	8843984	1 型糖尿病性腎症第 2 期
	E102	8843985	1 型糖尿病性腎症第 3 期
	E102	8843986	1 型糖尿病性腎症第 3 期 A
	E102	8843987	1 型糖尿病性腎症第 3 期 B
	E102	8843988	1 型糖尿病性腎症第 4 期
	E102	8843989	1 型糖尿病性腎症第 5 期
	E102	8844028	緩徐進行 1 型糖尿病・腎合併症あり
	E102	8845058	1 型糖尿病性腎硬化症
	E102	8845059	1 型糖尿病性腎不全
	E103	8830033	1 型糖尿病性網膜症
	E103	8841682	1 型糖尿病・眼合併症あり
	E103	8843982	1 型糖尿病性黄斑浮腫
	E103	8844024	緩徐進行 1 型糖尿病・眼合併症あり
	E103	8844346	1 型糖尿病性白内障
	E103	8844536	増殖性糖尿病性網膜症・1 型糖尿病
	E103	8845043	1 型糖尿病黄斑症
	E103	8845049	1 型糖尿病性眼筋麻痺
	E103	8845053	1 型糖尿病性虹彩炎
	E103	8845064	1 型糖尿病性中心性網膜症
	E104	8830032	1 型糖尿病性ニューロパチー
	E104	8841683	1 型糖尿病・神経学的合併症あり
	E104	8844027	緩徐進行 1 型糖尿病・神経学的合併症あり
	E104	8845050	1 型糖尿病性筋萎縮症
	E104	8845055	1 型糖尿病性神経因性膀胱
	E104	8845056	1 型糖尿病性神経痛
	E104	8845057	1 型糖尿病性自律神経ニューロパチー

	E104	8845062	1型糖尿病性多発ニューロパチー
	E104	8845063	1型糖尿病性単ニューロパチー
	E104	8845071	1型糖尿病性末梢神経障害
	E105	8841684	1型糖尿病・末梢循環合併症あり
	E105	8843105	1型糖尿病性壊疽
	E105	8844031	緩徐進行1型糖尿病・末梢循環合併症あり
	E105	8845046	1型糖尿病性潰瘍
	E105	8845051	1型糖尿病性血管障害
	E105	8845066	1型糖尿病性動脈硬化症
	E105	8845067	1型糖尿病性動脈閉塞症
	E105	8845069	1型糖尿病性末梢血管症
	E105	8845070	1型糖尿病性末梢血管障害
	E106	8841685	1型糖尿病・関節合併症あり
	E106	8841686	1型糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E106	8844023	緩徐進行1型糖尿病・関節合併症あり
	E106	8844626	1型糖尿病性水疱
	E106	8844627	1型糖尿病性浮腫性硬化症
	E106	8845047	1型糖尿病性肝障害
	E106	8845048	1型糖尿病性関節症
	E106	8845052	1型糖尿病性高コレステロール血症
	E106	8845054	1型糖尿病性骨症
	E106	8845060	1型糖尿病性精神障害
	E106	8845061	1型糖尿病性そう痒症
	E106	8845068	1型糖尿病性皮膚障害
	E106	8845842	1型糖尿病性胃腸症
	E107	8841687	1型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E107	8844029	緩徐進行1型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E109	8841688	1型糖尿病・糖尿病性合併症なし
	E109	8844030	緩徐進行1型糖尿病・糖尿病性合併症なし
2型	E11	2500001	インスリン抵抗性糖尿病
	E11	2500015	2型糖尿病
	E11	8830405	安定型糖尿病
	E11	8835244	若年2型糖尿病
	E110	8830041	2型糖尿病性昏睡
	E110	8841689	2型糖尿病・昏睡合併あり
	E110	8845094	2型糖尿病性低血糖性昏睡
	E111	8830040	2型糖尿病性ケトアシドーシス
	E111	8841690	2型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E111	8845073	2型糖尿病性アシドーシス
	E111	8845074	2型糖尿病性アセトン血症
	E112	8830042	2型糖尿病性腎症
	E112	8841691	2型糖尿病・腎合併症あり
	E112	8843991	2型糖尿病性腎症第1期
	E112	8843992	2型糖尿病性腎症第2期

E112	8843993	2型糖尿病性腎症第3期
E112	8843994	2型糖尿病性腎症第3期A
E112	8843995	2型糖尿病性腎症第3期B
E112	8843996	2型糖尿病性腎症第4期
E112	8843997	2型糖尿病性腎症第5期
E112	8845087	2型糖尿病性腎硬化症
E112	8845088	2型糖尿病性腎不全
E113	8830045	2型糖尿病性網膜症
E113	8841692	2型糖尿病・眼合併症あり
E113	8843990	2型糖尿病性黄斑浮腫
E113	8844347	2型糖尿病性白内障
E113	8844537	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病
E113	8845072	2型糖尿病黄斑症
E113	8845078	2型糖尿病性眼筋麻痺
E113	8845082	2型糖尿病性虹彩炎
E113	8845093	2型糖尿病性中心性網膜症
E114	8830043	2型糖尿病性ニューロパチー
E114	8830044	2型糖尿病性ミオパチー
E114	8841693	2型糖尿病・神経学的合併症あり
E114	8845079	2型糖尿病性筋萎縮症
E114	8845084	2型糖尿病性神経因性膀胱
E114	8845085	2型糖尿病性神経痛
E114	8845086	2型糖尿病性自律神経ニューロパチー
E114	8845091	2型糖尿病性多発ニューロパチー
E114	8845092	2型糖尿病性単ニューロパチー
E114	8845100	2型糖尿病性末梢神経障害
E115	8841694	2型糖尿病・末梢循環合併症あり
E115	8843106	2型糖尿病性壊疽
E115	8845075	2型糖尿病性潰瘍
E115	8845080	2型糖尿病性血管障害
E115	8845095	2型糖尿病性動脈硬化症
E115	8845096	2型糖尿病性動脈閉塞症
E115	8845098	2型糖尿病性末梢血管症
E115	8845099	2型糖尿病性末梢血管障害
E116	8841695	2型糖尿病・関節合併症あり
E116	8841696	2型糖尿病・糖尿病性合併症あり
E116	8844628	2型糖尿病性水疱
E116	8844629	2型糖尿病性浮腫性硬化症
E116	8845076	2型糖尿病性肝障害
E116	8845077	2型糖尿病性関節症
E116	8845081	2型糖尿病性高コレステロール血症
E116	8845083	2型糖尿病性骨症
E116	8845089	2型糖尿病性精神障害
E116	8845090	2型糖尿病性そう痒症
E116	8845097	2型糖尿病性皮膚障害
E117	8841697	2型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり

	E119	8841698	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし
栄養障害関連	E12	2500037	栄養不良関連糖尿病
その他の明示された糖尿病	E13	2500024	膵性糖尿病
	E13	2500041	インスリンレセプター異常症
	E13	2509003	ステロイド糖尿病
	E13	2509004	二次性糖尿病
	E13	8830756	ウイルス性糖尿病
	E13	8840710	薬剤性糖尿病
	E13	8845198	B型インスリン受容体異常症
	E130	8843122	ウイルス性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843377	膵性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843390	ステロイド糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843450	二次性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843621	薬剤性糖尿病・昏睡合併あり
	E131	8843121	ウイルス性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843376	膵性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843389	ステロイド糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843449	二次性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843620	薬剤性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E132	8843124	ウイルス性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843379	膵性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843392	ステロイド糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843452	二次性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843623	薬剤性糖尿病・腎合併症あり
	E133	8843120	ウイルス性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843375	膵性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843388	ステロイド糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843448	二次性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843619	薬剤性糖尿病・眼合併症あり
	E134	8843123	ウイルス性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843378	膵性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843391	ステロイド糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843451	二次性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843622	薬剤性糖尿病・神経学的合併症あり
	E135	8843128	ウイルス性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843383	膵性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843396	ステロイド糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843456	二次性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843627	薬剤性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E136	8843126	ウイルス性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843381	膵性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843394	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843454	二次性糖尿病・糖尿病性合併症あり

	E136	8843625	薬剤性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E137	8843125	ウイルス性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843380	膵性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843393	ステロイド糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843453	二次性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843624	薬剤性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E139	8843127	ウイルス性糖尿病・糖尿病性合併症なし
	E139	8843382	膵性糖尿病・糖尿病性合併症なし
	E139	8843395	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症なし
	E139	8843455	二次性糖尿病・糖尿病性合併症なし
	E139	8843626	薬剤性糖尿病・糖尿病性合併症なし
詳細不明の糖尿病	E14	2500013	糖尿病
	E14	2507028	糖尿病合併症
	E140	2502004	高浸透圧性非ケトン性昏睡
	E140	2502006	糖尿病性昏睡
	E140	8838076	糖尿病性低血糖性昏睡
	E141	2501002	糖尿病性アシドーシス
	E141	2501003	糖尿病性アセトン血症
	E141	2501005	糖尿病性ケトアシドーシス
	E142	2503005	糖尿病性腎症
	E142	2503007	糖尿病性腎不全
	E142	8832747	キンメルスチール・ウイルソン症候群
	E142	8838071	糖尿病性腎硬化症
	E143	2504004	糖尿病性虹彩炎
	E143	2504005	糖尿病性中心性網膜症
	E143	2504006	糖尿病性白内障
	E143	2504010	増殖性糖尿病性網膜症
	E143	2504012	糖尿病黄斑症
	E143	2504013	糖尿病網膜症
	E143	8838065	糖尿病性眼筋麻痺
	E143	8844089	糖尿病黄斑浮腫
	E144	2505011	糖尿病性神経痛
	E144	2505018	糖尿病性末梢神経障害
	E144	2505021	糖尿病性筋萎縮症
	E144	8838069	糖尿病性神経因性膀胱
	E144	8838070	糖尿病性自律神経ニューロパチー
	E144	8838074	糖尿病性多発ニューロパチー
	E144	8838075	糖尿病性単ニューロパチー
	E144	8838078	糖尿病性ニューロパチー
	E145	2506006	糖尿病性壊疽
	E145	2506011	糖尿病性動脈閉塞症
	E145	8838063	糖尿病性潰瘍
	E145	8838066	糖尿病性血管障害
	E145	8838077	糖尿病性動脈硬化症

	E145	8838079	糖尿病性末梢血管症
	E145	8838080	糖尿病性末梢血管障害
	E146	2507025	糖尿病性関節症
	E146	2507029	糖尿病性皮膚障害
	E146	8838064	糖尿病性肝障害
	E146	8838067	糖尿病性高コレステロール血症
	E146	8838068	糖尿病性骨症
	E146	8838072	糖尿病性精神障害
	E146	8838073	糖尿病性そう痒症
	E146	8844652	糖尿病性水疱
	E146	8844653	糖尿病性浮腫性硬化症
	E146	8845128	高血糖高浸透圧症候群
	E149	8843439	糖尿病・糖尿病性合併症なし
妊娠中の糖尿病	0240	8830029	1型糖尿病合併妊娠
	0241	8830039	2型糖尿病合併妊娠
	0244	6489003	妊娠糖尿病
	0249	8838621	妊娠中の糖尿病
血糖値上昇	R730	2500031	境界型糖尿病
	R730	2713009	耐糖能異常
	R730	8831132	化学的糖尿病
	R730	8836104	潜在性糖尿病
	R730	8836563	前糖尿病
	R730	8841306	ぶどう糖負荷試験異常
	R739	8833419	高血糖症
糖尿（尿検査の異常所見）	R81	7915002	一過性糖尿
	R81	7915003	五炭糖尿症
	R81	8833420	高血糖性糖尿
	R81	8834843	食事性糖尿
	R81	8835464	情動性糖尿
	R81	8835871	正常血糖性糖尿
	R81	8838062	糖尿

別表 1-3. 糖尿病合併症関連病名

合併症分類	ICD-10 コード	レセプト電算コード	MEDIS 標準病名
昏睡	E100	8830030	1 型糖尿病性昏睡
	E100	8841679	1 型糖尿病・昏睡合併あり
	E100	8844026	緩徐進行 1 型糖尿病・昏睡合併あり
	E100	8845065	1 型糖尿病性低血糖性昏睡
	E110	8830041	2 型糖尿病性昏睡
	E110	8841689	2 型糖尿病・昏睡合併あり
	E110	8845094	2 型糖尿病性低血糖性昏睡
	E130	8843122	ウイルス性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843377	膵性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843390	ステロイド糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843450	二次性糖尿病・昏睡合併あり
	E130	8843621	薬剤性糖尿病・昏睡合併あり
	E140	2502004	高浸透圧性非ケトン性昏睡
	E140	2502006	糖尿病性昏睡
	E140	8838076	糖尿病性低血糖性昏睡
ケトアシドーシス	E101	8830028	1 型糖尿病性ケトアシドーシス
	E101	8841680	1 型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E101	8844025	緩徐進行 1 型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E101	8844045	劇症 1 型糖尿病
	E101	8845044	1 型糖尿病性アシドーシス
	E101	8845045	1 型糖尿病性アセトン血症
	E111	8830040	2 型糖尿病性ケトアシドーシス
	E111	8841690	2 型糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E111	8845073	2 型糖尿病性アシドーシス
	E111	8845074	2 型糖尿病性アセトン血症
	E131	8843121	ウイルス性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843376	膵性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843389	ステロイド糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843449	二次性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E131	8843620	薬剤性糖尿病・ケトアシドーシス合併あり
	E141	2501002	糖尿病性アシドーシス
	E141	2501003	糖尿病性アセトン血症
	E141	2501005	糖尿病性ケトアシドーシス
腎合併症	E102	8830031	1 型糖尿病性腎症
	E102	8841681	1 型糖尿病・腎合併症あり
	E102	8843983	1 型糖尿病性腎症第 1 期

	E102	8843984	1型糖尿病性腎症第2期
	E102	8843985	1型糖尿病性腎症第3期
	E102	8843986	1型糖尿病性腎症第3期A
	E102	8843987	1型糖尿病性腎症第3期B
	E102	8843988	1型糖尿病性腎症第4期
	E102	8843989	1型糖尿病性腎症第5期
	E102	8844028	緩徐進行1型糖尿病・腎合併症あり
	E102	8845058	1型糖尿病性腎硬化症
	E102	8845059	1型糖尿病性腎不全
	E112	8830042	2型糖尿病性腎症
	E112	8841691	2型糖尿病・腎合併症あり
	E112	8843991	2型糖尿病性腎症第1期
	E112	8843992	2型糖尿病性腎症第2期
	E112	8843993	2型糖尿病性腎症第3期
	E112	8843994	2型糖尿病性腎症第3期A
	E112	8843995	2型糖尿病性腎症第3期B
	E112	8843996	2型糖尿病性腎症第4期
	E112	8843997	2型糖尿病性腎症第5期
	E112	8845087	2型糖尿病性腎硬化症
	E112	8845088	2型糖尿病性腎不全
	E132	8843124	ウイルス性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843379	膵性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843392	ステロイド糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843452	二次性糖尿病・腎合併症あり
	E132	8843623	薬剤性糖尿病・腎合併症あり
	E142	2503005	糖尿病性腎症
	E142	2503007	糖尿病性腎不全
	E142	8832747	キンメルスチール・ウイルソン症候群
	E142	8838071	糖尿病性腎硬化症
眼合併症	E103	8830033	1型糖尿病性網膜症
	E103	8841682	1型糖尿病・眼合併症あり
	E103	8843982	1型糖尿病性黄斑浮腫
	E103	8844024	緩徐進行1型糖尿病・眼合併症あり
	E103	8844346	1型糖尿病性白内障
	E103	8844536	増殖性糖尿病性網膜症・1型糖尿病
	E103	8845043	1型糖尿病黄斑症
	E103	8845049	1型糖尿病性眼筋麻痺
	E103	8845053	1型糖尿病性虹彩炎
	E103	8845064	1型糖尿病性中心性網膜症
	E113	8830045	2型糖尿病性網膜症
	E113	8841692	2型糖尿病・眼合併症あり
	E113	8843990	2型糖尿病性黄斑浮腫
	E113	8844347	2型糖尿病性白内障
	E113	8844537	増殖性糖尿病性網膜症・2型糖尿病
	E113	8845072	2型糖尿病黄斑症
	E113	8845078	2型糖尿病性眼筋麻痺

	E113	8845082	2型糖尿病性虹彩炎
	E113	8845093	2型糖尿病性中心性網膜症
	E133	8843120	ウイルス性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843375	膵性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843388	ステロイド糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843448	二次性糖尿病・眼合併症あり
	E133	8843619	薬剤性糖尿病・眼合併症あり
	E143	2504004	糖尿病性虹彩炎
	E143	2504005	糖尿病性中心性網膜症
	E143	2504006	糖尿病性白内障
	E143	2504010	増殖性糖尿病性網膜症
	E143	2504012	糖尿病黄斑症
	E143	2504013	糖尿病網膜症
	E143	8838065	糖尿病性眼筋麻痺
	E143	8844089	糖尿病黄斑浮腫
神経合併症	E104	8830032	1型糖尿病性ニューロパチー
	E104	8841683	1型糖尿病・神経学的合併症あり
	E104	8844027	緩徐進行1型糖尿病・神経学的合併症あり
	E104	8845050	1型糖尿病性筋萎縮症
	E104	8845055	1型糖尿病性神経因性膀胱
	E104	8845056	1型糖尿病性神経痛
	E104	8845057	1型糖尿病性自律神経ニューロパチー
	E104	8845062	1型糖尿病性多発ニューロパチー
	E104	8845063	1型糖尿病性単ニューロパチー
	E104	8845071	1型糖尿病性末梢神経障害
	E114	8830043	2型糖尿病性ニューロパチー
	E114	8830044	2型糖尿病性ミオパチー
	E114	8841693	2型糖尿病・神経学的合併症あり
	E114	8845079	2型糖尿病性筋萎縮症
	E114	8845084	2型糖尿病性神経因性膀胱
	E114	8845085	2型糖尿病性神経痛
	E114	8845086	2型糖尿病性自律神経ニューロパチー
	E114	8845091	2型糖尿病性多発ニューロパチー
	E114	8845092	2型糖尿病性単ニューロパチー
	E114	8845100	2型糖尿病性末梢神経障害
	E134	8843123	ウイルス性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843378	膵性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843391	ステロイド糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843451	二次性糖尿病・神経学的合併症あり
	E134	8843622	薬剤性糖尿病・神経学的合併症あり
	E144	2505011	糖尿病性神経痛
	E144	2505018	糖尿病性末梢神経障害
	E144	2505021	糖尿病性筋萎縮症
	E144	8838069	糖尿病性神経因性膀胱

	E144	8838070	糖尿病性自律神経ニューロパチー
	E144	8838074	糖尿病性多発ニューロパチー
	E144	8838075	糖尿病性単ニューロパチー
	E144	8838078	糖尿病性ニューロパチー
末梢循環合併症	E105	8841684	1型糖尿病・末梢循環合併症あり
	E105	8843105	1型糖尿病性壊疽
	E105	8844031	緩徐進行1型糖尿病・末梢循環合併症あり
	E105	8845046	1型糖尿病性潰瘍
	E105	8845051	1型糖尿病性血管障害
	E105	8845066	1型糖尿病性動脈硬化症
	E105	8845067	1型糖尿病性動脈閉塞症
	E105	8845069	1型糖尿病性末梢血管症
	E105	8845070	1型糖尿病性末梢血管障害
	E115	8841694	2型糖尿病・末梢循環合併症あり
	E115	8843106	2型糖尿病性壊疽
	E115	8845075	2型糖尿病性潰瘍
	E115	8845080	2型糖尿病性血管障害
	E115	8845095	2型糖尿病性動脈硬化症
	E115	8845096	2型糖尿病性動脈閉塞症
	E115	8845098	2型糖尿病性末梢血管症
	E115	8845099	2型糖尿病性末梢血管障害
	E135	8843128	ウイルス性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843383	膵性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843396	ステロイド糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843456	二次性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E135	8843627	薬剤性糖尿病・末梢循環合併症あり
	E145	2506006	糖尿病性壊疽
	E145	2506011	糖尿病性動脈閉塞症
	E145	8838063	糖尿病性潰瘍
	E145	8838066	糖尿病性血管障害
	E145	8838077	糖尿病性動脈硬化症
	E145	8838079	糖尿病性末梢血管症
	E145	8838080	糖尿病性末梢血管障害
	その他の明示された合併症	E106	8841685
E106		8841686	1型糖尿病・糖尿病性合併症あり
E106		8844023	緩徐進行1型糖尿病・関節合併症あり
E106		8844626	1型糖尿病性水疱
E106		8844627	1型糖尿病性浮腫性硬化症
E106		8845047	1型糖尿病性肝障害
E106		8845048	1型糖尿病性関節症
E106		8845052	1型糖尿病性高コレステロール血症
E106		8845054	1型糖尿病性骨症
E106		8845060	1型糖尿病性精神障害
E106	8845061	1型糖尿病性そう痒症	

	E106	8845068	1 型糖尿病性皮膚障害
	E106	8845842	1 型糖尿病性胃腸症
	E116	8841695	2 型糖尿病・関節合併症あり
	E116	8841696	2 型糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E116	8844628	2 型糖尿病性水疱
	E116	8844629	2 型糖尿病性浮腫性硬化症
	E116	8845076	2 型糖尿病性肝障害
	E116	8845077	2 型糖尿病性関節症
	E116	8845081	2 型糖尿病性高コレステロール血症
	E116	8845083	2 型糖尿病性骨症
	E116	8845089	2 型糖尿病性精神障害
	E116	8845090	2 型糖尿病性そう痒症
	E116	8845097	2 型糖尿病性皮膚障害
	E136	8843126	ウイルス性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843381	膵性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843394	ステロイド糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843454	二次性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E136	8843625	薬剤性糖尿病・糖尿病性合併症あり
	E146	2507025	糖尿病性関節症
	E146	2507029	糖尿病性皮膚障害
	E146	8838064	糖尿病性肝障害
	E146	8838067	糖尿病性高コレステロール血症
	E146	8838068	糖尿病性骨症
	E146	8838072	糖尿病性精神障害
	E146	8838073	糖尿病性そう痒症
	E146	8844652	糖尿病性水疱
	E146	8844653	糖尿病性浮腫性硬化症
	E146	8845128	高血糖高浸透圧症候群
多発合併症	E107	8841687	1 型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E107	8844029	緩徐進行 1 型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E117	8841697	2 型糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843125	ウイルス性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843380	膵性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843393	ステロイド糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843453	二次性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり
	E137	8843624	薬剤性糖尿病・多発糖尿病性合併症あり

別表 1-4. スルホニル尿素薬

レセプト電算コード	一般名	商品名
610412056	グリベンクラミド	グリベンクラミド錠1. 25mg「EMEC」
610433079	グリベンクラミド	ダムゼール錠1. 25mg
610441043	グリベンクラミド	ダムゼール錠2. 5mg
610443002	グリメピリド	アマリール1mg錠
610443003	グリメピリド	アマリール3mg錠
613960002	グリベンクラミド	オイグルコン錠1. 25mg
613960003	グリベンクラミド	オイグルコン錠2. 5mg
613960006	クロルプロパミド	ダイヤビニーズ(100mg)
613960008	クロルプロパミド	アベマイド錠
613960008	クロルプロパミド	インシランゲC錠
613960008	クロルプロパミド	クロルプロパミド錠(ツルハラ)250mg
613960008	クロルプロパミド	ダイヤビニーズ(250mg)
613960008	クロルプロパミド	メリトスC錠
613960008	クロルプロパミド	アベマイド錠250mg
613960017	アセトヘキサミド	ジメリン錠250mg
613960026	トルブタミド	ヘキストラスチノン
613960026	トルブタミド	メリトスD
613960026	トルブタミド	ヘキストラスチノン散100%
613960027	トルブタミド	アベミン錠25
613960027	トルブタミド	ジアベン錠250mg
613960027	トルブタミド	チアベトース1号
613960027	トルブタミド	トルブタマイド錠250「純薬」
613960027	トルブタミド	トルブタマイド250mg錠
613960027	トルブタミド	トルブタミド錠「タケシマ」
613960027	トルブタミド	トルブタミド錠「トーワ」
613960027	トルブタミド	トルマイド250
613960027	トルブタミド	ブタマイド錠250
613960027	トルブタミド	メリトスD錠250mg
613960027	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「トーワ」
613960027	トルブタミド	チアベトース錠250mg
613960027	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「NT」
613960028	トルブタミド	アルトシン錠0. 5g
613960028	トルブタミド	インシランゲD錠
613960028	トルブタミド	ジアベン錠500mg
613960028	トルブタミド	トルシラン錠
613960028	トルブタミド	トルブタマイド500mg錠
613960028	トルブタミド	ブタマイド錠500
613960028	トルブタミド	メリトスD錠500mg
613960038	グリベンクラミド	パミルコン錠1. 25mg
613960039	グリベンクラミド	パミルコン錠2. 5mg
613960060	トルブタミド	アベミン錠25
613960060	トルブタミド	ジアベン錠250mg

613960060	トルブタミド	チアベトース1号
613960060	トルブタミド	トルブタマイド錠250「純薬」
613960060	トルブタミド	トルブタマイド250mg錠
613960060	トルブタミド	トルブタミド錠「タケシマ」
613960060	トルブタミド	トルブタミド錠「トーワ」
613960060	トルブタミド	トルマイド250
613960060	トルブタミド	ブタマイド錠250
613960060	トルブタミド	メリトスD錠250mg
613960060	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「トーワ」
613960060	トルブタミド	チアベトース錠250mg
613960060	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「NT」
613960067	トルブタミド	アルトシン錠0.5g
613960067	トルブタミド	インシランゲD錠
613960067	トルブタミド	ジアベン錠500mg
613960067	トルブタミド	トルシラン錠
613960067	トルブタミド	トルブタマイド500mg錠
613960067	トルブタミド	ブタマイド錠500
613960067	トルブタミド	メリトスD錠500mg
613960077	グリベンクラミド	ベンクラート錠2.5mg
613960078	グリベンクラミド	マーグレイド錠2.5mg
613960079	グリベンクラミド	オペアミン錠2.5
620000048	アセトヘキサミド	ジメリン錠500mg
620002029	グリクラジド	クラウナート錠20mg
620002030	グリクラジド	クラウナート錠40mg
620002031	グリクラジド	グリミクロンHA錠20mg
620002032	グリクラジド	グリミクロン錠40mg
620003159	グリベンクラミド	ダオニール錠1.25mg
620003160	グリベンクラミド	ダオニール錠2.5mg
620003277	トルブタミド	ヘキストラスチノン
620003277	トルブタミド	メリトスD
620003277	トルブタミド	ヘキストラスチノン散100%
620003452	トルブタミド	ヘキストラスチノン錠0.5g
620003568	グリクラジド	ダイアグリコ錠40mg
620003604	グリベンクラミド	プラトゲン錠2.5mg
620003661	グリクラジド	ルイメニア錠40mg
620003947	グリクラジド	グリクラジド錠20mg「NP」
620003948	グリクラジド	グリクラジド錠40mg「NP」
620004289	トルブタミド	アベミン錠25
620004289	トルブタミド	ジアベン錠250mg
620004289	トルブタミド	チアベトース1号
620004289	トルブタミド	トルブタマイド錠250「純薬」
620004289	トルブタミド	トルブタマイド250mg錠
620004289	トルブタミド	トルブタミド錠「タケシマ」
620004289	トルブタミド	トルブタミド錠「トーワ」
620004289	トルブタミド	トルマイド250

620004289	トルブタミド	ブタマイド錠250
620004289	トルブタミド	メリトスD錠250mg
620004289	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「トーワ」
620004289	トルブタミド	チアベトース錠250mg
620004289	トルブタミド	トルブタミド錠250mg「NT」
620004482	グリクラジド	グルタミール錠40mg
620006030	グリクロピラミド	デアメリンS錠250mg
620006890	グリベンクラミド	グリベンクラミド錠2.5mg「トーワ」
620006891	グリクラジド	グリミラン錠40mg
620009209	クロルプロパミド	アベマイド錠
620009209	クロルプロパミド	インシランゲC錠
620009209	クロルプロパミド	クロルプロパミド錠(ツルハラ)250mg
620009209	クロルプロパミド	ダイヤビニーズ(250mg)
620009209	クロルプロパミド	メリトスC錠
620009209	クロルプロパミド	アベマイド錠250mg
620872001	グリベンクラミド	グリベンクラミド錠2.5mg「タナベ」
621982701	グリメピリド	アマリール0.5mg錠
621997001	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「BMD」
621997101	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「BMD」
621998701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「EMEC」
621998801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「EMEC」
621998901	グリメピリド	グリメピリドOD錠1mg「EMEC」
621999001	グリメピリド	グリメピリドOD錠3mg「EMEC」
621999301	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「オーハラ」
621999401	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「オーハラ」
621999701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「YD」
621999801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「YD」
622000601	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「アメル」
622000701	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「アメル」
622001701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「TCK」
622001801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「TCK」
622004701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「タカタ」
622004801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「タカタ」
622005501	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「日新」
622005601	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「日新」
622005801	グリクラジド	ルイメニア錠20mg
622008701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「マイラン」
622008801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「マイラン」
622009801	グリベンクラミド	オペアミン錠1.25
622009901	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「サワイ」
622010001	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「サワイ」
622011401	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「KN」
622011501	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「KN」
622011601	グリメピリド	グリメピリドOD錠1mg「KN」
622011701	グリメピリド	グリメピリドOD錠3mg「KN」

622013401	グリベンクラミド	グリベンクラミド錠1.25mg「トーフ」
622013501	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「トーフ」
622013601	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「トーフ」
622016001	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「科研」
622016101	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「科研」
622017301	グリメピリド	グリメピリド錠0.5mg「三和」
622017401	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「三和」
622017501	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「三和」
622017901	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「タナベ」
622018001	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「タナベ」
622018801	グリベンクラミド	グリベンクラミド錠1.25mg「タナベ」
622020901	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「興和テバ」
622021001	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「興和テバ」
622021801	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「AFP」
622021901	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「AFP」
622022001	グリメピリド	グリメピリドOD錠1mg「AFP」
622022101	グリメピリド	グリメピリドOD錠3mg「AFP」
622023501	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「JG」
622023601	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「JG」
622025201	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「ケミファ」
622025301	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「ケミファ」
622025801	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「AA」
622025901	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「AA」
622026501	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「ZE」
622026601	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「ZE」
622029901	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「イセイ」
622030001	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「イセイ」
622031401	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「杏林」
622031501	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「杏林」
622033001	グリメピリド	グリメピリド錠0.5mg「NP」
622033101	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「NP」
622033201	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「NP」
622033701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「モチダ」
622033801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「モチダ」
622035701	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「日医工」
622035801	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「日医工」
622036001	グリベンクラミド	プラトゲン錠1.25mg
622037901	グリメピリド	グリメピリドOD錠1mg「ケミファ」
622038001	グリメピリド	グリメピリドOD錠3mg「ケミファ」
622038801	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「KO」
622038901	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「KO」
622039901	グリベンクラミド	マーグレイド錠1.25mg
622058801	グリメピリド	グリメピリド錠1mg「タイヨー」
622058901	グリメピリド	グリメピリド錠3mg「タイヨー」
622059001	グリメピリド	グリメピリドOD錠1mg「タイヨー」

622059101	グリメピリド	グリメピリドOD錠3mg「タイヨー」
-----------	--------	--------------------

別表 1-5. チアゾリジン誘導体

レセプト電算コード	一般名	商品名
610432040	塩酸ピオグリタゾン	アクトス錠15
610432041	塩酸ピオグリタゾン	アクトス錠30
621990901	塩酸ピオグリタゾン	アクトスOD錠15
621991001	塩酸ピオグリタゾン	アクトスOD錠30
622041202	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「MEEK」
622041302	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「MEEK」
622041402	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「MEEK」
622041502	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「MEEK」
622045201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「タカタ」
622045301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「タカタ」
622045401	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「タカタ」
622045501	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「タカタ」
622046801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「オーハラ」
622046901	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「オーハラ」
622047701	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「ZE」
622047801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「ZE」
622049901	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「アメル」
622050001	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「アメル」
622053101	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「サワイ」
622053201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「サワイ」
622053801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「タナベ」
622055801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「トーフ」
622055901	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「トーフ」
622056001	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「トーフ」
622056101	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「トーフ」
622059201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「タイヨー」
622059301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「タイヨー」
622061001	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「タナベ」
622061401	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「FFP」
622061501	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「FFP」
622061601	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「FFP」
622061701	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「FFP」
622062301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「興和テバ」
622062401	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「興和テバ」
622063001	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「NS」
622063101	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「NS」
622063201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「NS」
622063301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「NS」
622065101	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「DSEP」
622065201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「DSEP」

622065301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「DSEP」
622065401	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「DSEP」
622066201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「TCK」
622066301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「TCK」
622071701	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「日医工」
622071801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「日医工」
622071901	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠15mg「日医工」
622072001	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾンOD錠30mg「日医工」
622078301	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「モチダ」
622078401	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「モチダ」
622079101	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「NP」
622079201	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「NP」
622081801	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠15mg「サンド」
622081901	塩酸ピオグリタゾン	ピオグリタゾン錠30mg「サンド」

別表 1-6. α -グルコシダーゼ阻害薬

レセプト電算コード	一般名	商品名
610406390	ボグリボース	ベイスン錠0.2
610406391	ボグリボース	ベイスン錠0.3
613960081	アカルボース	グルコバイ錠50mg
613960082	アカルボース	グルコバイ錠100mg
620002120	ボグリボース	ベイスンOD錠0.2
620002121	ボグリボース	ベイスンOD錠0.3
620002812	ボグリボース	ベイスロース錠0.2mg
620002813	ボグリボース	ベイスロース錠0.3mg
620002815	ボグリボース	ベスタミオン錠0.2
620002816	ボグリボース	ベスタミオン錠0.3
620002824	ボグリボース	ベルデリール錠0.2mg
620002825	ボグリボース	ベルデリール錠0.3mg
620002826	ボグリボース	ベロム錠0.2
620002827	ボグリボース	ベロム錠0.3
620002835	ボグリボース	ボグシール錠0.2
620002836	ボグリボース	ボグシール錠0.3
620002841	ボグリボース	ボグリボース錠0.2「タツミ」
620002842	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「SW」
620002843	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「トーワ」
620002845	ボグリボース	ボグリボース錠0.3「タツミ」
620002846	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「SW」
620002847	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「トーワ」
620003127	ミグリトール	セイブル錠25mg
620003128	ミグリトール	セイブル錠50mg
620003129	ミグリトール	セイブル錠75mg
620004045	ボグリボース	ベグリラート錠0.2mg
620004046	ボグリボース	ベグリラート錠0.3mg

620004069	ボグリボース	ボグリボースODフィルム0.2「QQ」
620004070	ボグリボース	ボグリボースODフィルム0.3「QQ」
620004071	ボグリボース	ボグリボース錠0.2「OME」
620004072	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「NP」
620004073	ボグリボース	ボグリボース錠0.3「OME」
620004074	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「NP」
620005359	アカルボース	アカルボース錠50mg「タイヨー」
620005360	アカルボース	アカルボース錠100mg「タイヨー」
620005557	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「MED」
620005558	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「ケミファ」
620005559	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「サワイ」
620005560	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「タイヨー」
620005561	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「トーワ」
620005562	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「MED」
620005563	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「ケミファ」
620005564	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「サワイ」
620005565	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「タイヨー」
620005566	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「トーワ」
620006682	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「マイラン」
620006683	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「マイラン」
620008071	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「MEEK」
620008072	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「タカタ」
620008073	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「日医工」
620008074	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「MEEK」
620008075	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「タカタ」
620008076	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「日医工」
620008726	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「MEEK」
620008727	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「MED」
620008728	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「MEEK」
620008729	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「MED」
620009286	アカルボース	アカルボースOD錠50mg「タイヨー」
620009287	アカルボース	アカルボースOD錠100mg「タイヨー」
620009288	アカルボース	アカルボース錠50mg「NS」
620009289	アカルボース	アカルボース錠50mg「JG」
620009290	アカルボース	アカルボース錠50mg「日医工」
620009291	アカルボース	アカルボース錠50mg「BMD」
620009292	アカルボース	アカルボース錠50mg「YD」
620009293	アカルボース	アカルボース錠100mg「NS」
620009294	アカルボース	アカルボース錠100mg「JG」
620009295	アカルボース	アカルボース錠100mg「日医工」
620009296	アカルボース	アカルボース錠100mg「BMD」
620009297	アカルボース	アカルボース錠100mg「YD」
621665301	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「タイヨー」
621665401	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「タイヨー」
621673501	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「日医工」

621673601	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「日医工」
621683401	ボグリボース	ボグリボース錠0.2mg「タカタ」
621683501	ボグリボース	ボグリボース錠0.3mg「タカタ」
621937101	アカルボース	グルコバイOD錠50mg
621937201	アカルボース	グルコバイOD錠100mg
621942101	アカルボース	アカルボース錠50mg「マイラン」
621942201	アカルボース	アカルボース錠100mg「マイラン」
621943301	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.2mg「マイラン」
621943401	ボグリボース	ボグリボースOD錠0.3mg「マイラン」
621953301	ボグリボース	ベグリラートOD錠0.2mg
621953401	ボグリボース	ベグリラートOD錠0.3mg
621958701	アカルボース	アカルボース錠50mg「サワイ」
621958801	アカルボース	アカルボース錠100mg「サワイ」
622008501	アカルボース	アカルボースOD錠50mg「マイラン」
622008601	アカルボース	アカルボースOD錠100mg「マイラン」

別表 1-7. 速効型インスリン分泌促進薬

レセプト電算コード	一般名	商品名
610432026	ナテグリニド	スターシス錠30mg
610432027	ナテグリニド	スターシス錠90mg
610432032	ナテグリニド	ファスティック錠30
610432033	ナテグリニド	ファスティック錠90
620001907	ミチグリニドカルシウム水和物	グルファスト錠5mg
622040901	レパグリニド	シュアポスト錠0.25mg
622041001	レパグリニド	シュアポスト錠0.5mg
620001908	ミチグリニドカルシウム水和物	グルファスト錠10mg

別表 1-8. DPP-IV阻害薬

レセプト電算コード	一般名	商品名
621950901	リン酸シタグリプチン水和物	ジャヌビア錠25mg
621951001	リン酸シタグリプチン水和物	ジャヌビア錠50mg
621951101	リン酸シタグリプチン水和物	ジャヌビア錠100mg
621970601	リン酸シタグリプチン水和物	グラクティブ錠25mg
621970701	リン酸シタグリプチン水和物	グラクティブ錠50mg
621970801	リン酸シタグリプチン水和物	グラクティブ錠100mg
621980701	ビルダグリプチン	エクア錠50mg
621986001	安息香酸アログリプチン	ネシーナ錠6.25mg
621986101	安息香酸アログリプチン	ネシーナ錠12.5mg
621986201	安息香酸アログリプチン	ネシーナ錠25mg
622093501	リナグリプチン	トラゼンタ錠5mg

別表 1-9. 配合剤

レセプト電算コード	一般名	商品名
622048401	塩酸ピオグリタゾン・グリメピリド配合剤（１）	ソニラス配合錠LD
622048501	塩酸ピオグリタゾン・グリメピリド配合剤（２）	ソニラス配合錠HD
622053601	ミチグリニドカルシウム水和物・ボグリボース配合剤	グルバス配合錠
622086001	安息香酸アログリプチン・塩酸ピオグリタゾン配合剤（１）	リオベル配合錠LD
622086101	安息香酸アログリプチン・塩酸ピオグリタゾン配合剤（２）	リオベル配合錠HD

別表 1-10. インスリン製剤

レセプト電算コード	一般名	商品名
620000204	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	イノレット40R注
620000205	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	イノレット50R注
620000265	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリンR注フレックスペン
620000266	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリンN注フレックスペン
620000269	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリン30R注フレックスペン
620000270	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリン40R注フレックスペン
620000271	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリン50R注フレックスペン
620000448	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド30ミックス注フレックスペン
620002439	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログミックス25注カート
620002440	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログミックス50注カート
620002441	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログN注カート
620007459	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログN注ミリオペン
620007460	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログ注ミリオペン
620007461	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログミックス25注ミリオペン
620007462	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログミックス50注ミリオペン
620007536	インスリン グラルギン（遺伝子組換え）	ランタス注ソロスター
620008893	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド注フレックスペン
620008894	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド注ペンフィル
620008895	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド注100単位/mL

620008896	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド30ミックス注ペンフィル
620008897	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリンR注100単位/mL
620008898	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリンN注100単位/mL
620008899	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ノボリン30R注100単位/mL
620008907	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンR注カート
620008908	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンR注キット
620008909	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンR注100単位/mL
620008910	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンN注カート
620008911	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンN注キット
620008912	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリンN注100単位/mL
620008913	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリン3/7注カート
620008914	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリン3/7注キット
620008915	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	ヒューマリン3/7注100単位/mL
620008916	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログ注100単位/mL
620008942	インスリン グラルギン（遺伝子組換え）	ランタス注オプチクリック
620008943	インスリン グラルギン（遺伝子組換え）	ランタス注カート
620008945	インスリン グラルギン（遺伝子組換え）	ランタス注100単位/mL
620008952	インスリン デテミル（遺伝子組換え）	レベミル注フレックスペン
620008953	インスリン デテミル（遺伝子組換え）	レベミル注ペンフィル
621911101	インスリン グルリジン（遺伝子組換え）	アピドラ注100単位/mL
621911201	インスリン グルリジン（遺伝子組換え）	アピドラ注ソロスター
621911301	インスリン グルリジン（遺伝子組換え）	アピドラ注カート
621926901	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド注イノレット
621927001	インスリン デテミル（遺伝子組換え）	レベミル注イノレット
621973201	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド50ミックス注フレックスペン
621973301	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）	ノボラピッド70ミックス注フレックスペン
640451027	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）	ヒューマログ注カート
640453021	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	イノレットR注
640453022	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	イノレットN注
640453023	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	イノレット30R注
642490063	イソフェンインスリン	NPHイスジリン

642490063	イソフェンインスリン	インシュリンインスラタードノルディスク
642490064	インスリン	イスジリン-20
642490065	インスリン	イスジリン-40
642490066	インスリン亜鉛	インシュリンノボ・レンテMC
642490066	インスリン亜鉛	インスリン亜鉛水性懸濁注射液「モハン」
642490066	インスリン亜鉛	レンテイスジリン
642490068	結晶性インスリン亜鉛	インシュリンノボ・ウルトラレンテMC
642490068	結晶性インスリン亜鉛	ウルトラレンテイスジリン
642490070	プロタミンインスリン亜鉛	プロタミン亜鉛イスジリン
642490071	無晶性インスリン亜鉛	インシュリンノボ・セミレンテMC
642490071	無晶性インスリン亜鉛	セミレンテイスジリン

別表 1-11. GLP-1 受容体作動薬

レセプト電算コード	一般名	商品名
621974801	リラグルチド（遺伝子組換え）	ビクトーザ皮下注 18mg
622038301	エキセナチド	バイエッタ皮下注 5 μ g ペン300
622038401	エキセナチド	バイエッタ皮下注 10 μ g ペン300

別表 1-12. 透析

レセプト電算コード	診療行為名称
140007710	人工腎臓（その他）
140008510	連続携行式腹膜灌流
140008810	腹膜灌流（その他）
140029850	持続緩徐式血液濾過
140036710	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間未満）
140051010	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間以上5時間未満）
140051110	人工腎臓（慢性維持透析）（5時間以上）

別表 1-13. 手術

レセプト電算コード	診療行為名称
130007970	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（開腹）
130008070	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（四肢）
130008170	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）
130009070	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置（四肢）
130009170	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）
130010050	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（開腹）
130010150	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（四肢）
130010250	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）
130010350	抗悪性腫瘍剤腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置
150001010	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm未満）
150001110	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm以上10cm未満）
150001250	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm未満）
150001310	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径5cm以上10cm未満）
150001650	外シャント血栓除去術
150001750	静脈瘤切除術（下肢以外）
150001810	皮膚切開術（長径10cm未満）
150001910	皮膚切開術（長径10cm以上20cm未満）
150002010	皮膚切開術（長径20cm以上）
150002150	子宮腔部糜爛等子宮腔部乱切除術
150002210	デブリードマン（100cm ² 未満）
150002310	デブリードマン（100cm ² 以上3000cm ² 未満）
150002410	デブリードマン（3000cm ² 以上）
150002510	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部、長径3cm未満）
150002610	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部、長径3cm～6cm未満）
150003110	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm未満）
150003210	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2cm以上4cm未満）
150003510	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm未満）
150003610	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3cm以上6cm未満）
150004050	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径3cm未満の悪性皮膚腫瘍）
150004150	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径3cm以上6cm未満の悪性皮膚腫瘍）
150004210	皮膚悪性腫瘍切除術（広汎切除）
150004510	腋臭症手術（皮弁法）
150004610	皮膚剥削術（25cm ² 未満）
150004710	皮膚剥削術（25cm ² 以上100cm ² 未満）
150004810	瘢痕拘縮形成手術（顔面）
150004910	瘢痕拘縮形成手術（その他）
150005010	顔面神経麻痺形成手術（静的）
150005110	顔面神経麻痺形成手術（動的）
150006410	分層植皮術（25cm ² 未満）
150006510	分層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）
150006610	分層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）
150006710	分層植皮術（200cm ² 以上）

150007610	皮膚移植術（生体・培養）
150007770	生体皮膚移植（提供者の療養上の費用）
150007810	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25cm ² 未満）
150007910	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25～100cm ² 未満）
150008010	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（100cm ² 以上）
150008810	動脈（皮）弁術
150008910	遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付き）
150009010	筋（皮）弁術
150009110	複合組織移植術
150009210	自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付き）
150009310	粘膜移植術（4cm ² 未満）
150009410	筋膜切離術
150009510	筋膜切開術
150009610	筋切離術
150009710	股関節内転筋切離術
150009810	股関節筋群解離術
150009910	筋炎手術（腸腰筋）
150010010	筋炎手術（殿筋）
150010110	筋炎手術（大腿筋）
150010210	筋炎手術（その他の筋）
150010310	腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）（指）
150010410	腱切離・切除術（関節鏡下）（指）
150010510	腱剥離術（関節鏡下によるものを含む）（指）
150010610	筋肉内異物摘出術
150010810	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（肩）
150010910	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（上腕）
150011010	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（前腕）
150011110	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）
150011210	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）
150011310	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（手）
150011410	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）
150011510	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（肩）
150011610	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（上腕）
150011710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（前腕）
150011810	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（大腿）
150011910	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（下腿）
150012010	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（手）
150012110	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（足）
150012310	腱縫合術（指）
150012750	腱縫合術（切創等の創傷）
150013110	筋膜移植術（指）
150013210	腱延長術（指）
150013410	腱移行術（その他）
150013510	腱移植術（人工腱形成術を含む）（その他）
150013710	骨穿孔術

150013810	骨搔爬術（肩甲骨）
150013910	骨搔爬術（上腕）
150014010	骨搔爬術（大腿）
150014110	骨搔爬術（前腕）
150014210	骨搔爬術（下腿）
150014310	骨搔爬術（鎖骨）
150014410	骨搔爬術（膝蓋骨）
150014510	骨搔爬術（手）
150014610	骨搔爬術（足その他）
150014750	骨関節結核瘻孔摘出術（肩甲骨）
150014850	骨関節結核瘻孔摘出術（上腕）
150014950	骨関節結核瘻孔摘出術（大腿）
150015050	骨関節結核瘻孔摘出術（前腕）
150015150	骨関節結核瘻孔摘出術（下腿）
150015250	骨関節結核瘻孔摘出術（鎖骨）
150015350	骨関節結核瘻孔摘出術（膝蓋骨）
150015450	骨関節結核瘻孔摘出術（手）
150015550	骨関節結核瘻孔摘出術（足その他）
150015650	骨髓炎手術（骨結核手術）（肩甲骨）
150015750	骨髓炎手術（骨結核手術）（上腕）
150015850	骨髓炎手術（骨結核手術）（大腿）
150015950	骨髓炎手術（骨結核手術）（前腕）
150016050	骨髓炎手術（骨結核手術）（下腿）
150016150	骨髓炎手術（骨結核手術）（鎖骨）
150016250	骨髓炎手術（骨結核手術）（膝蓋骨）
150016350	骨髓炎手術（骨結核手術）（手）
150016450	骨髓炎手術（骨結核手術）（足その他）
150016510	骨折非観血的整復術（肩甲骨）
150016610	骨折非観血的整復術（上腕）
150016710	骨折非観血的整復術（大腿）
150016810	骨折非観血的整復術（前腕）
150016910	骨折非観血的整復術（下腿）
150017010	骨折非観血的整復術（鎖骨）
150017110	骨折非観血的整復術（膝蓋骨）
150017210	骨折非観血的整復術（手）
150017310	骨折非観血的整復術（足その他）
150017950	恥骨結合離開非観血的整復固定術
150018110	骨折経皮的鋼線刺入固定術（肩甲骨）
150018210	骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）
150018310	骨折経皮的鋼線刺入固定術（大腿）
150018410	骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）
150018510	骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）
150018610	骨折経皮的鋼線刺入固定術（鎖骨）
150018710	骨折経皮的鋼線刺入固定術（膝蓋骨）
150018810	骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）

150018910	骨折経皮的鋼線刺入固定術（足）
150019010	骨折観血の手術（肩甲骨）
150019110	骨折観血の手術（上腕）
150019210	骨折観血の手術（大腿）
150019310	骨折観血の手術（前腕）
150019410	骨折観血の手術（下腿）
150019510	骨折観血の手術（鎖骨）
150019610	骨折観血の手術（膝蓋骨）
150019710	骨折観血の手術（手（舟状骨を除く））
150019810	骨折観血の手術（足）
150020350	象皮病根治手術（大腿）
150020450	象皮病根治手術（下腿）
150020510	骨内異物（挿入物）除去術（肩甲骨）
150020610	骨内異物（挿入物）除去術（上腕）
150020710	骨内異物（挿入物）除去術（大腿）
150020810	骨内異物（挿入物）除去術（前腕）
150020910	骨内異物（挿入物）除去術（下腿）
150021010	骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）
150021110	骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）
150021210	骨内異物（挿入物）除去術（手）
150021310	骨内異物（挿入物）除去術（足）
150021410	骨部分切除術（肩甲骨）
150021510	骨部分切除術（上腕）
150021610	骨部分切除術（大腿）
150021710	骨部分切除術（前腕）
150021810	骨部分切除術（下腿）
150021910	骨部分切除術（鎖骨）
150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）
150022110	骨部分切除術（手）
150022210	骨部分切除術（足）
150022510	腐骨摘出術（肩甲骨）
150022610	腐骨摘出術（上腕）
150022710	腐骨摘出術（大腿）
150022810	腐骨摘出術（前腕）
150022910	腐骨摘出術（下腿）
150023010	腐骨摘出術（鎖骨）
150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）
150023210	腐骨摘出術（手）
150023310	腐骨摘出術（足その他）
150023410	骨全摘術（肩甲骨）
150023510	骨全摘術（上腕）
150023610	骨全摘術（大腿）
150023710	骨全摘術（前腕）
150023810	骨全摘術（下腿）
150023910	骨全摘術（鎖骨）

150024010	骨全摘術（膝蓋骨）
150024110	骨全摘術（手）
150024210	骨全摘術（足その他）
150024550	中手骨摘除術（2本以上）
150024650	中足骨摘除術（2本以上）
150024710	骨腫瘍切除術（肩甲骨）
150024810	骨腫瘍切除術（上腕）
150024910	骨腫瘍切除術（大腿）
150025010	骨腫瘍切除術（前腕）
150025110	骨腫瘍切除術（下腿）
150025210	骨腫瘍切除術（鎖骨）
150025310	骨腫瘍切除術（膝蓋骨）
150025410	骨腫瘍切除術（手）
150025510	骨腫瘍切除術（足）
150025650	多発性軟骨性外骨腫摘出術（肩甲骨）
150025750	多発性軟骨性外骨腫摘出術（上腕）
150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）
150025950	多発性軟骨性外骨腫摘出術（前腕）
150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）
150026150	多発性軟骨性外骨腫摘出術（鎖骨）
150026250	多発性軟骨性外骨腫摘出術（膝蓋骨）
150026350	多発性軟骨性外骨腫摘出術（手）
150026450	多発性軟骨性外骨腫摘出術（足）
150026510	骨悪性腫瘍手術（肩甲骨）
150026610	骨悪性腫瘍手術（上腕）
150026710	骨悪性腫瘍手術（大腿）
150026810	骨悪性腫瘍手術（前腕）
150026910	骨悪性腫瘍手術（下腿）
150027010	骨悪性腫瘍手術（鎖骨）
150027110	骨悪性腫瘍手術（膝蓋骨）
150027210	骨悪性腫瘍手術（手）
150027310	骨悪性腫瘍手術（足その他）
150027510	骨切り術（肩甲骨）
150027610	骨切り術（上腕）
150027710	骨切り術（大腿）
150027810	骨切り術（前腕）
150027910	骨切り術（下腿）
150028010	骨切り術（鎖骨）
150028110	骨切り術（膝蓋骨）
150028210	骨切り術（手）
150028310	骨切り術（足）
150028610	偽関節手術（肩甲骨）
150028710	偽関節手術（上腕）
150028810	偽関節手術（大腿）
150028910	偽関節手術（前腕）

150029010	偽関節手術（下腿）
150029110	偽関節手術（鎖骨）
150029210	偽関節手術（膝蓋骨）
150029310	偽関節手術（手（舟状骨を除く））
150029410	偽関節手術（足）
150029610	変形治癒骨折矯正手術（肩甲骨）
150029710	変形治癒骨折矯正手術（上腕）
150029810	変形治癒骨折矯正手術（大腿）
150029910	変形治癒骨折矯正手術（前腕）
150030010	変形治癒骨折矯正手術（下腿）
150030110	変形治癒骨折矯正手術（鎖骨）
150030210	変形治癒骨折矯正手術（膝蓋骨）
150030310	変形治癒骨折矯正手術（手）
150030410	変形治癒骨折矯正手術（足）
150031410	骨長調整手術（骨端軟骨発育抑制術）
150031510	骨長調整手術（骨短縮術）
150031610	骨長調整手術（骨延長術）（指以外）
150031710	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植）（生体）
150031910	関節切開術（肩）
150032010	関節切開術（股）
150032110	関節切開術（膝）
150032210	関節切開術（胸鎖）
150032310	関節切開術（肘）
150032410	関節切開術（手）
150032510	関節切開術（足）
150032610	関節切開術（肩鎖）
150032710	関節切開術（指）
150032850	肩甲関節周囲沈着石灰摘出術
150033810	関節脱臼非観血的整復術（肩）
150033910	関節脱臼非観血的整復術（股）
150034010	関節脱臼非観血的整復術（膝）
150034110	関節脱臼非観血的整復術（胸鎖）
150034210	関節脱臼非観血的整復術（肘）
150034310	関節脱臼非観血的整復術（手）
150034410	関節脱臼非観血的整復術（足）
150034510	関節脱臼非観血的整復術（肩鎖）
150034610	関節脱臼非観血的整復術（指）
150034710	関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）
150035050	先天性股関節脱臼非観血的整復術（両側）（リーメンビューゲル法）
150035110	先天性股関節脱臼非観血的整復術（両側）（その他）
150035210	関節脱臼観血的整復術（肩）
150035310	関節脱臼観血的整復術（股）
150035410	関節脱臼観血的整復術（膝）
150035510	関節脱臼観血的整復術（胸鎖）
150035610	関節脱臼観血的整復術（肘）

150035710	關節脫臼觀血的整復術（手）
150035810	關節脫臼觀血的整復術（足）
150035910	關節脫臼觀血的整復術（肩鎖）
150036010	關節脫臼觀血的整復術（指）
150036110	先天性股關節脫臼觀血的整復術
150036210	關節內異物（挿入物）除去術（肩）
150036310	關節內異物（挿入物）除去術（股）
150036410	關節內異物（挿入物）除去術（膝）
150036510	關節內異物（挿入物）除去術（胸鎖）
150036610	關節內異物（挿入物）除去術（肘）
150036710	關節內異物（挿入物）除去術（手）
150036810	關節內異物（挿入物）除去術（足）
150036910	關節內異物（挿入物）除去術（肩鎖）
150037010	關節內異物（挿入物）除去術（指）
150037110	關節滑膜切除術（肩）
150037210	關節滑膜切除術（股）
150037310	關節滑膜切除術（膝）
150037410	關節滑膜切除術（胸鎖）
150037510	關節滑膜切除術（肘）
150037610	關節滑膜切除術（手）
150037710	關節滑膜切除術（足）
150037810	關節滑膜切除術（肩鎖）
150037910	關節滑膜切除術（指）
150038050	膝蓋骨滑液囊切除術
150038150	滑液膜摘出術（肩）
150038250	滑液膜摘出術（股）
150038350	滑液膜摘出術（膝）
150038450	滑液膜摘出術（胸鎖）
150038550	滑液膜摘出術（肘）
150038650	滑液膜摘出術（手）
150038750	滑液膜摘出術（足）
150038850	滑液膜摘出術（肩鎖）
150038950	滑液膜摘出術（指）
150039050	掌指關節滑膜切除術
150039110	關節鼠摘出手術（肩）
150039210	關節鼠摘出手術（股）
150039310	關節鼠摘出手術（膝）
150039410	關節鼠摘出手術（胸鎖）
150039510	關節鼠摘出手術（肘）
150039610	關節鼠摘出手術（手）
150039710	關節鼠摘出手術（足）
150039810	關節鼠摘出手術（肩鎖）
150039910	關節鼠摘出手術（指）
150040910	半月板切除術
150041010	ガングリオン摘出術（手）

150041110	ガングリオン摘出術（足）
150041210	ガングリオン摘出術（指）
150041310	ガングリオン摘出術（その他）（ヒグローム摘出術を含む）
150041710	関節切除術（肩）
150041810	関節切除術（股）
150041910	関節切除術（膝）
150042010	関節切除術（胸鎖）
150042110	関節切除術（肘）
150042210	関節切除術（手）
150042310	関節切除術（足）
150042410	関節切除術（肩鎖）
150042510	関節切除術（指）
150042610	関節内骨折観血の手術（肩）
150042710	関節内骨折観血の手術（股）
150042810	関節内骨折観血の手術（膝）
150042910	関節内骨折観血の手術（胸鎖）
150043010	関節内骨折観血の手術（肘）
150043110	関節内骨折観血の手術（手）
150043210	関節内骨折観血の手術（足）
150043310	関節内骨折観血の手術（肩鎖）
150043410	関節内骨折観血の手術（指）
150043510	靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
150043610	靭帯断裂縫合術（膝側副靭帯）
150043710	靭帯断裂縫合術（指）
150044310	非観血的関節授動術（肩）
150044410	非観血的関節授動術（股）
150044510	非観血的関節授動術（膝）
150044610	非観血的関節授動術（胸鎖）
150044710	非観血的関節授動術（肘）
150044810	非観血的関節授動術（手）
150044910	非観血的関節授動術（足）
150045010	非観血的関節授動術（肩鎖）
150045110	非観血的関節授動術（指）
150045210	観血的関節授動術（肩）
150045310	観血的関節授動術（股）
150045410	観血的関節授動術（膝）
150045510	観血的関節授動術（胸鎖）
150045610	観血的関節授動術（肘）
150045710	観血的関節授動術（手）
150045810	観血的関節授動術（足）
150045910	観血的関節授動術（肩鎖）
150046010	観血的関節授動術（指）
150046110	観血的関節制動術（肩）
150046210	観血的関節制動術（股）
150046310	観血的関節制動術（膝）

150046410	観血的関節制動術（胸鎖）
150046510	観血的関節制動術（肘）
150046610	観血的関節制動術（手）
150046710	観血的関節制動術（足）
150046810	観血的関節制動術（肩鎖）
150046910	観血的関節制動術（指）
150047010	観血的関節固定術（肩）
150047110	観血的関節固定術（股）
150047210	観血的関節固定術（膝）
150047310	観血的関節固定術（胸鎖）
150047410	観血的関節固定術（肘）
150047510	観血的関節固定術（手）
150047610	観血的関節固定術（足）
150047710	観血的関節固定術（肩鎖）
150047810	観血的関節固定術（指）
150047910	靱帯断裂形成手術（十字靱帯）
150048010	靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）
150048110	靱帯断裂形成手術（指）
150048210	関節形成手術（肩）
150048310	関節形成手術（股）
150048410	関節形成手術（膝）
150048510	関節形成手術（胸鎖）
150048610	関節形成手術（肘）
150048710	関節形成手術（手）
150048810	関節形成手術（足）
150048910	関節形成手術（肩鎖）
150049010	関節形成手術（指）
150049250	内反足手術
150049350	二関節固定術と後方制動術
150049410	人工骨頭挿入術（肩）
150049510	人工骨頭挿入術（股）
150049810	人工骨頭挿入術（肘）
150049910	人工骨頭挿入術（手）
150050010	人工骨頭挿入術（足）
150050210	人工骨頭挿入術（指）
150050310	人工関節置換術（肩）
150050410	人工関節置換術（股）
150050510	人工関節置換術（膝）
150050610	人工関節置換術（胸鎖）
150050710	人工関節置換術（肘）
150050810	人工関節置換術（手）
150050910	人工関節置換術（足）
150051010	人工関節置換術（肩鎖）
150051110	人工関節置換術（指）
150051210	四肢切断術（肩甲帯）

150051310	四肢切断術（上腕）
150051410	四肢切断術（前腕）
150051510	四肢切断術（手）
150051610	四肢切断術（大腿）
150051710	四肢切断術（下腿）
150051810	四肢切断術（足）
150051910	四肢切断術（指）
150052050	肩甲帯離断術
150052110	四肢関節離断術（肩）
150052210	四肢関節離断術（股）
150052310	四肢関節離断術（膝）
150052410	四肢関節離断術（肘）
150052510	四肢関節離断術（手）
150052610	四肢関節離断術（足）
150052710	四肢関節離断術（指）
150052850	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩）
150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
150053150	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肘）
150053250	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（手）
150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
150053450	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（指）
150053510	断端形成術（軟部形成のみ）（指）
150053610	断端形成術（軟部形成のみ）（その他）
150053710	断端形成術（骨形成を要する）（指）
150053810	断端形成術（骨形成を要する）（その他）
150053910	切断四肢再接合術（四肢）
150054010	切断四肢再接合術（指）
150054110	爪甲除去術
150054210	ひょう疽手術（軟部組織）
150054310	ひょう疽手術（骨、関節）
150054550	風棘手術
150054610	陥入爪手術（簡単）
150054710	陥入爪手術（爪床爪母の形成を伴う複雑）
150054850	舌繫痕性短縮矯正術
150055110	手根管開放手術
150055410	足三関節固定（ランブリヌディ）手術
150055510	手掌腱膜切離・切除術
150055610	足底腱膜切離・切除術
150055710	手掌異物摘出術
150055810	足底異物摘出術
150055910	手掌屈筋腱縫合術
150056010	指癒痕拘縮手術
150056210	多指症手術（軟部形成のみ）
150056310	多指症手術（骨関節、腱の形成を要する）

150056510	合指症手術（軟部形成のみ）
150056610	合指症手術（骨関節、腱の形成を要する）
150056850	指癒着症手術（軟部形成のみ）
150056950	指癒着症手術（骨関節、腱の形成を要する）
150057110	巨指症手術（軟部形成のみ）
150057210	巨指症手術（骨関節、腱の形成を要する）
150057410	屈指症手術（軟部形成のみ）
150057510	屈指症手術（骨関節、腱の形成を要する）
150057710	斜指症手術（軟部形成のみ）
150057810	斜指症手術（骨関節、腱の形成を要する）
150058010	裂手手術
150058110	裂足手術
150058210	母指化手術
150058310	指移植手術
150058410	母指対立再建術
150058510	神経血管柄付植皮術（手）
150058610	第四足指短縮症手術
150058710	第一足指外反症矯正手術
150058810	腸骨窩膿瘍切開術
150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
150059310	脊椎骨搔爬術
150059410	骨盤骨搔爬術
150059510	脊椎脱臼非観血的整復術
150059650	頸椎非観血的整復術
150059750	椎間板ヘルニア徒手整復術
150059810	脊椎、骨盤脱臼観血的手術
150060210	仙腸関節脱臼観血的手術
150060310	恥骨結合離開観血的手術
150060410	骨盤骨折非観血的整復術
150060810	腸骨翼骨折観血的手術
150060910	骨盤骨折観血的手術（腸骨翼骨折を除く）
150061010	脊椎骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（棘突起）
150061110	脊椎骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（腸骨翼）
150061210	脊椎骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（その他）
150061310	骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（棘突起）
150061410	骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（腸骨翼）
150061510	骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除）（その他）
150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
150062910	黄色靭帯骨化症手術
150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
150063710	脊椎腫瘍切除術
150063810	骨盤腫瘍切除術

150063910	脊椎悪性腫瘍手術
150064010	骨盤悪性腫瘍手術
150064210	骨盤切断術
150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）
150064510	脊椎披裂手術（その他）
150064610	脊椎骨切り術
150064710	骨盤骨切り術
150064810	臼蓋形成手術
150066110	仙腸関節固定術
150066210	穿頭脳室ドレナージ術
150067010	頭蓋開溝術
150067110	穿頭術（トレパナチオン）
150067210	試験開頭術
150067350	穿頭術及び試験開頭術を2か所以上
150067410	減圧開頭術（その他）
150067510	脳膿瘍排膿術
150067710	耳性頭蓋内合併症手術
150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
150068010	機能的定位脳手術（片側）
150068150	レンズ核破壊術（片側）
150068250	脳淡蒼球内オイルプロカイン注入療法（脳深部定位手術）（片側）
150068310	脳切截術（開頭）
150068410	延髄における脊髄視床路切截術
150068510	三叉神経節後線維切截術
150068610	視神経管開放術
150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
150068850	顔面神経管開放術
150068910	脳神経手術（開頭）
150069050	頭蓋内微小血管減圧術
150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
150069410	頭蓋骨膜下血腫摘出術
150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
150069850	脳血管塞栓摘出術
150069950	脳血管血栓摘出術
150070010	脳内異物摘出術
150070110	脳膿瘍全摘術
150070210	頭蓋内腫瘍摘出術
150070310	脳切除術
150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
150070810	経耳的聴神経腫瘍摘出術
150071010	経鼻的下垂体腫瘍摘出術

150071110	脳動静脈奇形摘出術
150071310	脳・脳膜脱手術
150071650	髄液シヤント抜去術
150072010	髄液漏閉鎖術
150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
150072310	神経縫合術（その他）
150072510	脊髄硬膜切開術
150072610	減圧脊髄切開術
150072710	脊髄切截術
150072810	脊髄硬膜内神経切断術
150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
150073010	脊髄視床路切截術
150073110	神経剥離術
150073210	脊髄腫瘍摘出術（髄外）
150073310	脊髄腫瘍摘出術（髄内）
150073410	脊髄血管腫摘出術
150073510	神経腫切除術（その他）
150073610	神経捻除術（後頭神経）
150073750	横隔神経麻痺術
150073910	神経捻除術（上眼窩神経）
150074010	神経捻除術（眼窩下神経）
150074150	眼窩下孔部神経切断術
150074210	神経捻除術（おとがい神経）
150074350	おとがい孔部神経切断術
150074410	神経捻除術（下顎神経）
150074510	交感神経切除術（頸動脈周囲）
150074610	交感神経切除術（股動脈周囲）
150074750	尾動脈腺摘出術
150074810	交感神経節切除術（頸部）
150074910	交感神経節切除術（胸部）
150075010	交感神経節切除術（腰部）
150075150	ストッフエル手術
150075250	閉鎖神経切除術
150075350	下腹部神経叢切除術とクレニッヒ手術
150075450	コット手術とクレニッヒ手術
150075550	末梢神経遮断術（浅腓骨神経）
150075650	末梢神経遮断術（後脛骨神経）
150075810	神経移行術
150076010	神経移植術
150076310	涙点形成術
150076610	涙嚢切開術
150076710	先天性鼻涙管閉塞開放術
150076810	涙管チューブ挿入術
150076910	涙嚢摘出術

150077010	涙嚢鼻腔吻合術
150077110	涙嚢瘻管閉鎖術
150077210	涙小管形成手術
150077310	瞼縁縫合術（瞼板縫合術を含む）
150077510	麦粒腫切開術
150077610	眼瞼膿瘍切開術
150077750	外眥切開術
150077810	マイボーム腺切開術
150077910	睫毛電気分解術（毛根破壊）
150078010	兎眼矯正術
150078210	マイボーム腺梗塞摘出術
150078310	霰粒腫摘出術
150078410	瞼板切除術（巨大霰粒腫摘出）
150078510	眼瞼結膜悪性腫瘍手術
150078610	眼瞼内反症手術
150078710	眼瞼外反症手術
150078810	眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）
150078910	眼瞼下垂症手術（筋膜移植法）
150079010	眼瞼下垂症手術（その他）
150079110	結膜縫合術
150079410	結膜結石除去術（少数）
150079510	結膜下異物除去術
150079650	結膜結石除去術（多数）
150079710	結膜嚢形成手術（部分形成）
150079810	結膜嚢形成手術（皮膚及び結膜の形成）
150079910	結膜嚢形成手術（全部形成）
150080050	内眥形成術
150080210	翼状片手術（弁の移植を要する）
150080610	結膜腫瘍冷凍凝固術
150080750	結膜肉芽腫摘除術
150080810	眼窩膿瘍切開術
150081310	眼窩骨折観血的手術（眼窩ブローアウト骨折手術を含む）
150081510	眼窩内異物除去術（表在性）
150081610	眼窩内異物除去術（深在性）（視神経周囲）
150081710	眼窩内異物除去術（深在性）（眼窩尖端）
150081810	眼窩内異物除去術（深在性）（その他）
150082110	眼窩内容除去術
150082210	眼窩内腫瘍摘出術（表在性）
150082310	眼窩内腫瘍摘出術（深在性）
150082610	眼窩悪性腫瘍手術
150082710	眼窩縁形成手術（骨移植）
150083010	眼球内容除去術
150083210	眼球摘出術
150083310	斜視手術（前転法）
150083410	斜視手術（後転法）

150083510	斜視手術（前転法と後転法）
150083610	斜視手術（斜筋手術）
150083710	義眼台包埋術
150083810	眼筋移動術
150083910	眼球摘出及び組織又は義眼台充填術
150084710	角膜新生血管手術（冷凍凝固術を含む）
150084950	顕微鏡下角膜抜糸術
150085010	角膜潰瘍搔爬術
150085210	角膜潰瘍焼灼術
150085410	角膜・強膜異物除去術
150085710	治療的角膜切除術（その他）
150085810	強角膜瘻孔閉鎖術
150085910	角膜潰瘍結膜被覆術
150086010	角膜表層除去併用結膜被覆術
150086210	角膜移植術
150086310	強膜移植術
150086410	角膜形成手術
150087110	虹彩腫瘍切除術
150087210	毛様体腫瘍切除術
150087510	緑内障手術（虹彩切除術）
150088410	緑内障手術（流出路再建術）
150088610	虹彩整復・瞳孔形成術
150088710	虹彩光凝固術
150088810	毛様体光凝固術
150088910	毛様体冷凍凝固術
150089010	隅角光凝固術
150089110	前房、虹彩内異物除去術
150089410	網膜復位術
150090110	網膜冷凍凝固術
150090210	硝子体注入・吸引術
150090410	硝子体切除術
150090610	硝子体茎顕微鏡下離断術（その他）
150091610	硝子体置換術
150091710	耳介血腫開窓術
150091810	外耳道異物除去術（単純）
150091910	外耳道異物除去術（複雑）
150092010	先天性耳瘻管摘出術
150092110	副耳（介）切除術
150092210	耳茸摘出術
150092310	外耳道骨増生（外骨腫）切除術
150092450	外耳道骨腫切除術
150092510	耳介腫瘍摘出術
150092610	外耳道腫瘍摘出術
150092710	耳介悪性腫瘍手術
150092910	外耳道悪性腫瘍手術

150093110	耳後瘻孔閉鎖術
150093210	耳介形成手術（耳介軟骨形成を要しない）
150093410	外耳道形成手術
150093510	外耳道造設術・閉鎖症手術
150093610	鼓膜切開術
150093710	鼓室開放術
150093810	上鼓室開放術
150093910	上鼓室乳突洞開放術
150094010	乳突洞開放術（アントロトミー）
150094110	乳突削開術
150094210	錐体部手術
150094410	耳管内チューブ挿入術
150094550	耳管狭窄ビニール管挿入術
150094610	鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術
150094710	乳突充填術
150094810	鼓膜穿孔閉鎖術
150094910	鼓膜鼓室肉芽切除術
150095010	中耳、側頭骨腫瘍摘出術
150095210	中耳悪性腫瘍手術（切除）
150095310	中耳悪性腫瘍手術（側頭骨摘出術）
150095510	鼓室神経叢切除、鼓索神経切断術
150095810	S状洞血栓（静脈炎）手術
150095910	中耳根治手術
150096010	鼓膜形成手術
150096110	鼓室形成手術
150096210	アブミ骨摘出術
150096350	アブミ骨可動化手術
150096410	内耳開窓術
150096510	経迷路的内耳道開放術
150096610	内リンパ嚢開放術
150096810	迷路摘出術（部分摘出）
150096910	迷路摘出術（全摘出）
150097110	鼻中隔膿瘍切開術
150097210	鼻中隔血腫切開術
150097310	鼻腔粘膜焼灼術
150097450	下甲介粘膜焼灼術
150097710	鼻骨骨折整復固定術
150097850	鼻骨脱臼整復術
150097950	鼻骨骨折徒手整復術
150098010	鼻骨骨折観血の手術
150098110	鼻中隔骨折観血の手術
150098250	上顎洞鼻外手術
150098450	上顎洞鼻内手術
150098610	鼻内異物摘出術
150098710	鼻前庭嚢胞摘出術

150098810	鼻甲介切除術（その他）
150099010	粘膜下鼻甲介骨切除術
150099110	鼻茸摘出術
150099210	上顎洞性後鼻孔ポリープ切除術
150099310	鼻副鼻腔腫瘍摘出術
150099410	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（切除）
150099510	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（全摘）
150099710	経鼻腔的翼突管神経切除術
150099810	萎縮性鼻炎手術（両側）
150099910	後鼻孔閉鎖症手術（単純）（膜性閉鎖）
150100010	後鼻孔閉鎖症手術（複雑）（骨性閉鎖）
150100110	鼻中隔矯正術
150100250	出血性鼻茸摘出術
150100410	上顎洞開窓術
150100510	前頭洞充填術
150100610	上顎洞血瘤腫手術
150100710	上顎洞根治手術
150100850	鼻内上顎洞根治手術
150100950	副鼻腔炎術後後出血止血法
150101010	鼻内篩骨洞根治手術
150101110	篩骨洞根治手術
150101210	鼻内前頭洞根治手術
150101410	前頭洞根治手術
150101510	鼻内蝶形洞根治手術
150101610	上顎洞篩骨洞根治手術
150101710	前頭洞篩骨洞根治手術
150101810	篩骨洞蝶形洞根治手術
150101910	上顎洞篩骨洞蝶形洞根治手術
150102050	鼻内前頭洞・篩骨洞・上顎洞根治手術と篩骨洞根治手術
150102110	上顎洞篩骨洞前頭洞根治手術
150102210	前頭洞篩骨洞蝶形洞根治手術
150102310	汎副鼻腔根治手術
150102510	経上顎洞的翼突管神経切除術
150102710	咽後膿瘍切開術
150102810	扁桃周囲膿瘍切開術
150103010	咽頭異物摘出術（簡単）
150103110	咽頭異物摘出術（複雑）
150103210	上咽頭ポリープ摘出術（経口腔）
150103310	アデノイド切除術
150103410	上咽頭腫瘍摘出術（経口腔）
150103510	上咽頭腫瘍摘出術（経鼻腔）
150103610	上咽頭腫瘍摘出術（経副鼻腔）
150103710	上咽頭腫瘍摘出術（外切開）
150103810	中咽頭腫瘍摘出術（経口腔）
150103910	中咽頭腫瘍摘出術（外切開）

150104010	下咽頭腫瘍摘出術（経口腔）
150104110	下咽頭腫瘍摘出術（外切開）
150104210	咽頭悪性腫瘍手術
150104410	鼻咽腔線維腫手術（切除）
150104510	鼻咽腔線維腫手術（摘出）
150104610	上咽頭悪性腫瘍手術
150104810	口蓋扁桃手術（切除）
150104910	口蓋扁桃手術（摘出）
150105010	舌扁桃切除術
150105310	過長茎状突起切除術
150105510	上咽頭形成手術
150105610	咽頭瘻閉鎖術
150105750	咽頭皮膚瘻孔閉鎖術
150105810	喉頭切開・截開術
150106010	喉頭膿瘍切開術
150106110	喉頭浮腫乱切術
150106210	気管切開術
150106310	喉頭粘膜焼灼術（直達鏡）
150106410	喉頭粘膜下異物挿入術
150106750	喉頭ポリープ切除術（間接喉頭鏡）
150106850	喉頭ポリープ切除術（直達喉頭鏡）
150106910	喉頭異物摘出術（直達鏡によらない）
150107010	喉頭異物摘出術（直達鏡）
150107110	気管異物除去術（直達鏡）
150107210	気管異物除去術（開胸手術）
150107310	喉頭蓋切除術
150107450	喉頭蓋嚢腫摘出術
150107510	喉頭腫瘍摘出術（間接喉頭鏡）
150107610	喉頭腫瘍摘出術（直達鏡）
150107810	喉頭悪性腫瘍手術（切除）
150107910	喉頭悪性腫瘍手術（全摘）
150108110	喉頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む）
150108210	下咽頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む）
150108410	気管切開孔閉鎖術
150108550	気管縫合術
150108610	喉頭横隔膜切除術
150108710	喉頭狭窄症手術（前方開大術）
150108810	喉頭狭窄症手術（前壁形成手術）
150108910	喉頭狭窄症手術（Tチューブ挿入術）
150109010	気管狭窄症手術
150109110	喉頭形成手術（人工形成材料挿置術、軟骨片挿置術）
150109310	喉頭形成手術（筋弁転位術、軟骨転位術、軟骨除去術）
150109610	気管口狭窄拡大術
150109710	縦隔気管口形成手術
150109810	気管形成手術（管状気管、気管移植等）（頸部から）

150109910	気管形成手術（開胸又は胸骨正中切開）
150110010	抜歯手術（乳歯）
150110110	抜歯手術（前歯）
150110210	抜歯手術（臼歯）
150110310	抜歯手術（難抜歯）
150110410	抜歯手術（埋伏歯）
150110610	口蓋腫瘍摘出術（口蓋骨に及ぶ）
150110710	顎・口蓋裂形成手術（軟口蓋のみ）
150110810	顎・口蓋裂形成手術（硬口蓋に及ぶ）
150110910	顎・口蓋裂形成手術（顎裂を伴う）（片側）
150111010	口腔底膿瘍切開術
150111110	口腔底腫瘍摘出術
150111210	口腔底悪性腫瘍手術
150111410	頬粘膜腫瘍摘出術
150111510	頬粘膜悪性腫瘍手術
150111710	舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）
150111810	舌腫瘍摘出術（その他）
150111910	舌根甲状腺腫摘出術
150112050	甲状舌管嚢胞摘出術
150112110	舌悪性腫瘍手術（切除）
150112210	舌悪性腫瘍手術（亜全摘）
150112710	舌小帯形成手術
150112810	口唇小帯形成手術
150112910	口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）
150113010	口唇腫瘍摘出術（その他）
150113110	口唇悪性腫瘍手術
150113310	頬腫瘍摘出術（その他のもの）
150113410	頬悪性腫瘍手術
150113610	口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術
150114010	口唇裂形成手術（口唇のみ）（片側）
150114110	口唇裂形成手術（口唇裂鼻形成を伴う）（片側）
150114210	口唇裂形成手術（鼻腔底形成を伴う）（片側）
150114350	軟口蓋形成手術
150114450	鼻咽腔閉鎖術
150114510	頬骨骨折観血的整復術
150114610	下顎骨折非観血的整復術
150114710	下顎骨折観血的手術（片側）
150114810	顎関節脱臼非観血的整復術
150114910	顎関節脱臼観血的手術
150115010	上顎骨折非観血的整復術
150115110	上顎骨折観血的手術
150115210	顔面多発骨折観血的手術
150115310	術後性上顎嚢胞摘出術
150115410	顎骨腫瘍摘出術（長径3cm未満）
150115510	顎骨腫瘍摘出術（長径3cm以上）

150115610	下顎骨部分切除術
150115710	下顎骨離断術
150115810	下顎骨悪性腫瘍手術（切除）
150115910	下顎骨悪性腫瘍手術（切断）
150116110	上顎骨切除術
150116210	上顎骨全摘術
150116310	上顎骨悪性腫瘍手術（搔爬）
150116410	上顎骨悪性腫瘍手術（切除）
150116510	上顎骨悪性腫瘍手術（全摘）
150116710	上顎骨形成術（単純な場合）
150116810	上顎骨形成術（複雑な場合及び2次的再建の場合）
150116910	顎関節形成術
150117010	がま腫切開術
150117110	唾液腺膿瘍切開術
150117210	唾石摘出術（表在性）
150117310	唾石摘出術（深在性）
150117410	がま腫摘出術
150117510	舌下腺腫瘍摘出術
150117610	顎下腺腫瘍摘出術
150117710	顎下腺摘出術
150117810	顎下腺悪性腫瘍手術
150118110	耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）
150118210	耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺深葉摘出術）
150118310	耳下腺悪性腫瘍手術（切除）
150118410	耳下腺悪性腫瘍手術（全摘）
150118610	唾液腺管形成手術
150118710	唾液腺管移動術（上顎洞内）
150118810	唾液腺管移動術（結膜囊内）
150118910	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）
150119010	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）
150119310	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）
150119410	甲状腺悪性腫瘍手術（切除）
150119510	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）
150119710	副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（副甲状腺摘出術）
150119810	副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術（副甲状腺全摘、一部筋肉移植）
150119910	副甲状腺（上皮小体）悪性腫瘍手術（広汎）
150120010	斜角筋切断術
150120110	頸瘻摘出術
150120210	頸嚢摘出術
150120310	頸肋切除術
150120410	頸部郭清術（片）
150120610	頸部悪性腫瘍手術
150120810	筋性斜頸手術
150120910	乳腺膿瘍切開術
150121110	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）

150121210	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）
150121410	乳房切除術
150121550	乳癌冷凍凝固摘出術
150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）
150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（胸筋切除を併施しない）
150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（胸筋切除を併施）
150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）
150122150	乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術
150122210	胸壁膿瘍切開術
150122310	肋骨・胸骨カリエス手術
150122410	肋骨骨髓炎手術
150122710	胸壁冷膿瘍手術
150122850	流注膿瘍切開搔爬術
150123010	肋骨骨折観血的手術
150123210	肋骨切除術（第1肋骨）
150123310	肋骨切除術（その他の肋骨）
150123450	肋骨2本以上切除（第1肋骨含む）と胸骨搔爬
150123550	肋骨2本以上切除（その他の肋骨）と胸骨搔爬
150123610	胸骨切除術
150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）
150124150	胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
150124250	胸骨悪性腫瘍摘出術（その他）
150124310	胸壁腫瘍摘出術
150124410	胸壁瘻手術
150124510	漏斗胸手術（胸骨挙上法）
150124610	漏斗胸手術（胸骨翻転法）
150124710	試験開胸術
150124850	開胸のみで手術中止
150125610	骨膜外、胸膜外充填術
150125910	胸腔内（胸膜内）血腫除去術
150126610	膿胸胸膜、胸膜胼胝切除術（1肺葉に相当する範囲以内）
150126710	膿胸胸膜、胸膜胼胝切除術（1肺葉に相当する範囲を超える）
150127210	膿胸腔有茎筋肉弁充填術
150127350	試験的開胸開腹術
150127510	胸郭形成手術（膿胸手術）（肋骨切除を主とする）
150127610	胸郭形成手術（膿胸手術）（胸膜胼胝切除を併施）
150127810	胸郭形成手術（肺切除後遺残腔を含む）
150128210	乳糜胸手術
150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
150128510	縦隔郭清術
150128610	縦隔悪性腫瘍手術
150128810	肺結核空洞吸引術（モナルジー法）
150128910	肺結核空洞切開術
150129010	肺膿瘍切開排膿術

150129110	気管支狭窄拡張術（気管支鏡）
150129210	気管支異物除去術（直達鏡）
150129310	気管支異物除去術（開胸手術）
150129410	気管支腫瘍摘出術（気管支鏡又は気管支ファイバースコープ）
150129710	肺切除術（楔状部分切除）
150129810	肺切除術（区域切除）（1肺葉に満たない）
150129910	肺切除術（肺葉切除）
150130010	肺切除術（複合切除）（1肺葉を超える）
150130110	肺切除術（1側肺全摘）
150130350	心筋損傷、心嚢、横隔膜の縫合、胃腹腔内還納等の手術
150130650	肺切除と胸郭形成手術
150130810	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又はこれに満たない）
150130910	肺悪性腫瘍手術（1側肺全摘又は1肺葉を超える）
150131210	肺剥皮術
150131310	気管支瘻閉鎖術
150131450	一次的胸郭形成手術、肺尖剥離、空洞切開術及び空洞縫縮術
150131610	肺縫縮術
150131710	気管支形成手術（楔状切除術）
150131810	気管支形成手術（輪状切除術）
150131910	気管支形成手術（気管分岐部切除術）
150132010	気管支形成手術（気管分岐部切除術）（再建を伴う）
150132110	食道縫合術（穿孔、損傷）（頸部手術）
150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
150132510	食道周囲膿瘍切開誘導術（胸骨切開）
150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
150132710	食道狭窄拡張術（内視鏡）
150132810	食道狭窄拡張術（食道ブジー法）
150133010	食道異物摘出術（頸部手術）
150133110	食道異物摘出術（開胸手術）
150133210	食道異物摘出術（開腹手術）
150133610	食道憩室切除術（頸部手術）
150133710	食道憩室切除術（開胸）
150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
150134450	胸壁外皮膚管形成吻合術（頸部、胸部、腹部操作）
150135010	先天性食道閉鎖症根治手術
150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
150135510	食道アカラシア形成手術

150135710	食道切除後2次の再建術（皮弁形成）
150135810	食道切除後2次の再建術（消化管利用）
150136110	食道・胃静脈瘤手術（血行遮断術を主とする）
150136210	食道・胃静脈瘤手術（食道離断術を主とする）
150136350	食道静脈瘤手術（開腹）
150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）
150136610	横隔膜縫合術（経胸）
150136710	横隔膜縫合術（経腹）
150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
150136950	横隔膜レラクサチオ手術（経胸）
150137050	横隔膜レラクサチオ手術（経腹）
150137150	横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）
150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
150137810	後胸骨ヘルニア手術
150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
150138210	心膜縫合術
150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
150138410	心膜切開術
150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
150138710	収縮性心膜炎手術
150138810	体動脈肺動脈短絡手術（ブラロック手術、ウォーターストン手術）
150139110	肺動脈絞扼術
150139310	閉鎖式僧帽弁交連切開術
150139410	肺動脈狭窄症手術（肺動脈弁切開術（単独））
150139510	大血管転位症手術（心室中隔欠損閉鎖術を伴う）（1歳以上）
150139610	心房中隔欠損作成術（経皮的心房中隔欠損作成術（ラシュキンド法））
150140010	開胸心臓マッサージ
150140110	ペースメーカー移植術（心筋電極）
150140210	ペースメーカー移植術（経静脈電極）
150140410	ペースメーカー交換術
150140510	試験開心術
150140610	心腔内異物除去術
150140710	心房内血栓除去術
150140810	心腫瘍摘出術（単独）
150141010	弁形成術（1弁）
150141310	三尖弁閉鎖症手術（両方向性グレン手術）
150141410	弁置換術（1弁）
150141510	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術
150141610	弁置換術（2弁）
150141710	弁置換術（3弁）
150141810	心房中隔欠損閉鎖術（単独）

150141910	心房中隔欠損閉鎖術（肺動脈弁狭窄を合併する）
150142050	三心房心手術
150142110	心室中隔欠損閉鎖術（単独）
150142210	心室中隔欠損閉鎖術（肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴う）
150142310	心室中隔欠損閉鎖術（大動脈弁形成を伴う）
150142410	心房中隔欠損作成術（心房中隔欠損作成術）
150142510	大血管転位症手術（マスタード・セニング手術）（1歳以上）
150142810	心室中隔欠損閉鎖術（右室流出路形成を伴う）
150142910	肺動脈狭窄症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150143010	心室瘤切除術（単独）
150143110	心室瘤切除術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150143610	大動脈弁狭窄直視下切開術
150143710	大動脈弁上狭窄手術
150143810	大動脈弁下狭窄切除術
150144010	バルサルバ洞動脈瘤手術（単独）
150144110	大動脈肺動脈中隔欠損症手術（単独）
150144310	肺動脈塞栓除去術
150144550	右室二腔症手術
150144810	肺静脈血栓除去術
150144910	肺静脈形成術
150145010	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）
150145110	肺静脈還流異常症手術（部分肺静脈還流異常）
150145310	大血管転位症手術（ジャテーン手術）（1歳以上）
150145410	冠動脈起始異常症手術
150145510	冠動静脈瘻開胸の遮断術
150145710	冠動脈形成術（血栓内膜摘除）（1箇所）
150145810	冠動脈形成術（血栓内膜摘除）（2箇所以上）
150145910	冠動脈、大動脈バイパス移植術（1吻合）
150146010	冠動脈、大動脈バイパス移植術（2吻合以上）
150146350	自家血管採取料
150146450	小児自家血管採取料
150146510	ファロー四徴症手術（右室流出路形成術を伴う）
150146610	ファロー四徴症手術（末梢肺動脈形成術を伴う）
150146710	単心室症手術（心室中隔造成術）（1歳以上）
150146810	両大血管右室起始症手術（右室流出路形成を伴う）
150146910	両大血管右室起始症手術（単独）
150147010	大血管転位症手術（ラステリ手術を伴う）（1歳以上）
150147310	総動脈幹症手術
150147410	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖術（単独））
150147510	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖及び弁形成術）
150147610	人工心肺（初日）
150147910	人工心肺（2日目以降）
150148010	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）（初日）
150148110	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）（2日目以降）
150148210	血管露出術

150148310	血管結紮術（開胸を伴う）
150148410	血管結紮術（開腹を伴う）
150148610	血管結紮術（その他）
150148750	血管縫合術（簡単）
150148850	内シャント血栓除去術
150148910	動脈塞栓除去術（開腹を伴う）
150149010	動脈塞栓除去術（開胸を伴う）
150149110	動脈塞栓除去術（その他）（観血的）
150149250	動脈血栓除去術（開腹を伴う）
150149350	動脈血栓除去術（その他）（観血的）
150149410	動脈血栓内膜摘出術（大動脈に及ぶ）
150149510	動脈血栓内膜摘出術（その他）
150150010	大動脈瘤切除術（弓部大動脈）
150150110	大動脈瘤切除術（下行大動脈）
150150310	動脈形成術、吻合術（頭蓋内動脈）
150150410	動脈形成術、吻合術（胸腔内動脈）（大動脈を除く）
150150510	動脈形成術、吻合術（腹腔内動脈）（大動脈を除く）
150150610	動脈形成術、吻合術（その他の動脈）
150151150	内シャント設置術
150151250	外シャント設置術
150151350	四肢の血管吻合術
150151450	血管吻合術及び神経再接合術（上腕動脈、正中神経及び尺骨神経）
150151710	末梢動静脈瘻造設術
150151810	動脈管開存症手術（動脈管開存閉鎖術（直視下））
150151910	大動脈縮窄（離断）症手術（単独）
150152010	腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡張術）
150152210	血管移植術、バイパス移植術（大動脈）
150152310	血管移植術、バイパス移植術（胸腔内動脈）
150152410	血管移植術、バイパス移植術（腹腔内動脈）
150152510	血管移植術、バイパス移植術（頭、頸部動脈）
150152710	血管移植術、バイパス移植術（その他の動脈）
150153450	動脈間バイパス造成術（自家血管使用）
150153510	血管塞栓術（頭部）
150153750	血管塞栓術（腹腔内）
150153810	四肢の血管拡張術・血栓除去術
150153910	経皮的冠動脈形成術
150154010	下肢静脈瘤手術（抜去切除術）
150154150	大伏在静脈抜去術
150154210	静脈血栓摘出術（開腹を伴う）
150154310	静脈血栓摘出術（その他）（観血的）
150154430	総腸骨静脈及び股静脈血栓除去術
150154510	門脈体循環静脈吻合術（門脈圧亢進症手術）
150154610	胸管内頸静脈吻合術
150154710	静脈形成術、吻合術（胸腔内静脈）
150154810	静脈形成術、吻合術（腹腔内静脈）

150154910	静脈形成術、吻合術（その他の静脈）
150155410	リンパ管腫摘出術（長径5cm未満）
150155510	リンパ管腫摘出術（長径5cm以上）
150155610	リンパ節摘出術（長径3cm未満）
150155710	リンパ節摘出術（長径3cm以上）
150156210	リンパ節群郭清術（顎下部又は舌下部）（浅在性）
150156410	リンパ節群郭清術（顎部）（深在性）
150156510	リンパ節群郭清術（鎖骨上窩及び下窩）
150156610	リンパ節群郭清術（腋窩）
150156710	リンパ節群郭清術（胸骨旁）
150156810	リンパ節群郭清術（鼠径部及び股部）
150156910	リンパ節群郭清術（後腹膜）
150157150	頸動脈球摘出術
150157510	リンパ管吻合術
150157650	脾腎静脈吻合術
150157810	腹壁膿瘍切開術
150157910	腹壁瘻手術（腹壁に限局）
150158010	腹壁瘻手術（腹腔に通ずる）
150158210	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない）
150158310	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要とする）
150158410	腹壁瘢痕ヘルニア手術
150158510	半月状線ヘルニア手術
150158610	白線ヘルニア手術
150158710	腹直筋離開手術
150158810	臍ヘルニア手術
150158910	臍帯ヘルニア手術
150159010	鼠径ヘルニア手術
150159110	大腿ヘルニア手術
150159210	腰ヘルニア手術
150159310	閉鎖孔ヘルニア手術
150159410	内ヘルニア手術
150159710	胸水・腹水濾過濃縮再静注法
150160010	試験開腹術
150160110	限局性腹腔膿瘍手術（横隔膜下膿瘍）
150160210	限局性腹腔膿瘍手術（ダグラス窩膿瘍）
150160310	限局性腹腔膿瘍手術（虫垂周囲膿瘍）
150160410	限局性腹腔膿瘍手術（その他）
150160610	骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術
150160810	急性汎発性腹膜炎手術
150160950	結核性腹膜炎手術
150161110	腸間膜損傷手術（縫合、修復のみ）
150161310	腸間膜損傷手術（腸管切除を伴う）
150161410	大網切除術
150161510	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わない）
150161610	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴う）

150162150	膀胱後腫瘍摘出術（腸管切除を伴わない）
150162250	膀胱後腫瘍摘出術（腸管切除を伴う）
150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
150162610	臍腸管瘻手術（腸管切除を伴わない）
150162710	臍腸管瘻手術（腸管切除を伴う）
150162910	胃血管結紮術（急性胃出血手術）
150163010	胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）
150163110	胃切開術
150163710	胃吊上げ固定術（胃下垂症手術）
150164110	胃捻転症手術
150164210	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術（開腹）
150164410	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他）
150164850	内視鏡的消化管止血術
150165050	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術
150165210	胃切除術（単純切除術）
150165650	十二指腸窓（内方）憩室摘出術
150165850	胆嚢摘出術と十二指腸空腸吻合術
150165910	胃縮小術
150166110	胃全摘術（単純全摘術）
150168010	胃切除術（悪性腫瘍手術）
150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）
150168450	副腎腫瘍摘出術と脾摘出術（皮質腫瘍）
150169950	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む））
150170050	胆管悪性腫瘍手術
150170110	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（単独）
150170210	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（ドレナージを併施）
150170310	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）
150170450	迷走神経切断術と幽門形成術（十二指腸潰瘍）
150170550	迷走神経切断術、幽門形成術及び胃瘻造設術（十二指腸潰瘍）
150170610	食道下部迷走神経選択的切除術（単独）
150170710	食道下部迷走神経選択的切除術（ドレナージを併施）
150170810	食道下部迷走神経選択的切除術（胃切除術を併施）
150171210	胃冠状静脈結紮及び切除術
150171310	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）
150171510	十二指腸空腸吻合術
150171610	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む）
150171710	胃瘻閉鎖術
150171810	幽門形成術（粘膜外幽門筋切開術を含む）
150171910	噴門形成術
150172010	胃横断術（静脈瘤手術）
150172110	胆管切開術
150172210	胆嚢切開結石摘出術
150172310	胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含まない）
150172410	胆嚢摘出術
150173110	胆管形成手術（胆管切除術を含む）

150173210	総胆管拡張症手術
150173710	胆嚢胃（腸）吻合術
150173910	総胆管胃（腸）吻合術
150174110	胆嚢外瘻造設術
150174210	胆管外瘻造設術（開腹）
150174310	胆管外瘻造設術（経皮経肝）
150174550	経皮的胆管ドレナージ術
150174810	先天性胆道閉鎖症手術（1歳以上）
150174910	内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術）
150175250	バスケットワイヤーカテーテルのみを用いて結石摘出
150175310	内視鏡的胆道拡張術
150175410	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）
150175610	肝縫合術
150175710	肝膿瘍切開術（開腹）
150175810	肝膿瘍切開術（開胸）
150175910	肝嚢胞切開又は縫縮術
150176110	肝内結石摘出術（開腹）
150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
150176410	肝切除術（部分切除）（1歳以上）
150176510	肝切除術（区域切除・亜区域切除）（1歳以上）
150176610	肝切除術（葉切除）（1歳以上）
150176710	肝切除術（拡大葉切除）（1歳以上）
150176810	肝切除術（拡大葉切除に血行再建を併せ行う）（1歳以上）
150177210	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術
150177310	肝内胆管外瘻造設術（開腹）
150177410	肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）
150177810	膵結石手術（膵切開）
150177910	膵結石手術（経十二指腸乳頭）
150178110	膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除）
150178210	膵体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
150178410	膵頭部腫瘍切除術（膵頭十二指腸切除術）
150178710	膵全摘術
150179010	膵嚢胞胃（腸）吻合術
150179110	膵管空腸吻合術
150179210	膵嚢胞外瘻造設術（内視鏡）
150179310	膵嚢胞外瘻造設術（開腹）
150179410	膵管外瘻造設術
150179550	膵管誘導手術
150179610	膵瘻閉鎖術
150179710	脾縫合術（部分切除を含む）
150179810	脾摘出術
150180010	破裂腸管縫合術
150180110	腸切開術
150180210	腸管癒着症手術
150180350	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）

150180450	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（非観血的）
150180550	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）
150180650	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）
150180750	腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）
150180850	腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）
150180950	腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
150181010	腸重積症整復術（非観血的）
150181110	腸重積症整復術（観血的）
150181210	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）
150181610	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）
150181710	結腸切除術（小範囲切除）
150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
150182150	ピックレル氏手術
150183110	結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）
150183410	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）
150183510	結腸ポリープ切除術（開腹）
150183650	内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm未満）
150184110	腸吻合術
150184310	腸瘻造設術
150184410	虫垂瘻造設術
150184510	人工肛門造設術
150184610	腹壁外腸管前置術
150184710	腸狭窄部切開縫合術
150184810	腸閉鎖症手術（腸管切除を伴わない）
150184910	腸閉鎖症手術（腸管切除を伴う）
150185210	小腸瘻閉鎖術（腸管切除を伴わない）
150185310	小腸瘻閉鎖術（腸管切除を伴う）
150185410	結腸瘻閉鎖術（腸管切除を伴わない）
150185510	結腸瘻閉鎖術（腸管切除を伴う）
150185610	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴わない）
150185710	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）
150185810	盲腸縫縮術
150185910	腸回転異常症手術
150186010	先天性巨大結腸症手術
150186110	人工肛門形成術（開腹を伴う）
150186210	人工肛門形成術（その他）
150186350	人工肛門拡張又は整形（開腹を伴う）
150186450	人工肛門拡張又は整形（その他）
150186510	直腸周囲膿瘍切開術
150186610	直腸異物除去術（経肛門）（内視鏡）
150186710	直腸異物除去術（開腹）
150186810	直腸腫瘍摘出術（経肛門）
150186910	直腸腫瘍摘出術（経括約筋）

150187010	直腸腫瘍摘出術（経腹及び経肛）
150187110	直腸切除・切断術（切除術）
150187210	直腸切除・切断術（切断術）
150187510	直腸狭窄形成手術
150187610	直腸脱手術（経会陰によるもの）
150187710	直腸脱手術（直腸挙上固定）
150187810	直腸脱手術（骨盤底形成）
150187910	直腸脱手術（腹会陰から）
150188150	子宮脱手術及び卵管結紮術
150188210	痔核手術（硬化療法）
150188310	痔核手術（結紮術）
150188410	痔核手術（焼灼術）
150188510	痔核手術（血栓摘出術）
150188610	痔核手術（根治手術）
150188750	肛門括約筋切開術
150188850	脱肛根治手術
150188950	モルガニー氏洞及び肛門管切開術
150189050	肛門部皮膚剥離切除術
150189350	ミリガン・モーガン手術
150189450	ホワイトヘッド手術
150189550	痔核手術後狭窄拡張手術
150189610	裂肛根治手術
150189710	肛門潰瘍根治手術
150189810	肛門周囲膿瘍切開術
150189910	痔瘻根治手術（単純）
150190010	痔瘻根治手術（複雑）
150190150	高位直腸瘻手術
150190210	肛門良性腫瘍切除術
150190310	肛門ポリープ切除術
150190410	肛門尖圭コンジローム切除術
150190550	腔ポリープ切除術
150190650	腔壁尖圭コンジローム切除術
150190710	肛門悪性腫瘍手術（切除）
150190910	肛門拡張術（観血的）
150191010	肛門括約筋形成手術（瘢痕切除）
150191110	肛門括約筋形成手術（縫縮）
150191210	肛門括約筋形成手術（組織置換）
150191310	鎖肛手術（肛門膜状閉鎖切開）
150191410	鎖肛手術（会陰式）
150191510	鎖肛手術（仙骨会陰式）（1歳以上）
150191610	鎖肛手術（腹会陰式）（1歳以上）
150191710	鎖肛手術（腹仙骨式）（1歳以上）
150191810	肛門形成手術（肛門狭窄形成手術）
150191910	肛門形成手術（直腸粘膜脱形成手術）
150192010	毛嚢手術

150192110	毛巢瘻手術
150192250	毛巢洞手術
150192310	副腎摘出術
150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
150193010	腎破裂縫合術
150193150	腎破裂手術
150193210	腎周囲膿瘍切開術
150193410	腎切半術
150193510	癒合腎離断術
150193610	腎被膜剝離術
150193710	腎固定術
150193810	腎切石術
150194010	経皮的尿路結石除去術
150194210	経皮的腎盂腫瘍切除術
150194310	経皮的尿管拡張術
150194410	腎盂切石術
150194510	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
150194610	腎部分切除術
150194810	腎嚢胞切除縮小術
150195010	腎摘出術
150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳以上）
150195610	経皮的腎（腎盂）瘻造設術
150195910	腎（腎盂）皮膚瘻閉鎖術
150196010	腎（腎盂）腸瘻閉鎖術
150196110	腎盂形成手術
150196210	移植用腎採取術（生体）
150196310	同種死体腎移植術
150196410	生体腎移植術（提供者の療養上の費用）
150196610	経尿道的尿路結石除去術
150196750	経尿道的尿管結石摘出（透視下にバスケットワイヤーカテーテル使用）
150196810	尿管切石術（上部及び中部）
150196910	尿管切石術（膀胱近接部）
150197010	経尿道的尿管狭窄拡張術
150197110	残存尿管摘出術
150197210	尿管膀胱吻合術
150197310	尿管尿管吻合術
150197410	尿管腸吻合術
150197510	尿管腸膀胱吻合術
150197750	腎空洞切開術・腎盂尿管移行部形成術
150197810	尿管皮膚瘻造設術
150197910	尿管皮膚瘻閉鎖術
150198010	尿管腸瘻閉鎖術
150198110	尿管腔瘻閉鎖術
150198310	尿管口形成手術
150198410	膀胱破裂閉鎖術

150198510	膀胱周囲膿瘍切開術
150198610	膀胱内凝血除去術
150198710	膀胱結石摘出術（経尿道的手術）
150198810	膀胱結石摘出術（膀胱高位切開術）
150198910	膀胱異物摘出術（経尿道的手術）
150199010	膀胱異物摘出術（膀胱高位切開術）
150199150	経尿道的尿管凝血除去術（バスケットワイヤーカテーテル使用）
150199210	膀胱壁切除術
150199310	膀胱憩室切除術
150199450	経尿道的電気凝固術
150199510	膀胱単純摘除術（腸管利用の尿路変更を行う）
150199610	膀胱単純摘除術（その他）
150200450	膀胱脱手術（その他）
150200510	膀胱悪性腫瘍手術（切除）
150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘）（尿路変更を行わない）
150201010	尿膜管摘出術
150201110	膀胱瘻造設術
150201510	膀胱皮膚瘻閉鎖術
150201610	膀胱腔瘻閉鎖術
150201710	膀胱腸瘻閉鎖術
150201810	膀胱子宮瘻閉鎖術
150201950	膀胱尿管逆流手術
150202010	ポアリー氏手術
150202110	腸管利用膀胱拡大術
150202410	尿道周囲膿瘍切開術
150202510	外尿道口切開術
150202610	前部尿道結石摘出術
150202710	後部尿道結石摘出術
150202810	前部尿道異物摘出術
150202910	後部尿道異物摘出術
150203010	外尿道腫瘍切除術
150204810	尿道下裂形成手術
150204950	陰茎形成術
150205010	尿道上裂形成手術
150205710	尿道狭窄内視鏡手術
150205810	女子尿道脱手術
150206010	尿失禁手術（恥骨固定式膀胱頸部吊上術を行うもの）
150206310	陰茎尖圭コンジローム切除術
150206410	陰茎全摘術
150206510	陰茎切断術
150206650	陰茎様陰核形成手術
150206710	陰茎悪性腫瘍手術（陰茎切除）
150206810	陰茎悪性腫瘍手術（陰茎全摘）
150207110	包茎手術（背面切開術）
150207210	包茎手術（環状切除術）

150207310	精管切断、切除術（両側）
150207510	精巣摘出術
150207910	精巣上体摘出術
150208410	精索静脈瘤手術
150208510	陰嚢水腫手術（その他）
150208610	停留精巣固定術
150208710	精管形成手術
150208810	前立腺膿瘍切開術
150209010	前立腺被膜下摘出術
150209110	経尿道的前立腺手術
150209310	前立腺悪性腫瘍手術
150209510	バルトリン腺膿瘍切開術
150209610	処女膜切開術
150210510	処女膜切除術
150210610	輪状処女膜切除術
150210710	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む）
150210910	女子外性器腫瘍摘出術
150211010	女子外性器悪性腫瘍手術（切除）
150211110	女子外性器悪性腫瘍手術（皮膚移植（筋皮弁使用））
150211350	腔絨毛性腫瘍摘出術
150211410	会陰形成手術（筋層に及ばない）
150211510	会陰形成手術（筋層に及ぶ）
150211650	癒合陰唇形成手術（筋層に及ばない）
150211750	癒合陰唇形成手術（筋層に及ぶ）
150211810	腔壁裂創縫合術（分娩時を除く）（前壁裂創）
150211910	腔壁裂創縫合術（分娩時を除く）（後壁裂創）
150212010	腔壁裂創縫合術（分娩時を除く）（前後壁裂創）
150212110	腔壁裂創縫合術（分娩時を除く）（腔円蓋に及ぶ裂創）
150212310	腔閉鎖術（その他）
150212410	腔式子宮旁結合織炎（膿瘍）切開術
150212650	後腔円蓋切開（子宮外妊娠）
150212810	腔中隔切除術（不全隔）
150212910	腔中隔切除術（全中隔）
150213010	腔壁腫瘍摘出術
150213150	腔壁嚢腫切除術
150213210	腔壁悪性腫瘍手術
150213410	腔腸瘻閉鎖術
150213610	造腔術（拡張器利用）
150213710	造腔術（遊離植皮）
150213810	造腔術（腸管形成）
150213950	腔閉鎖症術（拡張器利用）
150214050	腔閉鎖症術（遊離植皮）
150214150	腔閉鎖症術（腸管形成）
150214510	腔壁形成手術
150214610	子宮内膜搔爬術

150214710	クレニッヒ手術
150214810	子宮位置矯正術（アレキサンダー手術）
150214910	子宮位置矯正術（開腹による位置矯正術）
150215010	子宮位置矯正術（癒着剥離矯正術）
150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
150215210	子宮脱手術（ハルバン・シャウタ手術）
150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
150216010	子宮頸管ポリープ切除術
150216150	子宮腔部冷凍凝固術
150216510	子宮頸部（腔部）切除術
150216650	子宮頸部異形成上皮レーザー照射治療
150216810	子宮息肉様筋腫摘出術（腔式）
150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
150217410	子宮腔上部切断術
150217510	子宮全摘術
150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
150217710	子宮悪性腫瘍手術
150218210	腹壁子宮瘻手術
150218310	重複子宮手術
150218410	双角子宮手術
150218710	子宮頸管形成手術
150218850	子宮頸管閉鎖症手術（非観血的）
150218950	子宮頸管閉鎖症手術（観血的）
150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
150219410	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）
150219650	卵管口切開術（開腹）
150219710	卵巣部分切除術（開腹）
150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
150220010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
150220710	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）
150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
150221010	分娩時頸部切開術
150221110	骨盤位娩出術
150221210	吸引娩出術
150221310	低位（出口）鉗子娩出術
150221410	中位鉗子娩出術
150221510	会陰（陰門）切開及び縫合術（分娩時）
150221610	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）（筋層に及ぶ）

150221710	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）（肛門に及ぶ）
150221810	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）（腔円蓋に及ぶ）
150221910	会陰（腔壁）裂創縫合術（分娩時）（直腸裂創を伴う）
150222010	頸管裂創縫合術（分娩時）
150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
150222310	胎児縮小術
150222410	臍帯還納術
150222550	脱垂肢整復術
150222610	子宮双手圧迫術
150222710	胎盤用手剥離術
150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
150223010	子宮破裂手術（その他）
150223110	妊娠子宮摘出術（ポロー手術）
150223210	子宮内反症整復手術（腔式）（観血的）
150223310	子宮内反症整復手術（腹式）（観血的）
150223410	子宮頸管縫縮術（マクドナルド法）
150223510	子宮頸管縫縮術（シロッカー法）
150223610	子宮頸管縫縮術（ラッシュュ法）
150223710	子宮頸管縫縮術（縫縮解除術）（チューブ抜去術）
150223910	胎児外回転術
150224010	胎児内（双合）回転術
150224110	流産手術（妊娠11週まで）
150224210	流産手術（妊娠11週超21週まで）
150224410	胞状奇胎除去術
150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
150224610	新生児仮死蘇生術（仮死第1度）
150224710	新生児仮死蘇生術（仮死第2度）
150234450	気管支肺胞洗浄術
150242350	子宮内反症整復手術（腔式）（非観血的）
150242450	尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）
150242550	経皮的僧帽弁拡張術
150242910	難治性骨折電磁波電気治療法
150243010	鋼線等による直達牽引
150243210	体外式脊椎固定術
150243410	脳動脈瘤被包術（1箇所）
150243510	脳動脈瘤被包術（2箇所以上）
150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1箇所）
150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2箇所以上）
150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）
150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）
150244010	脊髄ドレナージ術
150244110	網膜光凝固術（通常）
150244210	網膜光凝固術（その他特殊）

150244910	大動脈瘤切除術（上行大動脈）（心臓弁置換（形成）・冠動脈再建）
150245010	大動脈瘤切除術（上行大動脈）（その他）
150245110	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（分枝血管再建）
150245210	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（その他）
150245310	骨盤内臓全摘術
150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
150245610	副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍）（褐色細胞腫）
150245810	膀胱腫瘍摘出術
150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘）（尿管S状結腸吻合利用で尿路変更を行う）
150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘）（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う）
150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘）（代用膀胱利用で尿路変更を行う）
150246210	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）
150246310	尿道悪性腫瘍摘出術（摘出）
150246410	尿道悪性腫瘍摘出術（内視鏡）
150246510	尿道悪性腫瘍摘出術（尿路変更を行う場合）
150246810	前部尿道形成手術
150246910	後部尿道形成手術
150248250	慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）
150248350	汎光凝固術
150248450	口蓋扁桃切除術（翌日以降）後出血止血術
150248550	口蓋扁桃摘出術（翌日以降）後出血止血術
150248950	尿管剥離術
150249050	内反足足板挺子固定
150251110	坐骨ヘルニア手術
150251210	会陰ヘルニア手術
150251810	神経血管柄付植皮術（足）
150252110	腋臭症手術（その他）
150252810	増殖性硝子体網膜症手術
150253010	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）
150253110	小耳症手術（軟骨移植による耳介形成手術）
150253210	小耳症手術（耳介挙上）
150253310	舌形成手術（巨舌症手術）
150253410	先天性気管狭窄症手術
150253510	食道腫瘍摘出術（内視鏡）
150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
150253810	不整脈手術（副伝導路切断術）
150253910	不整脈手術（心室頻拍症手術）
150254050	動脈血栓除去術（開胸を伴う）
150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
150254410	内視鏡的胆道ステント留置術
150254510	精索捻転手術（その他）
150254910	脳血管内手術（1箇所）
150255010	内耳窓閉鎖術
150255110	脳刺激装置植込術（片側）

150255210	脊髄刺激装置植込術
150255310	体外衝撃波胆石破碎術
150255510	組織拡張器による再建手術
150255910	人工関節再置換術（肩）
150256010	人工関節再置換術（股）
150256110	人工関節再置換術（膝）
150256210	人工関節再置換術（胸鎖）
150256310	人工関節再置換術（肘）
150256410	人工関節再置換術（手）
150256510	人工関節再置換術（足）
150256610	人工関節再置換術（肩鎖）
150256710	人工関節再置換術（指）
150256850	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部） 1
150256950	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部） 2
150257050	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部以外） 1
150257150	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部以外） 2
150257250	上咽頭ポリープ摘出術（経鼻腔）
150257350	上咽頭ポリープ摘出術（経副鼻腔）
150257450	上咽頭ポリープ摘出術（外切開）
150260050	経皮的大動脈弁拡張術
150260150	経皮的肺動脈弁拡張術
150260250	尿道ステント前立腺部尿道拡張術
150260350	経皮的冠動脈粥腫切除術
150260450	腹腔・静脈シャントバルブ設置術
150260550	胸腔・腹腔シャントバルブ設置術
150260710	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部以外、長径 3 cm 未満）
150260810	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部以外、長径 3 cm～6 cm 未満）
150260910	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）
150261010	骨折経皮的鋼線刺入固定術（指）
150261110	骨折観血の手術（指）
150261210	骨内異物（挿入物）除去術（指）
150261310	骨部分切除術（指）
150261410	骨腫瘍切除術（指）
150261510	骨切り術（指）
150261710	偽関節手術（指）
150261810	変形治癒骨折矯正手術（指）
150261910	半月板縫合術
150262210	顎関節授動術（徒手の授動術）（パンピングを併用した場合）
150262310	顎関節授動術（顎関節鏡下授動術）
150262410	顎関節授動術（開放授動術）
150262510	顎関節円板整位術（顎関節鏡下）
150262610	頸部郭清術（両）
150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）
150262810	経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他）
150262910	経皮的心肺補助法（初日）

150263010	血管塞栓術（胸腔）
150263310	経皮的冠動脈ステント留置術
150263410	下肢静脈瘤手術（硬化療法）
150263510	下大静脈フィルター留置
150263610	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）
150263810	経皮経肝胆管ステント挿入術
150263950	小腸結腸内視鏡的止血術
150264010	肛門悪性腫瘍手術（直腸切断を伴うもの）
150264110	経皮的腎嚢胞穿刺術
150264210	経尿道的腎盂尿管腫瘍摘出術
150264310	回腸（結腸）導管造設術
150264410	精巣悪性腫瘍手術
150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
150264610	子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
150264810	大動脈瘤切除術（胸腹部大動脈）
150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
150266110	補助人工心臓（初日）
150266210	補助人工心臓（2日目以降30日目まで）
150266510	人工内耳埋込術
150266610	胸腔鏡下肺切除術
150267310	体外ペースメーカー
150267410	顎関節円板整位術（開放）
150267550	胸壁外皮膚管形成吻合術（バイパスのみ作成）
150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
150267850	ボタロー管開存閉鎖術
150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）
150268410	下顎骨形成術（おとがい形成）
150268510	下顎骨形成術（短縮）
150268610	下顎骨形成術（伸長）
150268710	下顎骨形成術（再建）
150269550	多発性軟骨性外骨腫摘出術（指）
150270010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
150270950	胸壁外皮膚管形成吻合術（胸部、腹部操作）
150271050	胸壁外皮膚管形成吻合術（腹部操作）
150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
150271650	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術
150271850	腹腔鏡下脾摘出術
150271950	腹腔鏡下小腸切除術

150272050	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）
150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
150272410	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径4cm以上）
150272510	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径6cm以上）
150272610	皮膚剥削術（100cm ² 以上200cm ² 未満）
150272910	筋膜移植術（その他）
150273010	腱移植術（人工腱形成術を含む）（指）
150273110	腱移行術（指）
150273310	椎間板摘出術（経皮的髓核摘出術）
150273410	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術
150273510	経皮的脳血管形成術
150273610	神経縫合術（指）
150273710	神経腫切除術（指）
150273810	胸腔鏡下交感神経節切除術（両側）
150273910	斜視手術（直筋の前後転法と斜筋手術）
150274010	硝子体茎顕微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）
150274110	耳介形成手術（耳介軟骨形成を要する）
150274210	鼻骨変形治癒骨折矯正術
150274310	頬骨変形治癒骨折矯正術
150274410	下顎骨折観血的手術（両側）
150274510	唾石摘出術（腺体内に存在）
150274610	乳管腺葉区域切除術
150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
150275210	埋込型除細動器移植術
150275310	埋込型除細動器交換術
150275610	不整脈手術（メイズ手術）
150275710	経皮的心肺補助法（2日目以降）
150275910	大動脈瘤切除術（上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術）
150276010	動脈形成術、吻合術（指の動脈）
150276110	静脈形成術、吻合術（指の静脈）
150276210	経尿道的前立腺高温度治療
150276310	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍ポリープ）
150276410	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜）
150276510	経尿道的レーザー前立腺切除術
150276610	腹腔鏡下食道下部迷走神経選択的切除術
150276710	腹腔鏡下噴門形成術
150276810	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）
150276910	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含まない）
150277110	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法（経皮的又は開腹下）
150277310	急性膵炎手術（その他）
150277410	腓体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
150277510	腓体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術

150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
150277910	仙尾部奇形腫手術（1歳以上）
150278110	尿失禁コラーゲン注入手術
150278310	腹腔鏡下内精巣静脈結紮術
150278410	造脘術（筋皮弁移植）
150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
150279510	弁形成術（2弁）
150279610	弁形成術（3弁）
150280050	アキレス腱断裂手術
150280350	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部）3
150280450	レックリングハウゼン病偽神経腫切除術（露出部以外）3
150280650	後発白内障手術
150280950	腔閉鎖症術（筋皮弁移植）
150281150	痕跡副角子宮手術（腔式）
150281250	気管・気管支ステント留置術
150281350	食道ステント留置術
150281450	光線力学療法（早期肺がん（0期又は1期に限る））
150281550	内視鏡的表在性食道悪性腫瘍光線力学療法
150281650	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法
150281750	子宮頸部初期癌に対する光線力学療法
150281950	子宮頸部摘出術（腔部切断術を含む）
150282050	卵管鏡下卵管形成術
150282310	椎弓切除術
150282410	椎弓形成手術
150282510	脊椎固定術（前方椎体固定）
150282610	脊椎固定術（後方又は後側方固定）
150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
150282850	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径6cm以上の良性皮膚腫瘍）
150282950	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径6cm以上の悪性皮膚腫瘍）
150283610	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部、長径6cm以上）
150283710	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術（露出部以外、長径6cm以上）
150283810	皮膚剥削術（200cm ² 以上）
150283910	創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径10cm以上）
150284010	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径10cm以上）
150284110	難治性骨折超音波治療法
150284210	涙点プラグ挿入術
150284310	経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル）
150284410	移植用部分肝採取術（生体）
150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
150284810	生体部分肝移植術
150284910	生体部分肝移植術（提供者の療養上の費用）
150285010	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）
150285110	ピンハンマー式尿路結石破碎術

150285610	尿失禁手術（その他のもの）
150285910	造脘術（脘断端挙上）
150286050	脘閉鎖症術（脘断端挙上）
150287750	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（楔状部分切除）
150287850	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（区域切除）
150287950	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（肺葉切除）
150288050	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（複合切除）
150288150	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（1側肺全摘）
150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
150288510	腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）
150288610	腱切離・切除術（関節鏡下）
150288710	腱剥離術（関節鏡下によるものを含む）
150288910	腱縫合術
150289010	腱延長術
150289110	骨折経皮的鋼線刺入固定術（その他）
150289210	骨折観血的手術（その他）
150289310	骨内異物（挿入物）除去術（その他）
150289410	骨部分切除術（その他）
150289510	骨腫瘍切除術（その他）
150289650	多発性軟骨性外骨腫摘出術（その他）
150289710	骨切り術（その他）
150289810	偽関節手術（その他）
150289910	変形治癒骨折矯正手術（その他）
150290010	靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）
150290210	靭帯断裂形成手術（その他の靭帯）
150290310	粘膜弁手術（4cm ² 未満）
150290410	粘膜弁手術（4cm ² 以上）
150290510	関節鏡下三角線維軟骨複合体切除・縫合術
150290710	デュプイトレン拘縮手術（1指）
150290810	デュプイトレン拘縮手術（2指から3指）
150290910	デュプイトレン拘縮手術（4指以上）
150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
150291410	脳刺激装置交換術
150291510	脊髄刺激装置交換術
150291610	眼瞼結膜腫瘍手術
150291710	結膜腫瘍摘出術
150291810	黄斑下手術
150292010	変形外鼻手術
150292110	経上顎洞的顎動脈結紮術
150292210	陥没乳頭形成術
150292310	再建乳房乳頭形成術
150292410	胸腔鏡下醗膿胸膜又は胸膜胼胝切除術

150292510	縦隔切開術（頸部から）
150292610	縦隔切開術（肋骨切斷）
150292710	縦隔切開術（経胸腔）
150292810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（リンパ節郭清を伴わない）
150292910	ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）
150293010	左心低形成症候群手術（ノルウッド手術）（1歳以上）
150293110	リンパ節膿瘍切開術
150293310	小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡）
150293410	陰茎持続勃起症手術（亀頭－陰茎海綿体瘻作成術（ウィンター法））
150293510	陰茎持続勃起症手術（その他のシャント術）
150293610	陰茎折症手術
150293710	精巣外傷手術（陰嚢内血腫除去術）
150293810	精巣外傷手術（精巣白膜縫合術）
150293910	子宮鏡下子宮中隔切除術
150294010	子宮内腔癒着切除術（癒着剥離術を含む）
150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
150294210	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術
150294310	子宮内膜ポリープ切除術
150294410	縦隔切開術（経食道）
150294510	縦隔切開術（旁胸骨）
150294610	縦隔切開術（旁脊柱）
150294710	縦隔切開術（経腹）
150294810	骨折観血的手術（手舟状骨）
150294910	骨長調整手術（骨延長術）（指）
150295010	骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家骨移植）
150295310	涙小管形成術
150295410	眼窩骨折整復術
150295510	角膜・強膜縫合術
150295710	角膜切開術
150295810	脈絡膜腫瘍切除術
150296010	頬小帯形成手術
150296110	頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）
150296210	胸骨骨折観血手術
150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
150296510	下肢静脈瘤手術（高位結紮術）
150296610	胆管切開結石摘出術（胆嚢摘出を含む）
150296710	内視鏡的乳頭切開術（胆道碎石術を伴う）
150296810	腓破裂縫合術
150296910	腓頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
150297010	腓頭部腫瘍切除術（十二指腸温存腓頭切除術）
150297110	腓頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
150297210	腓頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
150297410	結腸憩室摘出術
150297510	直腸切除・切斷術（超低位前方切除術）（経肛門的結腸嚢肛門吻合）

150297610	陰嚢水腫手術（交通性陰嚢水腫手術）
150297710	精索捻転手術（対側の精巣固定術を伴う）
150298050	頭蓋内電極抜去術
150298150	鼻内前頭洞根治手術（自家腸骨片を充填）
150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
150299250	脳新生血管造成術
150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
150299450	喉頭ポリープ切除術（ファイバースコープ）
150299650	末梢神経遮断術（深腓骨神経）
150299750	末梢神経遮断術（腓腹神経）
150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術
150300110	腱滑膜切除術
150300210	人工関節抜去術（肩）
150300310	人工関節抜去術（股）
150300410	人工関節抜去術（膝）
150300510	人工関節抜去術（胸鎖）
150300610	人工関節抜去術（肘）
150300710	人工関節抜去術（手）
150300810	人工関節抜去術（足）
150300910	人工関節抜去術（肩鎖）
150301010	人工関節抜去術（指）
150301110	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術（頭蓋内脳血管）
150301210	経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術（頸部脳血管）（内頸、椎骨動脈）
150301310	ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）
150301410	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）
150301510	ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）
150301610	水頭症手術（脳室穿破術）（神経内視鏡手術による）
150301710	水頭症手術（シャント手術）
150301810	補助人工心臓（31日目以降）
150302110	肝切除術（部分切除）（1歳未満）
150302210	肝切除術（区域切除・亜区域切除）（1歳未満）
150302310	肝切除術（葉切除）（1歳未満）
150302410	肝切除術（拡大葉切除）（1歳未満）
150302510	肝切除術（拡大葉切除に血行再建を併せ行う）（1歳未満）
150302610	副腎悪性腫瘍手術（1歳未満）
150303010	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術
150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）
150303210	両心室ペースメーカー移植術
150303310	経皮的中隔心筋焼灼術
150303410	埋込型補助人工心臓（初日）
150303510	埋込型補助人工心臓（2日目以降30日目まで）
150303610	埋込型補助人工心臓（31日目以降90日目まで）
150303710	埋込型補助人工心臓（91日目以降）（1月につき）
150303810	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（経皮的又は開腹下）
150303910	経尿道的尿管ステント留置術

150304010	経尿道的尿管ステント抜去術
150305950	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（棘突起）
150306050	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（腸骨翼）
150306150	骨移植術（移植用骨採取のみ）（自家骨移植）（その他）
150306550	上腕動脈表在化法
150306650	先天性胆管拡張症に対する手術（胃切除、総胆管切除等併施）
150306750	子宮内容除去術（不全流産）
150306910	小児創傷処理（筋肉、臓器に達する、長径2.5cm未満）
150307010	小児創傷処理（筋肉、臓器に達する、長径2.5cm～5cm未満）
150307110	小児創傷処理（筋肉、臓器に達する、長径5cm～10cm未満）
150307210	小児創傷処理（筋肉、臓器に達する、長径10cm以上）
150307310	小児創傷処理（筋肉、臓器に達しない、長径2.5cm未満）
150307410	小児創傷処理（筋肉、臓器に達しない、長径2.5cm～5cm未満）
150307510	小児創傷処理（筋肉、臓器に達しない、長径5cm～10cm未満）
150307610	小児創傷処理（筋肉、臓器に達しない、長径10cm以上）
150307710	鶏眼・胼胝切除術（露出部で縫合）（長径2cm未満）
150307810	鶏眼・胼胝切除術（露出部で縫合）（長径2cm以上4cm未満）
150307910	鶏眼・胼胝切除術（露出部で縫合）（長径4cm以上）
150308010	鶏眼・胼胝切除術（露出部以外で縫合）（長径3cm未満）
150308110	鶏眼・胼胝切除術（露出部以外で縫合）（長径3cm以上6cm未満）
150308210	鶏眼・胼胝切除術（露出部以外で縫合）（長径6cm以上）
150308310	腋臭症手術（皮膚有毛部切除術）
150308410	粘膜移植術（4cm ² 以上）
150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
150308610	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）
150308710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（躯幹）
150308810	大腿骨頭回転骨切り術
150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
150309010	偽関節手術（手舟状骨）
150309110	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（胸鎖）
150309210	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（肩鎖）
150309310	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（肩）
150309410	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（股）
150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
150309610	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（胸鎖）
150309710	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（肘）
150309810	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（手）
150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
150310010	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（肩鎖）
150310110	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（指）
150310210	関節鏡下関節滑膜切除術（肩）
150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
150310510	関節鏡下関節滑膜切除術（胸鎖）
150310610	関節鏡下関節滑膜切除術（肘）

150310710	関節鏡下関節滑膜切除術（手）
150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
150310910	関節鏡下関節滑膜切除術（肩鎖）
150311010	関節鏡下関節滑膜切除術（指）
150311110	関節鏡下滑液膜摘出術（肩）
150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
150311410	関節鏡下滑液膜摘出術（胸鎖）
150311510	関節鏡下滑液膜摘出術（肘）
150311610	関節鏡下滑液膜摘出術（手）
150311710	関節鏡下滑液膜摘出術（足）
150311810	関節鏡下滑液膜摘出術（肩鎖）
150311910	関節鏡下滑液膜摘出術（指）
150312010	関節鏡下膝蓋骨滑液嚢切除術
150312110	関節鏡下掌指関節滑膜切除術
150312210	関節鏡下関節鼠摘出手術（肩）
150312310	関節鏡下関節鼠摘出手術（股）
150312410	関節鏡下関節鼠摘出手術（膝）
150312510	関節鏡下関節鼠摘出手術（胸鎖）
150312610	関節鏡下関節鼠摘出手術（肘）
150312710	関節鏡下関節鼠摘出手術（手）
150312810	関節鏡下関節鼠摘出手術（足）
150312910	関節鏡下関節鼠摘出手術（肩鎖）
150313010	関節鏡下関節鼠摘出手術（指）
150313110	関節鏡下半月板切除術
150313210	関節鏡下半月板縫合術
150313310	関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
150313410	関節鏡下靭帯断裂縫合術（膝側副靭帯）
150313510	関節鏡下靭帯断裂縫合術（指）
150313610	関節鏡下靭帯断裂縫合術（その他の靭帯）
150313710	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
150313810	関節鏡下靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
150313910	関節鏡下靭帯断裂形成手術（指）
150314010	関節鏡下靭帯断裂形成手術（その他の靭帯）
150314110	関節鏡下手根管開放手術
150314210	内視鏡下椎弓切除術
150314310	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（前方摘出術）
150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
150314510	寛骨臼移動術
150314610	脊椎固定術（後方椎体固定）
150314710	脊椎固定術（前方後方同時固定）
150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
150314910	機能的定位脳手術（両側）
150315010	脳刺激装置植込術（両側）
150315110	神経交差縫合術（指）

150315210	神経交差縫合術（その他）
150315310	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用埋込型ポンプ設置術
150315410	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用埋込型ポンプ交換術
150315510	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用埋込型ポンプ薬剤再充填
150315610	水晶体再建術（眼内レンズを挿入しない場合）
150315710	喉頭粘膜下軟骨片挿入術
150315810	声帯ポリープ切除術（間接喉頭鏡）
150315910	声帯ポリープ切除術（ファイバースコープ）
150316010	声帯ポリープ切除術（直達喉頭鏡）
150316110	口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜に限局する）
150316210	口唇裂形成手術（口唇のみ）（両側）
150316310	口唇裂形成手術（口唇裂鼻形成を伴う）（両側）
150316410	口唇裂形成手術（鼻腔底形成を伴う）（両側）
150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わない）
150316610	乳房再建術（乳房切除後）（一期的に行う）
150316710	乳房再建術（乳房切除後）（二期的に行う）
150316810	胸膜外肺剥皮術（1肺葉に相当する範囲以内のもの）
150316910	胸膜外肺剥皮術（1肺葉に相当する範囲を超えるもの）
150317010	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術
150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）
150317210	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
150317310	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（リンパ節郭清を伴う）
150317410	移植用肺採取術（死体）（両側）
150317510	同種死体肺移植術
150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
150317810	心腫瘍摘出術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150317910	心腫瘍摘出術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150318010	心腔内粘液腫摘出術（単独）
150318110	心腔内粘液腫摘出術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150318210	心腔内粘液腫摘出術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150318310	経皮的冠動脈血栓吸引術
150318410	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（1吻合）
150318510	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺不使用）（2吻合以上）
150318610	心室瘤切除術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150318710	左室形成術（単独）
150318810	左室形成術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150318910	左室形成術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150319010	心室中隔穿孔閉鎖術（単独）
150319110	心室中隔穿孔閉鎖術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150319210	心室中隔穿孔閉鎖術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150319310	左室自由壁破裂修復術（単独）
150319410	左室自由壁破裂修復術（冠動脈血行再建術（1吻合）を伴う）
150319510	左室自由壁破裂修復術（冠動脈血行再建術（2吻合以上）を伴う）
150319610	D K S 吻合を伴う大動脈狭窄症手術
150319710	動脈管開存症手術（経皮的動脈管開存閉鎖術）

150319810	血管輪又は重複大動脈弓離断手術
150319910	巨大側副血管手術（肺内肺動脈統合術）
150320010	大動脈縮窄（離断）症手術（心室中隔欠損症手術を伴う）
150320110	大動脈縮窄（離断）症手術（複雑心奇形手術を伴う）
150320210	大動脈肺動脈中隔欠損症手術（心内奇形手術を伴う）
150320310	三尖弁手術（エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術）
150320410	純型肺動脈弁閉鎖症手術（肺動脈弁切開術（単独））
150320510	純型肺動脈弁閉鎖症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150320610	経皮的心房中隔欠損閉鎖術
150320710	バルサルバ洞動脈瘤手術（大動脈閉鎖不全症手術を伴う）
150320810	完全型房室中隔欠損症手術（心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150320910	完全型房室中隔欠損症手術（ファロー四徴症手術を伴う）
150321010	肺動脈閉鎖症手術（単独）
150321110	肺動脈閉鎖症手術（ラステリ手術を伴う）
150321210	肺動脈閉鎖症手術（巨大側副血管術を伴う）
150321310	両大血管右室起始症手術（タウシヒ・ビング奇形手術）
150321410	修正大血管転位症手術（心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150321510	修正大血管転位症手術（根治手術（ダブルスイッチ手術））
150321610	三尖弁閉鎖症手術（フォンタン手術）
150321710	三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）（1歳以上）
150321810	単心室症手術（両方向性グレン手術）
150321910	単心室症手術（フォンタン手術）
150322010	心室憩室切除術
150322110	心臓脱手術
150322210	両心室ペースメーカー交換術
150322310	移植用心採取術
150322410	同種心移植術
150322510	移植用心肺採取術
150322610	同種心肺移植術
150322710	動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）
150322810	リンパ節群郭清術（骨盤）
150322910	連続携行式腹膜灌流用カテーテル腹腔内留置術
150323010	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層）
150323110	食道・胃内異物除去摘出術（マグネットカテーテルによるもの）
150323210	胃局所切除術
150323310	腹腔鏡下胃局所切除術
150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
150323610	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）
150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
150323810	腹腔鏡下幽門形成術
150323910	腹腔鏡下食道噴門部縫縮術
150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除を伴う）
150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）

150324310	移植用肝採取術（死体）
150324410	同種死体肝移植術
150324510	移植用膵採取術（死体）
150324610	同種死体膵移植術
150324710	移植用膵腎採取術（死体）
150324810	同種死体膵腎移植術
150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
150325010	内視鏡的結腸異物摘出術
150325110	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術
150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
150325410	痔核手術（硬化療法（四段階注射法による））
150325510	腹腔鏡下鎖肛手術（腹会陰式）
150325610	腹腔鏡下鎖肛手術（腹仙骨式）
150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
150325910	腹腔鏡下腎摘出術
150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
150326210	移植用腎採取術（死体）
150326310	膀胱尿管逆流現象コラーゲン注入手術
150326410	腹腔鏡下腹腔内停留精巣陰嚢内固定術
150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
150326610	外陰・腔血腫除去術
150326710	腔壁裂創縫合術（直腸裂傷を伴う）
150326810	腔閉鎖術（中央腔閉鎖術（子宮全脱））
150326910	腔断端挙上術（腔式、腹式）
150327010	子宮頸部上皮内癌レーザー照射治療
150327110	子宮頸部異形成光線力学療法
150327210	腹腔鏡下広靭帯内腫瘍摘出術
150327310	子宮内反症整復手術（腹式）（非観血的）
150328750	左室形成術と弁形成術（1弁）
150328850	左室形成術と弁置換術（1弁）
150329050	レンズ核破壊術（両側）
150329150	脳淡蒼球内オイルプロカイン注入療法（脳深部定位手術）（両側）
150329210	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法
150329310	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
150329410	先天性食道閉鎖症根治手術（1歳未満）
150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
150329810	大血管転位症手術（マスタード・セニング手術）（1歳未満）
150329910	大血管転位症手術（ジャテーン手術）（1歳未満）
150330010	大血管転位症手術（心室中隔欠損閉鎖術を伴う）（1歳未満）
150330110	大血管転位症手術（ラステリ手術を伴う）（1歳未満）
150330210	単心室症手術（心室中隔造成術）（1歳未満）

150330310	三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）（1歳未満）
150330410	左心低形成症候群手術（ノルウッド手術）（1歳未満）
150330510	先天性胆道閉鎖症手術（1歳未満）
150330610	鎖肛手術（仙骨会陰式）（1歳未満）
150330710	鎖肛手術（腹会陰式）（1歳未満）
150330810	鎖肛手術（腹仙骨式）（1歳未満）
150330910	仙尾部奇形腫手術（1歳未満）
150331010	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳未満）
150331150	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（気管支形成を伴う肺切除）
150331450	心腫瘍摘出術と弁形成術（1弁）
150331550	心腔内粘液腫摘出術と弁形成術（1弁）
150331650	心室瘤切除術と弁形成術（1弁）
150331750	心室中隔穿孔閉鎖術と弁形成術（1弁）
150331850	左室自由壁破裂修復術と弁形成術（1弁）
150331950	心腫瘍摘出術と弁置換術（1弁）
150332050	心腔内粘液腫摘出術と弁置換術（1弁）
150332150	心室瘤切除術と弁置換術（1弁）
150332250	心室中隔穿孔閉鎖術と弁置換術（1弁）
150332350	左室自由壁破裂修復術と弁置換術（1弁）
150333510	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径3cm未満の良性皮膚腫瘍）
150333610	皮膚腫瘍冷凍凝固摘出術（長径3cm以上6cm未満の良性皮膚腫瘍）
150333710	全層植皮術（25cm ² 未満）
150333810	全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）
150333910	全層植皮術（100cm ² 以上200cm ² 未満）
150334010	全層植皮術（200cm ² 以上）
150334110	超音波骨折治療法
150334210	骨内異物（挿入物）除去術（頭蓋）
150334310	骨内異物（挿入物）除去術（顔面）
150334410	多発性骨腫摘出術（肩甲骨）
150334510	多発性骨腫摘出術（上腕）
150334610	多発性骨腫摘出術（大腿）
150334710	多発性骨腫摘出術（前腕）
150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
150334910	多発性骨腫摘出術（鎖骨）
150335010	多発性骨腫摘出術（膝蓋骨）
150335110	多発性骨腫摘出術（手）
150335210	多発性骨腫摘出術（足）
150335310	多発性骨腫摘出術（指）
150335410	多発性骨腫摘出術（その他）
150335510	骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種骨移植）（非生体）
150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症）
150335710	定位的脳内血腫除去術
150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
150335910	緑内障手術（濾過手術）
150336010	深頸部膿瘍切開術

150336110	上顎骨形成術（骨移動を伴う）
150336210	下顎骨形成術（骨移動を伴う）
150336310	漏斗胸手術（胸腔鏡）
150336410	肺悪性腫瘍手術（胸膜肺全摘）
150336510	移植用部分肺採取術（生体）
150336610	生体部分肺移植術
150336710	生体部分肺移植術（提供者の療養上の費用）
150336810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
150336910	両室ペーシング機能付き埋込型除細動器移植術
150337010	両室ペーシング機能付き埋込型除細動器交換術
150337110	経皮的頸動脈ステント留置術
150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
150337410	経皮的肝膿瘍ドレナージ術
150337510	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）
150337610	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）
150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
150338010	痔核手術（PPH）
150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
150338210	腹腔鏡下小切開腎部分切除術
150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
150338510	腹腔鏡下移植用腎採取術（生体）
150338610	生体腎移植術
150338710	焦点式高エネルギー超音波療法
150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
150341150	腱縫合術（切創等の創傷）（6歳未満）
150341250	骨移植術（自家骨又は非生体同種骨移植と人工骨移植の併施）
150341450	内視鏡的乳頭拡張術
150341650	痔核手術（自動吻合器使用）
150341750	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（棘突起）
150341850	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（腸骨翼）
150341950	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（生体）（その他）
150342050	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（棘突起）
150342150	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（腸骨翼）
150342250	骨移植術（移植用骨採取のみ）（同種骨移植）（非生体）（その他）
150342350	副腎腫瘍摘出術と脾摘出術（髄質腫瘍）（褐色細胞腫）
150343110	皮膚移植術（死体）（200cm ² 未満）
150343210	皮膚移植術（死体）（200cm ² 以上500cm ² 未満）
150343310	皮膚移植術（死体）（500cm ² 以上1000cm ² 未満）
150343410	皮膚移植術（死体）（1000cm ² 以上3000cm ² 未満）
150343510	皮膚移植術（死体）（3000cm ² 以上）
150343610	指伸筋腱脱臼靱帯の整復術

150343710	肩腱板断裂手術
150343810	関節鏡下肩腱板断裂手術
150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）
150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
150344410	脳血管内手術（2箇所以上）
150344510	治療的角膜切除術（エキシマレーザー）（角膜ジストロフィー等）
150344610	鼻甲介切除術（高周波電気凝固法）
150344710	副咽頭間隙腫瘍摘出術（経頸部）
150344810	副咽頭間隙腫瘍摘出術（経側頭下窩（下顎離断を含む））
150344910	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術（経頸部）
150345010	副咽頭間隙悪性腫瘍摘出術（経側頭下窩（下顎離断を含む））
150345110	嚥下機能手術（輪状咽頭筋切断術）
150345210	嚥下機能手術（喉頭挙上術）
150345310	嚥下機能手術（喉頭気管分離術）
150345410	嚥下機能手術（喉頭全摘術）
150345510	顎・口蓋裂形成手術（顎裂を伴う）（両側）
150345610	下顎関節突起骨折観血的手術（片側）
150345710	下顎関節突起骨折観血的手術（両側）
150346010	気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術
150346110	光線力学療法（その他）
150346210	食道狭窄拡張術（拡張用バルーン）
150346310	食道空置バイパス作成術
150346410	経皮的大動脈形成術
150346510	経皮的肺動脈形成術
150346610	肺動脈血栓内膜摘除術
150346710	経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ）
150346910	埋込型心電図記録計移植術
150347010	埋込型心電図記録計摘出術
150347210	経皮的大動脈遮断術
150347310	経皮的胸部血管拡張術（先天性心疾患術後）
150347410	ダメージコントロール手術
150347510	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術
150347610	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術
150347810	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建あり）
150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
150348010	腹腔鏡下肝切除術（部分切除）
150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
150348210	急性膵炎手術（感染性壊死部切除を伴う）
150348310	膵中央切除術
150348410	膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾温存）
150348510	内視鏡的大腸ポリープ切除術（長径2cm以上）
150348610	経肛門的内視鏡下手術（直腸腫瘍）
150348710	経尿道の尿管癌切除術

150348810	膀胱水圧拡張術
150348910	膀胱脱手術（メッシュ使用）
150349010	排泄腔外反症手術（外反膀胱閉鎖術）
150349110	排泄腔外反症手術（膀胱腸裂閉鎖術）
150349210	帝王切開術（前置胎盤合併）
150349310	性腺摘出術（開腹）
150349410	性腺摘出術（腹腔鏡）
150349950	アンカー補強手術（矯正術前提）
150350150	角膜移植術（眼科用レーザー角膜手術装置）
150350250	下肢静脈瘤手術（ダイオードレーザ）
150350350	小径腎悪性腫瘍治療（汎用冷凍手術ユニット使用）
150350450	植込み型病変識別マーカー留置術
150350550	体外衝撃波疼痛治療法
160107550	冠動脈内血栓溶解療法

別表 1-14. 乳酸アシドーシス

レセプト電算コード	ICD-10 コード	MEDIS 標準病名
2762001	E872	アシドーシス
2762004	E872	呼吸性アシドーシス
2762007	E872	代謝性アシドーシス
2762013	E872	乳酸アシドーシス
8833201	E872	ケトアシドーシス
8833203	E872	ケトン血性嘔吐症
8833340	E872	高塩素性アシドーシス
8837114	E872	炭酸過剰性アシドーシス
8837273	E872	代償性アシドーシス
8837274	E872	代償性呼吸性アシドーシス
8837276	E872	代償性代謝性アシドーシス
8838425	E872	乳児ケトアシドーシス
8839221	E872	非呼吸性アシドーシス
8839578	E872	ピルビン酸血症
8840713	E872	薬物性アシドーシス

別添 2 使用マスター

別表 2-1. 使用マスター

マスターの種類	更新日	参照元
傷病名マスター	平成 23 年 10 月 1 日	MEDIS-DC : http://www.dis.h.u-tokyo.ac.jp/byomei/information/OldMasterFiles.html
修飾語マスター	平成 23 年 10 月 1 日	
医科診療行為マスター	平成 24 年 1 月 24 日	診療報酬情報提供サービス : http://www.iryohoken.go.jp/shinryohos-hu/kaitei/doKaitei22
医薬品マスター	平成 24 年 1 月 16 日	

別添 3 コホート分析の参考データ

別表 3-1. 平成 23 年患者調査[16] 性別・年齢区分別の推計患者数

性別	入院		外来 ¹⁾	
	人数(千人)	割合(%)	人数(千人)	割合(%)
男性	613.6	45.8	2479.5	42.0
女性	727.5	54.3	3418.5	58.0
年齢	人数(千人)	割合(%)	人数(千人)	割合(%)
0-4 歳	18.2	1.4	346.9	5.9
5-9 歳	5.6	0.4	194.5	3.3
9-14 歳	5.7	0.4	139.2	2.4
15-19 歳	7.5	0.6	95.6	1.6
20-24 歳	11.6	0.9	109.8	1.9
25-29 歳	18	1.3	149	2.5
30-34 歳	24.2	1.8	183.1	3.1
35-39 歳	29.9	2.2	225.3	3.8
40-44 歳	31.9	2.4	231.3	3.9
45-49 歳	36.1	2.7	223.4	3.8
50-54 歳	46.3	3.5	254	4.3
55-59 歳	69.6	5.2	329.8	5.6
60-64 歳	118.5	8.8	547.2	9.3
65-69 歳	111.7	8.3	541	9.2
70-74 歳	141.6	10.6	678.6	11.5
75-79 歳	176.1	13.1	694.7	11.8
80-84 歳	189.5	14.1	525.6	8.9
85 歳-	296	22.1	400.3	6.8
不詳	3.2	0.2	28.9	0.5
合計	1341	100	5898	100

1) 外来患者のうち、歯科患者を除く人数

別表 3-2. 平成 23 年患者調査 ICD-10 大分類別の推計患者数

ICD-10 大分類 コード	ICD-10 大分類名称	入院		外来	
		人数 (千人)	割合 (%)	人数 (千人)	割合 (%)
A00-B99	感染症および寄生虫症	22.4	1.7	169.9	2.9
C00-D48	新生物	150.6	11.2	219.9	3.7
D50-D89	血液および造血器の疾患ならび に免疫機構の障害	6.5	0.5	22.3	0.4
E00-E90	内分泌, 栄養および代謝疾患	36	2.7	414.4	7.0
F00-F99	精神および行動の障害	282.3	21.1	221.2	3.8
G00-G99	神経系の疾患	114.9	8.6	149.8	2.5
H00-H59	眼および付属器の疾患	11.9	0.9	294.1	5.0
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	2.7	0.2	114.7	1.9
I00-I99	循環器系の疾患	251.3	18.7	948.3	16.1
J00-J99	呼吸器系の疾患	89.7	6.7	708	12.0
K00-K93	消化器系の疾患	64.3	4.8	282.1	4.8
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	15.8	1.2	254	4.3
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	63.1	4.7	1001.8	17.0
N00-N99	尿路性器系の疾患	47.6	3.5	266	4.5
O00-O99	妊娠, 分娩および産じょく〈褥〉	17.6	1.3	13.9	0.2
P00-P96	周産期に発生した病態	6.6	0.5	2.6	0.0
Q00-Q99	先天奇形, 変形および染色体異常 症状, 徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されな いもの	5.8	0.4	11.4	0.2
R00-R99	損傷, 中毒およびその他の外因の 影響	124.8	9.3	314.8	5.3
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因 および保健サービスの利用	8.3	0.6	405	6.9
合計		1341	100	5898	100

別表 3-3. 平成 23 年度 DPC 導入の影響評価 調査結果¹⁷[17] 主要診断群分類内訳

主要診断群		割合 (%)
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	23.5
04	呼吸器系疾患	13.2
05	循環器系疾患	10.3
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	7.5
16	外傷・熱傷・中毒	7.4
01	神経系疾患	6.6
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	6.0
07	筋骨格系疾患	4.7
02	眼科系疾患	4.1
03	耳鼻咽喉科系疾患	3.4
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	2.9
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	2.1
14	新生児疾患、先天性奇形	2.0
15	小児疾患	1.8
18	その他	1.8
08	皮膚・皮下組織の疾患	1.4
09	乳房の疾患	1.1
17	精神疾患	0.2
総計		100

別表 3-4. 平成 23 年度 DPC 導入の影響評価 調査結果 入院日数

入院日数	
平均±標準偏差	14.17±17.56
25%点	4
四分位点 50%点	8
75%点	17

¹⁷ 参加年度別の結果しか得られなかったため、本報告書には、施設数が最も多い平成 21 年度 DPC 参加病院の結果を掲載。（参加年度による、入院日数の大きな違いは認められなかった）

別添 4 高齢者における処方実態調査 結果

投与禁忌または慎重投与とされる高齢者への処方が多かったことから、対象者を 65 歳以上に限定した分析を別途実施した。

一連の集計において、対象集団分析の結果と類似した傾向が示され、高齢者において特筆すべき事柄は認められなかった。

別表 4-1. 性別

BG 薬分類	男女区分	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	男性	100	49.8	47	8.8	1,552	50.0
	女性	101	50.2	34	6.4	1,553	50.0
	合計	201	100	81	15.1	3,105	100
MET2 群	男性	201	47.5	304	56.8	2,519	49.3
	女性	222	52.5	231	43.2	2,591	50.7
	合計	423	100	535	100	5,110	100
MET3 群	男性	—	—	—	—	40	43.0
	女性	—	—	—	—	53	57.0
	合計	—	—	—	—	93	100
BUF 群	男性	9	50.0	5	62.5	123	47.7
	女性	9	50.0	3	37.5	135	52.3
	合計	18	100	8	100	258	100

1) 各対象集団（高齢者限定）のレセプト数（医科入院外レセプトは人数）に占める割合 (%)

別表 4-2. BG 薬商品名別処方内訳

BG 薬 分類	商品名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	メデット錠 250mg	98	48.8	55	67.9	1,570	50.6
	グリコラン錠 250mg	50	24.9	17	21.0	681	21.9
	ネルビス錠 250mg	17	8.5	6	7.4	403	13.0
	メルビン錠 250mg	30	14.9	1	1.2	296	9.5
	メトホルミン塩酸塩錠 250mg 「トーフ」	3	1.5	2	2.5	86	2.8
	メトリオン錠 250	3	1.5	0	0	68	2.2
	メトホルミン塩酸塩錠 250mg 「JG」	0	0	0	0	5	0.2
MET2 群	メトグルコ錠 250mg	423	100	535	100	5,110	100
MET3 群	メタクト配合錠 LD	—	—	—	—	63	67.7
	メタクト配合錠 HD	—	—	—	—	30	32.3
BUF 群	ジベトス錠 50mg	18	100	8	100	232	89.9
	ジベトン S 錠 (腸溶錠)	0	0	0	0	26	10.1

別表 4-3. 1日当たりのBG薬の処方量

BG薬分類	処方量	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		処方数	割合 (%)	処方数	割合 (%)	処方数	割合 (%)
MET1 群	<250mg	0	0.0	0	0.0	8	0.3
	250mg	31	15.4	9	11.1	311	10.0
	250mg<, <500mg	6	3.0	5	6.2	8	0.3
	500mg	88	43.8	31	38.3	1,542	49.7
	500mg<, <750mg	5	2.5	2	2.5	5	0.2
	750mg	70	34.8	34	42.0	1,201	38.7
	750mg<	1	0.5	0	0.0	30	1.0
	合計	201	100.0	81	100.0	3,105	100.0
	平均±標準偏差	553.2±178.2		579.2±167.4		576.4±170.2	
	四分位点	25%点	500		500		500
	50%点	500		500		500	
	75%点	750		750		750	
MET2 群	<250mg	1	0.2	1	0.2	7	0.1
	250mg	29	6.9	35	6.5	387	7.6
	250mg<, <500mg	12	2.8	17	3.2	13	0.3
	500mg	176	41.6	230	43.0	2,302	45.0
	500mg<, <750mg	20	4.7	26	4.9	8	0.2
	750mg	134	31.7	178	33.3	1,704	33.3
	750mg<, <1,500mg	37	8.7	43	8.0	439	8.6
	1,500mg	14	3.3	4	0.7	231	4.5
	1,500mg<, <2,250mg	0	0.0	0	0.0	9	0.2
	2,250mg	0	0.0	1	0.2	10	0.2
	2,250mg<	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	423	100.0	535	100.0	5,110	100.0
	平均±標準偏差	648.5±253.3		624.5±214.8		658.6±279.1	
	25%点	750		500		500	
四分位点	50%点	750		500		500	
	75%点	800		750		750	
MET3 群	250mg	—	—	—	—	1	1.1
	500mg	—	—	—	—	84	90.3
	500mg<, <750mg	—	—	—	—	1	1.1
	750mg	—	—	—	—	4	4.3
	750mg<, <1,500mg	—	—	—	—	3	3.2
	合計	—	—	—	—	93	100.0
平均±標準偏差	—		—		—		
	25%点	—		—		—	
四分位点	50%点	—		—		—	
	75%点	—		—		—	
BUF 群	25mg	1	5.6	0	0.0	1	0.4
	50mg	6	33.3	2	25.0	34	13.2

100mg	6	33.3	4	50.0	135	52.3
125mg	1	5.6	0	0.0	0	0.0
150mg	4	22.2	2	25.0	86	33.3
150mg<	0	0.0	0	0.0	2	0.8
合計	18	100.0	8	100.0	258	100.0
平均±標準偏差	91.7±42.0		100.0±37.8		110.5±33.8	
四分位点	25%点	50	37.8	100		
	50%点	100	87.5	100		
	75%点	118.8	112.5	150		

別表 4-4. 糖尿病治療薬の併用数

BG 薬分類	併用薬数	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	0	36	17.9	19	23.5	523	16.8
	1	69	34.3	19	23.5	1,083	34.9
	2	69	34.3	24	29.6	1,129	36.4
	3	15	7.5	12	14.8	318	10.2
	4	9	4.5	4	4.9	51	1.6
	5 ≤	3	1.5	3	3.7	1	0.0
	合計	201	100	81	100	3,105	100
MET2 群	0	59	13.9	63	11.8	784	15.3
	1	128	30.3	147	27.5	1,830	35.8
	2	128	30.3	185	34.6	1,881	36.8
	3	72	17.0	88	16.4	537	10.5
	4	23	5.4	36	6.7	76	1.5
	5 ≤	13	3.1	16	3.0	2	0.0
	合計	423	100	535	100	5,110	100
MET3 群	0	—	—	—	—	20	21.5
	1	—	—	—	—	30	32.3
	2	—	—	—	—	37	39.8
	3	—	—	—	—	5	5.4
	4	—	—	—	—	0	0
	5	—	—	—	—	1	1.1
	合計	—	—	—	—	93	100
BUF 群	0	4	22.2	0	0	32	12.4
	1	2	11.1	3	37.5	89	34.5
	2	6	33.3	2	25.0	106	41.1
	3	3	16.7	2	25.0	27	10.5
	4	2	11.1	0	0	4	1.6
	5	1	5.6	1	12.5	0	0
	合計	18	100	8	100	258	100

別表 4-5. 糖尿病治療薬の併用内訳

BG 薬分類	糖尿病治療薬分類名	入院 (出来高算定)		入院 (包括評価算定)		外来	
		レセプト数	割合 (%)	レセプト数	割合 (%)	人数	割合 (%)
MET1 群	スルホニル尿素薬	82	40.8	30	37.0	1,714	55.2
	DPP-IV阻害薬	74	36.8	24	29.6	920	29.6
	αグルコシダーゼ阻害薬	49	24.4	18	22.2	856	27.6
	チアゾリジン誘導体	28	13.9	8	9.9	458	14.8
	速効型インスリン分泌促進薬	22	10.9	5	6.2	172	5.5
	混合型インスリン	8	4.0	6	7.4	136	4.4
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	20	10.0	11	13.6	121	3.9
	超速効型インスリン	9	4.5	10	12.3	83	2.7
	中間型インスリン	2	1.0	4	4.9	20	0.6
	配合剤	0	0	0	0	14	0.5
	速効型インスリン	8	4.0	19	23.5	7	0.2
	GLP-1 受容体作動薬	1	0.5	0	0	3	0.1
	MET2 群	スルホニル尿素薬	179	42.3	240	44.9	2,802
DPP-IV阻害薬		150	35.5	202	37.8	1,582	31.0
αグルコシダーゼ阻害薬		119	28.1	133	24.9	1,362	26.7
チアゾリジン誘導体		57	13.5	62	11.6	724	14.2
混合型インスリン		28	6.6	33	6.2	298	5.8
持効型溶解インスリンアナログ製剤		69	16.3	73	13.6	268	5.2
速効型インスリン分泌促進薬		80	18.9	22	4.1	210	4.1
超速効型インスリン		43	10.2	85	15.9	176	3.4
GLP-1 受容体作動薬		4	0.9	12	2.2	30	0.6
中間型インスリン		6	1.4	17	3.2	29	0.6
配合剤		0	0	0	0	23	0.5
速効型インスリン		22	5.2	138	25.8	13	0.3
MET3 群		DPP-IV阻害薬	—	—	—	—	50
	スルホニル尿素薬	—	—	—	—	46	49.5
	αグルコシダーゼ阻害薬	—	—	—	—	18	19.4
	速効型インスリン分泌促進薬	—	—	—	—	3	3.2
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	—	—	—	—	3	3.2
	チアゾリジン誘導体	—	—	—	—	2	2.2
	中間型インスリン	—	—	—	—	1	1.1
	配合剤	—	—	—	—	1	1.1
BUF 群	スルホニル尿素薬	9	50.0	6	75.0	172	66.7
	DPP-IV阻害薬	6	33.3	3	37.5	68	26.4
	αグルコシダーゼ阻害薬	8	44.4	1	12.5	64	24.8
	チアゾリジン誘導体	5	27.8	1	12.5	39	15.1
	混合型インスリン	0	0	1	12.5	16	6.2
	速効型インスリン分泌促進薬	4	22.2	1	12.5	14	5.4
	持効型溶解インスリンアナログ製剤	0	0	0	0	11	4.3
	超速効型インスリン	2	11.1	1	12.5	7	2.7
	速効型インスリン	1	5.6	4	50.0	4	1.6
	中間型インスリン	1	5.6	0	0	2	0.8
	GLP-1 受容体作動薬	0	0	0	0	1	0.4